財団法人 国際デザイン交流協会 20年のあゆみ



History of Japan Design Foundation

財団法人 国際デザイン交流協会 20年のあゆみ

JAPAN DESIGN

目次		CONTENTS	
会長あいさつ	2	Chairman's Greetings	2
基本テーマ		Basic Theme	
協会の沿革	6	Outline of JDF'S History	6
事業の概要 1.国際デザイン・フェスティバル事業 2.アジア太平洋デザイン交流事業 3.国際デザイン・コンベンション事業 4.国際デザイン・コンペティション入賞作品展 5.JDFフォーラム 6.広報事業 7.国際デザイン機関との交流	10	Outline of JDF'S Activities 1.International Design Festival 2. Asia Pacific Design Exchange Program 3. International Design Convention 4. Traveling Exhibition of Prize- Winning Works from International Design Competition, Osaka 5. JDF Forum 6. PR Activities 7. Relationships to International Design Organizations	10
事業のあゆみ 1.国際デザイン・フェスティバル事業 (1)国際デザイン・コンペティション (2)国際デザイン・アオード (3)国際デザイン展 (4)国際デザイン・コンベンション事業 2.アジア太平洋デザイン交流事業 (1)カウンターパート (2)アジア太平洋デザイン交流会議	20	History of Activities 1.International Design Festival (1) International Design Competition (2) International Design Award (3) International Design Exhibition (4) International Design Convention 2. Asia Pacific Design Exchange Program (1) Counterparts (2) Asia Pacific Design Conferences	61
(3)デザイン調査研究事業 (4)デザイン振興支援事業 (5)デザイン人材育成・情報交流事業	76	(3) Study and Research Projects(4) Overseas Support Projects(5) Human Resource Development and Information Services	76
 資料編 1.組織図 2.役員 3.評議員 4.国際デザイン・フェスティバル推進委員会 5.各種委員会委員(歴代) (1)企画委員会 (2)審査委員会 *テーマ委員会 (3)国際交流委員会 	70	1. Organizational Chart 2. Officials 3. Trustees 4. Committee Members (Successive) (1) Planning Committee (2) Competition-Award Committee *Theme Selection Committee (3)International Transaction Committee 5. International Design Festival Committee 6. Chronology	

ごあいさつ

Greetings



財団法人国際デザイン交流協会は、デザインを通じて国際交流を推進し、産業・文化の健全な発展を図り、人類の福祉の向上に寄与することを目的として、1981年(昭和56年)11月に設立されました。以来ここに満20年を迎えることになり、この度20周年の足跡をまとめることにいたしました。

この間、当協会は経済産業省・大阪府・大阪市・大阪商工会議所更にデザイン関係者など数多くの方々の協力を得て、国際デザイン・コンペティション、国際デザイン・アオード、国際デザイン展で構成される国際デザイン・フェスティバルの隔年開催を基軸として、各種の国際的なデザイン交流事業を行ってまいりました。お陰をもちましてこれらの事業は、年々実績を積み重ねることにより、デザイン界のビッグイベントとして注目を集め、国際的にその意義が大いに認められ、好評を博しております。

また、1993年 (平成5年) 12月には、わが国と関係の深いアジア諸国・地域とのデザイン交流活動を積極的に推進するため、「アジア太平洋デザイン交流センター」を設置いたしました。内外から期待の高まっております国際協力の推進につきましても、アジア太平洋デザイン交流ミッションの派遣、アジア太平洋デザイン交流会議の開催など諸活動を通じて貢献してまいりました。

近年、グローバル化の進展、本格的情報化時代の到来、更には産業の空洞化等わが国社会経済の状況が、 大きく変化しつつある中にあって、当協会の果たすべき役割もまた一段と重要度を増しております。

今後は、この20年間に蓄積されたノウハウと経験を活かして、大きく変わりつつある21世紀を洞察し、新時代に対応し得る事業展開を図ってまいりたいと考えておりますので、関係各位の積極的なご協力ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

The Japan Design Foundation (The JDF) was founded in November 1981, with the objectives of both developing international friendship through design-related activities and promoting industrial and cultural development. Through these activities we hope to improve the welfare of people all over the world. This year, on this, the JDF's twentieth anniversary, we have decided to compile a two-decade spanning history of the Foundation.

Of the various design-related international exchange programs organized by the JDF, the highlight is the "International Design Festival", comprising the "International Design Competition", the "International Design Award", and the "International Design Exhibition". This biennial Festival enjoys the support of many organizations, including The Ministry of Economy, Trade and Industry, Osaka Prefectural Government, Osaka Municipal Government, Osaka Chamber of Commerce and Industry, and a whole host of designers and design firms. I am pleased that, as a result of concerted efforts by these parties, the International Design Festival has come to assume the status of a remarkable and grand event, with an outcome acknowledged worldwide.

In December 1993, the JDF established the Asia Pacific Design Network for the purposes of actively promoting the exchange of design information and technology between countries in this region. In response to the increased expectation of JDF to promote international cooperation, we began to dispatch design missions to various countries in the Asia-Pacific region and hold Asia Pacific Design Conferences, indeed we have been committing ourselves to a whole plethora of related projects.

However, given the ongoing progress of globalization, development of information technology, and dynamic changes in Japan's socioeconomic structures, including relocation of manufacturing bases outside Japan, we are well aware that the JDF is expected to play a still greater role in the pioneering of a new age.

By exploiting the wealth of experience and knowledge, which we have accumulated the last two decades, we are determined to further expand our activities in response to the changing social needs of the Twenty-first Century. I would appreciate very much your continued support and cooperation in these efforts.

財団法人国際デザイン交流協会

△.F

田代和

Wa

Tashino
Wa Tashiro

Chairman of the Japan Design Foundation

生あるもののためのデザイン

基本理念

1982年2月制定

古代、デザインは神様と王様のために存在していた。そして中世、デザインは宗教のために存在していた。さらに近代、デザインは都市と市民のために存在した。

だが、20世紀を終ろうとするとき、21世紀へ向けてのデザインの役割と方向はまだ明らかでない。 現代、われわれは、デザインは地球上のすべての生命のために存在すべきであると考える。 デザインは20世紀、さらに21世紀の象徴であり、宇宙的なものの創造への方向の発見である。 1世紀前のアジア、そして日本はきわめて特異な世界であった。そのとき日本は西欧の科学と 技術に遭遇した。異質の文明との遭遇である。われわれはそれを受け入れ、1世紀ののち 新しい工業社会に到達した。

それは西欧の科学と技術とアジアの哲学と歴史の融合による社会である。 われわれはこの新 しい社会が、地球に対して持つべき責任によって、ここに新しいデザイン・フェスティバルを提 唱する。

1900年のパリ万国博、1933年のシカゴ万国博は、西欧またはアメリカの近代工業社会の成立と、その価値系を進歩の立場から提示した。そして1970年、日本はEXPOによって20世紀の工業社会と世界の調和を考えた。

その基礎の上にわれわれは、「生あるもののためのデザイン」を基本テーマとするデザイン・ フェスティバルを提唱する。

われわれの視野にあるのは、地球であり、歴史であり、人間の英知にもとづいた未来像である。 それは現代の日本が、世界に負う責任と義務である。

われわれは望みかつ期待する。世界の人々が、地球と人間のためのデザインを創るために、 参加されることを——。

それは固有の文化と普遍的な工業技術の結婚であり、あるいは普遍的な技術がつくる文明に、 新しい価値を与える作業である。

Fundamental Idea

Established February, 1982

In ancient times, design was the prerogative of the gods and royalty. In the middle ages, it was consecrated to the church. More recently, design has come to cater to the church. More recently, design has come to cater to the cities and their citizens.

But, as the twentieth century draws to a close, the role and direction of design in the twenty-first century remain unclear.

In the present day and age, we think of design as something that should imbue every aspect of our life on this earth.

Design is a symbol of civilization in the twentieth and twenty-first centuries, a revelation of the paths we must pursue in the creation of universal values.

A hundred years ago Asia, including Japan, constituted a singular, separate world. It was at this time that Japan first came into intimate contact with the science and technology of the West. It was a confrontation between two very different civilizations.

Absorbing the lessons it brought us, we have today in Japan achieved a new industrial society, melding of the science and technology of the West with the philosophy and history of Asia. It is with a feeling of the debt our new society owen to the world that we hereby propose a new design festival.

The Paris World Exposition of 1900 and Chicago's Century of Progress Exposition of 1933 celebrated the coming of age of the modern industrial societies of Western Europe and America, and exalted the concept of "Progress" central to their value systems.

In 1970, the Japan World Exposition, Osaka, explored the theme of world harmony in the twentieth century industrial society. It is on the same basis that we advocate the present Design Festival project, whose fundamental theme is Design for Every Being.

Our scope encompasses the whole world, the whole of life and history, and a vision of the future founded is wisdom of mankind. It reflects the responsibility and obligation that modern Japan owes to the world.

It is our heartfelt hope and expectation that people from every corner of the globe will participate in the aim of creating new levels of design to serve our planet and humanity. We believe that by thus forging a link between individual cultures and universal industrial technology we can impart a new and finer value to the civilization that universal technology has spawned.

組織・役員の変遷

当協会は、執行体制の強化と事業の効率的な運営を図るため、2000年3月に従来 の運営委員会を廃止し、新たに評議員会を設置することとなった。また1993年 12月にアジア諸国とデザイン交流活動を一層推進するため「アジア太平洋デザ イン交流センター」を設置した。

主な役員等の変遷

土な反員寺の変遷		
会長	佐伯 勇	$1981.11 \sim 1982.4$
	古川 進	$1982.4 \sim 1986.3$
	佐治敬三	1986.4~1993.3
	大西正文	1993.4~1999.6
	田代 和	1999.6~現在
副会長	佐治敬三	1981.11~1986.3
	長村貞一	1981.11~1998.6
	新井真一	$1986.4 \sim 2001.3$
	久禮彦治	1998.6~現在
	柴田益男	2001.3~現在
理事長	新井真一	1984.4~1996.7
	柴田益男	1996.7~現在
専務理事	飛田正雄	1981.11~1984.3
	村尾通夫	$1984.4 \sim 1989.3$
	田中 稔	1989.4~1993.3
	北川正明	1993.4~1995.3
	菅野省三	1995.4~1999.3
	石井一生	1999.4~2001.3
	大石新太郎	2001.4~現在
常務理事	横山 外	1981.11~1991.6
	大西昭治	$1991.7 \sim 1996.6$
	北村高保	$1996.6 \sim 2001.6$
	栗原 勲	2001.7~現在
常務理事·事務局長	木村一男	1981.11~1990.6
	菊池 禮	$1990.7 \sim 1993.12$
	巽 正和	1993.12~現在
アジア太平洋デザイン 交流センター所長・理事	嶽釜輝夫	1993.12~現在
運営委員長	佐治敬三	1981.8~1986.3
	能村龍太郎	1986.4~2000.3
評議員会議長	谷川順一	2000.3~現在
国際デザイン・フェスティバル	山下俊彦	1983.3~2000.3
推進委員長	能村龍太郎	2000.4~現在

当協会事業の実施に当たり、下記企業から人材面の協力を得ております。 (50音別)

トヨタ自動車株式会社 松下電器産業株式会社

大阪ガス株式会社 三洋電機株式会社 近畿日本鉄道株式会社 シャープ株式会社

サントリー株式会社 ソニー株式会社 三菱電機株式会社

JAPAN DESIGNZ

OUTLINE OF JDF'S HISTORY

協会の沿革

設立の背景

国際デザイン交流協会の設立は1981年11月であるが、協会の沿革は1979年まで遡る必要がある。 戦後、我が国は驚異的な高度経済成長を達成し、 物質的には非常に豊かになった。しかし、石油 危機を契機に人々は、精神的、文化的にも充実 したより高度な社会環境を求めるようになって きた。こうした時流の中で、精神文化と物質文 明との架け橋ともいうべきデザインの重要性が 人々に認識され始めた。

一方、わが国のデザイン水準の向上は目ざましく、海外で開催される国際的なデザインコンペティションにおいても、日本のデザイナーが数多く入賞し、世界のデザイン関係者の注目を浴びるなど、これまでのデザイン受信地から発信地としての位置に変わりつつあった。しかしながら、当時日本には国際的なデザインコンペティションは無く、その開催が内外のデザイン関係者から熱望されていたのである。

このような中で、1979年6月通商産業省の輸出 検査及びデザイン奨励審議会のデザイン奨励部 会は、「今後のデザイン振興策について」と題 する報告書で、80年代に向けての数々のデザイ ン振興施策を提言したが、その中でわが国及び 世界のデザイン水準の向上とそれに対するわが 国の貢献、国際文化交流推進等の見地から、国 際的な規模のデザインコンペティションンの開 催を提案した。

これを受けて翌1980年9月、同部会の中に国際 デザイン・コンペ検討小委員会が設けられ、検 討が重ねられた。その結果、1981年1月わが国 を新しい産業のデザインの震源地とし、デザイ ンを通じ国際的な交流の場を提供するため、 「産業デザイン国際ビエンナーレ展」を2年に一 度開催することがデザイン奨励部会において承 認された。

大阪開催誘致

産業デザイン国際ビエンナーレ展を継続的に実施して行くには、常設の事務局が必要であるが、基金調達などの問題があり、運営母体をどうするかが大きな課題であり、大阪に対しても開催についての打診がなされた。

大阪は有能なデザイナーを多数輩出し、行政もいち早く1960年には大阪デザインセンターを設立するなど積極的にデザイン振興をはかっており、我が国デザインの中枢地区の一つとして位置づけられていた。また、当時大阪では、21世

Background

Japan Design Foundation has established in November 1981, however, as for the outline of it has to go back to 1979. Japan achieved an amazingly high-level of economic growth in the post-war period, accompanied by unparalleled material affluence. However, after the oil crisis, people began to seek a better social environment, one which would provide spiritual and cultural satisfaction. During this period, people began to realize the importance of design as a bridge between spiritual culture and the material civilization.

Meanwhile, the standards of design in Japan have improved remarkably, and a large number of Japanese designers have won awards in various international design competitions attracting the attention of design-related people throughout the world. Thus, our nation changed from a receiver to a transmitter of design information. At that time, however, Japan had no design competition on a global scale, and many design-related people hoped to realize this type of event.

With this background, the Design Promotion Workshop for Export Inspection and Design Promotion Council of the Ministry of International Trade and Industry proposed a series of measures to promote design in June 1979. The measures included a proposal for a major international design competition for our contribution to the improvement of the international design world and the promotion of cultural exchange.

The International Design Competition Study Sub-committee was set up in the said Workshop in September of 1980. After a series of discussions, the Design Promotion Workshop approved the holding of a design competition and the presentation of a design award once every two years in order to provide a venue of exchange and serve as a base for transmitting design information.

Osaka's Bid to Host International Design Competition

To regularly hold the International Design Competition, it was essential to establish a standing secretariat, which called for considerable funding. The Design Promotion Committee therefore inquired of several cities, including Osaka, as to their interest in coorganizing the Competition.

At that time, Osaka was already known as Japan's industrial design center, since many able designers were active here, and the City was actively promoting industrial design, as evidenced in the 1960 establishment of Osaka

紀に向けて多彩な催しや国際交流、文化活動のための施設づくりにより、大阪をよみがえらせようという大阪21世紀計画の構想が進められており、このビエンナーレ展に対し積極的な関心が示された。

1981年2月、大阪府、大阪市及び大阪商工会議所など在阪経済5団体、大阪デザインセンターの8者が「産業デザイン国際ビエンナーレ展の大阪開催誘致に関する要望書」を国に提出し、大阪への誘致を働きかけた。3月になって8億円の基金の半分の4億円を大阪で出資する(府、市、大阪商工会議所が三分の一ずつ拠出)方針をきめたことから、ビエンナーレ展の大阪での開催が内定し、7月のデザイン奨励部会において、1983年から2年おきに大阪で恒久開催することが正式に承認されたのである。

協会の設立

1983年にビエンナーレ展を開くためには、運営 母体となる財団法人の設立を待ってから準備を 始めるのでは間に合わないため、準備を先行さ せることになり、1981年8月「国際産業デザイ ンビエンナーレ準備委員会」を発足させ、9月 にはその事務を担当する「大阪ビエンナーレ準

Design Center. Moreover, Osaka was planning to revive the City's vitality toward the 21st century by organizing international exchange and cultural events and constructing facilities for such programs. Encouraged by this social climate, Osaka responded positively to the Committee's inquiry.

In February 1981 eight organizations, including the Osaka Prefectural Government, Osaka Municipal Government, Osaka Chamber of Commerce and Industry, other Osaka-based economic organizations, and Osaka Design Center, jointly submitted to the national government a written request to host the International Design Competition in Osaka. In March 1981 Osaka Prefecture, Osaka City, and Osaka Chamber of Commerce and Industry decided to share half the necessary funds for holding the event (each would share 1/3 of the 400 million yen that comprised 50% of the total funds). This decision was effective in selecting the event host city. In July of that year, the Design Promotion Committee officially announced that the Competition would be held in Osaka every other year from 1983.

備室」を大阪デザインセンター内に開設した。また、運営委員会の下部組織として総合企画、テーマ、審査、広報の四つの実行委員会を設置し、事業の具体化のためのプラン作りに着手した。1981年10月26日には協会設立発起人会が開かれ、あらゆるデザイン分野における国際交流を推進し、産業および文化の発展と人類社会の向上に寄与することを目的に、財団法人国際デザイン交流協会が設立され、翌11月通商産業大臣より協会設立の許可がおり、ここに正式に発足するところとなった。

国際デザイン・フェスティバルの開催

コンペティション、アオード両事業の具体化にあたっては、この事業の性格を先進国、発展途上国を問わず世界中から参加できるものにすることを方針として検討が進められた。そして、これら事業の基本テーマとして「生あるもののためのデザイン」を決定し、これに基づき第1回コンペティションのテーマを「集」と決定した。当初、世界の優れたデザイン製品を選んで一堂に展示することを意図にしていたアオードについては、実施方法を検討する過程において商品設定の方法など難題が多く出てきたため、表彰

の対象が製品から、デザイン活動等に功績のある個人、団体に変更された。この変更により展示が地味なものになることを避けるため、市民にアピールする展示事業が検討され、その結果、新たにデザイン展の構想が生まれた。そして、事業の名称もそれぞれ、「国際デザイン・フンペティション」、「国際デザイン・アオード」、「国際デザイン展」とし、この3事業と関連事業で構成される、世界でもユニークな総合的デザインイベント「国際デザイン・フェスティバル」の構想がまとまった。

この間、協会は国際的なデザイン組織である ICSID (国際インダストリアルデザイン団体協議会)、ICOGRADA (国際グラフィックデザイン協会協議会)、IFI (国際インテリアデザイナー連盟) に代表者を派遣し、国際デザイン・コンペティションについて、国際コンペとしての正式承認を得るとともに、この事業への協力を要請した。

1983年10月7日、第1回国際デザイン・フェスティバルの開幕式典が皇太子・同妃両殿下(現天皇皇后両陛下)のご臨席のもとに大阪・千里の万国博ホールで開かれ、第1回国際デザイン・アコンペティション及び第1回国際デザイン・ア

Establishing the JDF

A preparatory committee was set up in August 1981 in order to make preparations. A presentation section, responsible for administrative works, was set up in the Osaka Design Center. The foundation promoter's meeting was held on October 26, 1981, and it was agreed to set up the Japan Design Foundation (JDF) for the purpose of promoting international exchange in all design fields and contributing to the development of industry and culture and the betterment of the society. The motion for the establishment of the JDF was officially sanctioned by the Ministry of International Trade and Industry in the following month, marking the official start of the JDF.

The international Design Festival, Osaka

Leading Japanese designers from various fields assembled to develop concrete plans for the foundation 's activities. It was decided that the basic theme of these activities would be "Design for Every Being", and "集": Shū (gathering)" was chosen as the theme of the 1 st Competition. The "International Design Exhibition" was rooted in the idea of promoting understanding and interest in design among the general public through the display of outstanding design works from

around the world. The International Design Festival, Osaka was to be a comprehensive design event comprised of 3 major activities-the International Design Competition, Osaka; the International Design Award, Osaka; and International Design Exhibition, Osaka-along with other related events.

Meanwhile the JDF sent representatives to international design organizations such as ICSID (International Council of Industrial Design), ICIGRADA(International Council of Graphic Design Associations) and IFI (International Federation of Interior Architects /Interior Designers), aiming to gain official recognition as an international competition, and to seek active cooperation in the JDF's activities.

The opening ceremony of the 1 st International Design Festival, Osaka was held in October 1983 in the presence of the Crown Prince and Princess (now Emperor and Empress of Japan). The 1st International Design Exhibition was attended by 266,000 visitors over a period of 19 days, and was widely publicized in the media as a major event linking design with the public.

The international Design Festival has been held a total of 10 times, once every two years. The venues were INTEX Osaka (2 nd to 4th),

オードの受賞者が表彰された。完成したばかりの大阪城ホールで開催された第1回国際デザイン展は19日間で26万6千人の入場者を集め、デザインと市民を結ぶビッグイベントとして新聞、雑誌、テレビなどで連日大きく報じられた。また、デザイン展の期間中に、市民参加のパネルディスカッション「デザイン・フォーラム83」やデザイナーのためのシンポジウム「デザイナーレ」など、多くの関連事業が実施された。国際デザイン・フェスティバルはその後、国際デザイン展の会場をインテックス大阪(2~4回)、大阪ビジネスパーク (5回)、花博記念公園内国際陳列館(第6回)、アジア大平洋トレードセン

ター内ATCホール (第7~10回) と変えながら、

2年毎にこれまで10回開催された。その間、第2

回国際デザイン展においても皇太子・同妃両殿

事業の展開

下の御視察を得ている。

基幹事業である国際デザイン・フェスティバルの他にも協会は様々な事業を実施している。 第1回国際デザイン・フェスティバルに先立ち 1982年から、内外の著名なデザイナー達を講師 に招いて、デザインに関する講演会やシンポジ

Osaka Business Park (5th), the Expo '90 Commemorative Park (6 th), Asia Pacific Trade Center /ATC Hall (7 th to 10 th). The Crown prince and Princess also visited the 2 nd International Design Exhibition.

Developing activities

The JDF conducts a wide range of activities in addition to the International Design festival. It holds a lecture series and symposiums around the nation several times a year, to which are invited well- known designers from around the world.

The JDF displayed prize-winning works from the 2 nd International Design Competition at the design exhibition held in Stuttgart, Germany in 1986, in Singapore Design Fair in February and Malaysia Design Fair in December 1993. Since 1994, instead of them, the JDF has started JDF Design Forum in Tokyo and Osaka for young designers. In this forum, using slides and CD-ROM, the report of former Design Festival and the promotion of the next theme of Design Competition are conducted. In 1990, it started the Pan-Pacific Design exchange Program aiming at furthering exchange in the design filed with various Pacific -rim nations.

ウムなどを毎年数回、全国各都市で開催している。また、1986年にドイツのシュツットガルト市で開かれたデザイン展に、第2回国際デザイン・コンペティションの入賞作品を展示したのを皮切りに、1993年2月にはシンガポール・デザインフェア、12月にはマレーシア・デザインフェアにおいて海外展を開催した。また、国内では1996年まで毎年全国各地でコンペティション入賞作品の巡回展示を行ってきた。1994年以降は、巡回展示に代わるものとして、東京や大阪で若手デザイナーを対象にJDFデザイン・フォーラムを開催し、スライドやCD-ROMを使って、前回のデザイン・フェスティバルの報告をすると共に次回のコンペティション・テーマの普及、啓発を行っている。

更に1990年には、デザインの分野で環太平洋諸 国との交流をはかる環太平洋デザイン交流事業 がスタートした。

アジア太平洋デザイン交流センターの設置

アジア太平洋デザイン交流センターの設置は 1993年12月であるが、アジア太平洋地域を対象 としたデザイン交流事業は1990年4月にスター トした「環太平洋デザイン交流事業」に遡る。 「環太平洋デザイン交流事業」は歴史的・地理的・文化的にもわが国と深い係わりを持つ環太平洋諸国との間で、デザインを通じた幅広い国際協力を行うことにより、相互理解の促進とこれら諸国のデザイン開発の向上に寄与することを目的に開始された。

こうした中にあってアジア太平洋諸国において は輸出貿易振興を通じた経済発展と国民生活の 向上を図る観点から、その一環としてデザイン 水準の向上を重要施策として位置づけ、デザイン分野の先進国であるわが国に対してデザイン 振興政策のノウハウの移転等、デザイン力の涵養を図るための協力要請が数多く通商産業省等 に寄せられた。

こうした背景のもと、通商産業大臣の諮問機関である「デザイン奨励審議会」ではアジア諸国からのデザイン面での協力・支援要請が強まっていることに鑑み、総合的なデザイン交流・協力事業等を推進する中核的な機能を有した機関の必要性を答申、この答申を受けて環太平洋諸国とのデザイン交流実績を有する当協会において、デザインを通じた国際交流、協力事業を促進する中核的機能を有した「アジア太平洋デザイン交流センター」を1993年12月に設置した。

Establishment of Asia Pacific Design Network

The history of Asia Pacific Design Network, established in December 1993, originated in the Pan-Pacific Design Exchange Program, commenced in April 1990.

Since Japan has close historical and cultural relations with countries on the Pacific Rim, the Program was inaugurated with the objectives of promoting mutual understanding and helping develop industrial design in the countries in this region through design-based international cooperation.

Meanwhile, many countries in the Asia-Pacific region prioritized improvement of the industrial design levels of their respective countries, in order to promote industrial product exports and thereby develop the national economy while improving the living standard. National governments of these countries therefore requested Japan's Ministry of International Trade and Industry (MITI, now Ministry of Economy, Trade and Industry) to impart Japan's know-how regarding design promotion policies, and to cooperate with them in developing industrial design.

In response, the Design Promotion Committee, an advisory committee to the Minister of MITI, suggested that a new institute be established, dedicated to design-related overseas cooperation and exchange programs. In compliance with this suggestion, in December 1993 the Japan Design Foundation, which had already played a leading role in overseas design cooperation, particularly with countries on the Pacific Rim, established the Asia Pacific Design Network as a pivotal facility for promoting international cooperation through design-related exchange programs.

APAN DESIGN Anniversar

国際デザイン・フェスティバル事業

「生あるもののためのデザイン」を基本テーマとする国際デザイン・フェスティバルは、「国際デザイン・コンペティション」「国際デザイン・アオード」「国際デザイン展」の三つの基幹事業によって構成されている。1983年に第1回を開催し、以来、隔年毎に開催して2001年には第10回を行った。

当協会は、このフェスティバル事業を通じて、 わが国を新しいデザインの国際交流の場とする とともに、世界の産業界、デザイン界の発展に 寄与してきた。

(1) 国際デザイン・コンペティション

国際デザイン・コンペティションは、人類社会の未来を拓く新しいデザイン提案を期待して、グラフィックデザイン、プロダクトデザインから、建築デザイン、環境デザインにいたる全てのデザイン分野を対象にして実施する、言わばデザイ

ン界のオリンピックともいうべきもので、国際 グラフィックデザイン協会協議会(ICOGRADA)、 国際インダストリアルデザイン団体協議会(ICSID) および国際インテリアデザイナー連盟(IFI)の 承認を得て行う国際的なデザインコンペティションである。

賞金総額7万1千米ドルというスケールの大きさに加え、「集」「交」「水」「火」「土」「風」「触」「遊」そして第9回「編む」と、第1回以来一貫してテーマが漢字というユニークさが、世界中のデザイナーの大きな関心を集めてきましたが、第10回コンペティションでは、初めて英語を基調にしたテーマ「intermediation / 次世代へつなぐメッセージ」を採用しました。今では、このコンペティションは「大阪コンペティション」の愛称で広く知られ、親しまれている。

このコンペティションの入賞者の中から、現在、 世界のデザイン界を担って活躍している人々が 多数育っており、世界的なデザイナーの登竜門 としての役割も果たしている。

国際デザイン・コンペティション審査員

第1回(1983年)

カール・オーバック (オーストリア) 建築家 榮久庵憲司 (日本) インダストリアルデザイナー 亀倉雄策 (日本) グラフィックデザイナー ピーター・ニーボン (イギリス/フランス)

グラフィックデザイナー

アンティ・ヌルメスニエミ (フィンランド)

建築家/インテリアデザイナー

アーサー・J・プーロス(アメリカ)インダストリアルデザイナー ユーリ・B・ソロビエフ (旧ソ連)

インダストリアルデザイナー

第2回(1985年)

ロドルフォ・ボネット(イタリア)

ヤン・トレゴー (デンマーク)

インダストリアルデザイナー ウィルム・ヘンドリック・クロウェル(オランダ) グラフィックデザイナー

福田繁雄(日本)グラフィックデザイナー 模 文彦(日本)建築家/都市計画家 ジョージ・ネルソン(アメリカ)インテリアデザイナー ディーター・ラムス(ドイツ)インダストリアルデザイナー

インダストリアルデザイナー

1.International Design Festival, Osaka

The International Design Festival, Osaka, whose basic theme is "Design for Every Being", encompasses three major events: the International Design Competition, the International Design Award, and the International Design Exhibition.

The International Design Festival, held for the first time in 1983, is held every other year. And in 2001,it welcomed the 10th International Design Festival.

Through this event we have hoped to make Japan a new venue of international exchange in design while contributing to the development of industry and design activities all around the world.

(1)International Design Competition,Osaka

The International Design Competition, Osaka, is open to designers and design students in every field of design, and is intended to inspire exciting new proposals for the future of mankind and society. It is an officially recognized international design competition held under the auspices of the International Council of Graphic Design Associations

(ICOGRADA), the International Council of Societies of Industrial Design (ICSID), and the International Federation of Interior Architects/Interior Designers (IFI).

In addition to its scale, offering a total of US \$71,000 in prizes, it is unique because the theme has always been expressed by a Chinese character: "集[Shū](gathering),交 [Kou] (interaction),水[Water],火[Fire]± [Terra],風[Wind],触[Touch,Feel]遊[YUU]and 9th 編む[amu: intertextuality]." The 10th Competition was held at the memorable 21st Century, "intermediation" which was decided for the theme of the competition is expressed by English, change its mind. Over the years it has grown to attract the interest of designers all over the world and has become so well established and familiar to have earned the nickname of the Osaka Competition.

Members of Jury

1st (1983)

Carl Auböck (Austria)Architect Kenji Ekuan (Japan) Industrial designer Yusaku Kamekura(Japan) Graphic designer Peter Kneebone(U.K./France)

Graphic designer

Antti Nurmesniemi(Finland)

Architect/ Interior designer
Arthur J. Pulos (U.S.A.) Industrial designer
Juri Borisovitch Soloviev(former U.S.S.R.)
Industrial designer

2nd (1985)

Rodolfo Bonetto (Italy) Industrial designer Willm Hendrik Crouwel (the Netherlands) Graphic designer

Shigeo Fukuda (Japan) Graphic designer Fumihiko Maki (Japan)

Architect/ Urban planner George Nelson (U.S.A.) Interior designer Dieter Rams(Germany) Industrial designer Jan Trägårdh (Denmark) Industrial designer 3rd (1987)

Robert Ian Blaich(U.S.A./ the Netherlands)
Industrial designer

Alan Gerard Fletcher (U.K.) Graphic designer Kiyonori Kikutake(Japan) Architect/ Urban planner

第3回(1987年)

ロバート・イアン・ブレイク (アメリカ/オランダ) インダストリアルデザイナー アラン・ジェラード・フレッチャー (イギリス)グラフィックデザイナー

菊竹清訓(日本)建築家/都市計画家 永井一正(日本)グラフィックデザイナー ジャン・パントン (フランス) インテリアデザイナー

第4回 (1989年) ホルヘ・フラスカラ (カナダ) グラフィックデザイナー 川上信二 (日本) インテリアデザイナー

喜多俊之(日本)インダストリアルデザイナー

アグネッタ・リリエダール (スウェーデン) インテリアデザイナー

ディーン・W・リチャードソン (アメリカ)

インダストリアルデザイナー

清家清(日本)建築家

田中一光 (日本) グラフィックデザイナー

豊口 協(日本) インダストリアルデザイナー

第5回(1991年)

青葉益輝 (日本) グラフィックデザイナー リタ・セント・クレアー(アメリカ)インテリアデザイナー マイ・フェリプ・ヘッセルバルト (スペイン)

インダストリアルデザイナー

柏木 博(日本)デザイン評論家

勝井三雄(日本)グラフィックデザイナー 黒川雅之(日本)建築家

ヘルムート・ランガー (ドイツ)グラフィックデザイナー 竹山 実(日本)建築家

第6回(1993年)

喜多俊之 (日本) インダストリアルデザイナー アンジェロ・コルテージ (イタリア)プロダクトデザイナー 五十嵐威暢 (日本) グラフィックデザイナー フィリップ・ジャンティ(フランス)

グラフィックデザイナー

栗津 潔 (日本) グラフィックデザイナー リチャード・リニントン(イギリス)インテリアデザイナー 上田 篤 (日本) 建築家

第7回(1995年)

青葉益輝 (日本) グラフィックデザイナー 黒川雅之 (日本) 建築家/プロダクトデザイナー 田中 央 (日本) プロダクトデザイナー ジャンフランコ・ザッカイ(アメリカ)

インダストリアルデザイナー ニコ・スペルプリンク(オーストラリア)グラフィックデザイナー クロード・ベリューベ(カナダ)インテリアデザイナー

第8回(1997年)

栗津 潔 (日本) グラフィックデザイナー ウベ・バーンセン(スイス)インダストリアルデザイナー 柏木 博 (日本) デザイン評論家
川上信二 (日本) インテリアデザイナー
コシノ・ジュンコ (日本) ファッションデザイナー
デニス・ハンディ (アイルランド) インテリアデザイナー/建築家
ジャンカルロ・イリプランディ (イタリア)

グラフィックデザイナー

第9回(1999年)

坂下 清 (日本) インダストリアルデザイナーオーグスト・モレロ (イタリア) デザイン評論家 長谷川逸子 (日本) 建築家 河原敏文 (日本) 映像プロデューサーギー・ショッカート(ベルギー) グラフィックデザイナーマリアン・フランドセン(デンマーク)インテリア建築家 川上元美 (日本) デザイナー

第10回(2001年)

田中一光 (日本) グラフィックデザイナー 鴨志田厚子 (日本) インダストリアルデザイナー デビット・クスマ (アメリカ)

インダストリアルデザイナー

鶴田剛司 (日本) インダストリアルデザイナー 山内陸平 (日本) インテリアデザイナー ロバート・ピーターズ (カナダ) グラフィックデザイナー デスモンド・ローブシャー (南アフリカ)

インテリアデザイナー

Kazumasa Nagai(Japan) Graphic designer Jean Pinton(France) Interior designer 4th (1989)

Jorge Frascara (Canada) Graphic designer Shinji Kawakami(Japan) Interior designer Toshiyuki Kita (Japan) Industrial designer Agenta Liljedahl (Sweden) Interior designer Deane W. Richardson(U.S.A.)

Industrial designer Kiyoshi Seike (Japan) Architect

Ikko Tanaka(Japan) Graphic designer Kyo Toyoguchi(Japan) Industrial designer 5th (1991)

Masuteru Aoba (Japan) Graphic designer Rita St. Clair(U.S.A.) Interior designer Mai Felip Hosselbarth (Spain)

Industrial designer

Hiroshi Kashiwagi (Japan) Design critic Mitsuo Katsui(Japan) Graphic designer Masayuki Kurokawa(Japan) Architect Helmut Langer (Germany) Graphic designer Minoru Takeyama(Japan) Architect 6th (1993)

Toshiyuki Kita (Japan) Industrial designer Angelo Cortesi (Italy) Product designer Takenobu Igarashi(Japan) Graphic designer Philippe Gentil(France) Graphic designer Kiyoshi Awazu(Japan) Graphic designer Richard Linington(U.K.) Interior designer

Atsushi Ueda(Japan) Architect **7th (1995)**

Masuteru Aoba (Japan) Graphic designer Masayuki Kurokawa(Japan)

Architect/ Product designer Yoh Tanaka(Japan) Product designer Gianfranco Zaccai(U.S.A.) Industrial designer Nico Spelbrink(Australia) Graphic designer Claude Berube(Canada) Interior designer 8th (1997)

Kiyoshi Awazu(Japan) Graphic designer Uwe Bahnsen(Switzerland)

Industrial designer

Hiroshi Kashiwagi(Japan) Design critic Shinji Kawakami(Japan) Interior designer Junko Koshino(Japan) Fashion deigner Denis Handy(Ireland)

Interior designer/ Architect Giancarlo Iliprandi (Italy) Graphic designer 9th (1999)

Kiyoshi Sakashita (Japan) Industrial designer Augusto Morello(Italy) Design critic Itsuko Hasegawa(Japan) Architect Toshifumi Kawahara(Japan) Visual Producer Guy Schockaert(Belgium) Graphic designer Marianne Frandsen(Denmark)

Interior Architect Motomi Kawakami(Japan) Designer

10th (2001)

Ikko Tanaka(Japan) Graphic designer
Atsuko Kamoshida(Japan) Industrial designer
David Kusuma (U.S.A) Industrial designer
Takeshi Tsuruta (Japan) Industrial designer
Rikuhei Yamauchi(Japan) Interior designer
Robert L.Peters(Canada) Graphic designer
Desmond G.Laubscher (South Africa)
Interior designer

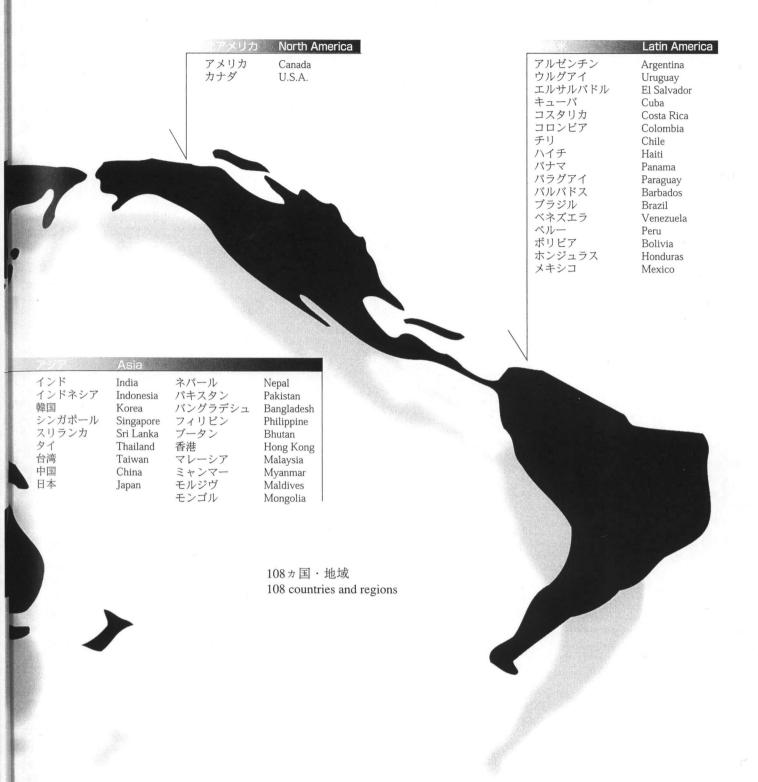
Countries and regions participating in the Competitions (1st to 10th) コンペティション出品国・地域(第1回~10回)



出品者数、出品点数

	第1回(1983) 1 st	第2回(1985) 2nd	第3回 (1987) 3 rd	第4回(198 4th
テーマ / Theme	集:Shū	交: Kou	水:Water	火:Fir
出品者数 / entrants	756	648	851	784
(日本 / Japan)	355	212	157	114
(海外 / Other countries and regions)	401	436	694	670
出品点数 / Works	1,367	1,032	1,144	1,009
(日本 / Japan)	569	267	198	133
(海外 / Other countries and regions)	798	765	946	876
国·地域数 / Countries and regions	52	41	48	53





第5回(1991) 5th	第6回(1993) 6th	第7回(1995) 7th	第8回(1997) 8th	第9回(1999) 9th	第10回(2001) 10th
士:Terra	風:Wind	触: Touch, Feel	遊:YUU	編む: intertextuality	Intermediation 次世代へつなぐメッセージ
812	914	1,233	814	851	799
100	178	338	93	149	194
712	736	895	721	702	605
1,134	1,127	1,549	1,021	1,069	1,093
113	196	349	106	156	207
1,021	931	1,200	915	913	886
63	70	67	61	54	61

(2) 国際デザイン・アオード

国際デザイン・アオードは、デザインを通じて 産業や文化の振興に寄与し、人類社会の発展に 貢献した個人や団体を隔年毎に選定し、その優 れた活動や研究の業績を顕彰するものである。 過去から現在までのデザイン活動における世界 的なレベルの高い業績を対象として、全てのデ ザイン分野から選定する世界でもユニークな顕 彰事業である。

このアオードにふさわしい個人や団体を選出す るため、数十ヵ国のデザイナー、デザイン振興 機関の代表者、デザイン専門誌の編集長など、 デザイン界の権威者を推薦人に委嘱し、これら の人々によって推挙された候補者の中から、5 人の日本人審査員全員による厳正な審査によっ て受賞者が選定されます。

国際デザイン・アオード審査員

第1回(1983年)

activities or studies.

members.

福田繁雄

グラフィックデザイナー

泉 真也

環境デザイナー

(2)International Design Award,Osaka

aimed at honoring organizations or individuals

who have made a lasting contribution to the

promotion of industry and culture and the

betterment of society through design, and is

bestowed every other year in recognition of

outstanding achievements in the form of

The International Design Award is unique

because the recipients are selected from

among the most outstanding contributors to

design all around the world, regardless of the

field of design, based on their design activities

past and organizations, editors of design

journals, and other leading figures in the field

of design in various parts of the world are

asked to serve as recommenders to nominate

suitable individuals or groups deemed worthy

of this distinction. The recipients are chosen

from among the many outstanding candidates

recommended by a thorough screening

process conducted by a jury of five Japanese

川添登

建築評論家

佐治敬三

国際デザイン交流協会副会長

美術評論家 高階秀爾

第2回(1985年)

泉 宣也

環境デザイナー

川添 登

建築評論家

佐治敬三

国際デザイン交流協会副会長

高階秀爾 美術評論家

グラフィックデザイナー 田中一光 第3~8回(1987年、1989年、1991年、1993年、

1995年、1997年)

新井真一

国際デザイン交流協会副会長兼

理事長

泉 真也

環境デザイナー

小川正隆

美術評論家

川添 登

建築評論家

木村重信

美術評論家

第9・10回(1999年、2001年)

泉 真也

環境デザイナー 日本大学大学院芸術研究科教授

榮久庵祥二 川添 登

建築評論家

木村重信

美術評論家

豊口 協

長岡造形大学学長

Members of Jury

1st (1983) The International Design Award, Osaka, is

Shigeo Fukuda Graphic designer Shinya Izumi Environmental designer Noboru Kawazoe Architecture critic Keizo Saii Vice chairman, JDF Shuji Takashina Art critic

2nd (1985)

Shinya Izumi Environmental designer Noboru Kawazoe Architecture critic Keizo Saji Vice chairman, JDF Shuji Takashina Art critic Ikko Tanaka Graphic designer 3rd - 8th

(1987, 1989, 1991, 1993, 1995, 1997)

Shinich Arai President, JDF

Shinya Izumi Environmental designer Masataka Ogawa Art critic Noboru Kawazoe Architecture critic

Shigenobu Kimura Art critic

9th-10th (1999, 2001)

Shinya Izumi Environmental designer Professor, Graduate School, Shoji Ekuan

College of Art, Nihon University

Noboru Kawazoe Architecture critic Shigenobu Kimura Art critic Kyo Toyoguchi

President, Nagaoka Institute of Design

(3)International Design Exhibition, Osaka

(3) 国際デザイン展

国際デザイン展は、内外の優れたデザインの展

示を通じて人々のデザインに対する理解と関心

を高めるとともに、国際交流の進展を図ること

本協会の基幹事業である国際デザイン・コンペ

ティションの入賞作品や優秀作品、国際デザイ

ン・アオード受賞者の業績を展示するとともに、

協会をはじめ国内外のデザイナー、団体、企業

などが参加して、今日人類が抱える諸課題に対

してデザインを通じて創造的な主張や提案を行

う特別展を開催するなど、あらゆる分野のデザ

イン作品展示や関連事業を総合的に展開する国

際的なデザインイベントである。

を目的として、隔年毎に開催されている。

The International Design Exhibition, Osaka, is held every other year with the aim of deepening the public's understanding of and interest in design, while promoting international exchange, by displaying outstanding design works gathered from around the world.

The prize-winning works and excellent works from the International Design Competition are displayed along with the achievements of the recipients of the International Design Award. At the same time, numerous designers, groups and companies from Japan and abroad, together with the JDF, attempt to make constructive proposals about how to solve the various problems facing mankind today through design. This is a design event on a global scale where design works from all fields and related activities are comprehensively displayed.

国際デザイン展出展及び協賛企業・団体 <第1~10回>

(50音順)

株式会社青芳製作所 朝日新聞社 アサヒビール株式会社 味の素株式会社 安藤合金製造所 E&Cプロジェクト 飯田電機工業株式会社 いすぐ自動車株式会社 伊藤忠商事株式会社 株式会社イトーキ 株式会社INAX インターフィールドコーポレーション日本支社 ウイクルエイテイエス株式会社 有限会社浦島屋 エース株式会社 NTTドコモ関西 大阪ガス株式会社 大阪市交通局 大阪市港湾局 大阪市信用金庫 財団法人大阪デザインセンター 大阪百貨店協会 大阪府・大阪市・大阪デザイン団体連合 大阪府立産業デザイン研究センター 有限会社オカセン商事 大塚製薬株式会社

オムロン株式会社 オリンパス光学工業株式会社 鹿島建設株式会社 財団法人川崎市市民ミュージアム 関西電力株式会社 関西ペイント株式会社 株式会社キッド・ステューディオ 株式会社キヌガワ 近畿コカ・コーラボトリング株式会社 近畿日本鉄道株式会社 株式会社クボタ 株式会社鴻池組 寿精版印刷株式会社 サントリー株式会社 三洋電機株式会社 株式会社三和銀行 株式会社資生堂 株式会社実業エージェンシー 財団法人自転車産業振興協会 シャープ株式会社 株式会社住友銀行 住友生命保険相互会社 住友林業株式会社 株式会社セイコーエプソン 株式会社星興グリップ製作所 西武流通グループ 積水化学工業株式会社 積水ハウス株式会社 株式会社錢高組 社団法人総合デザイナー協会 株式会社総合ビジョン 象印マホービン株式会社 創造社アソシエイツ

ソニー株式会社 株式会社大広 ダイキン工業株式会社 大日本印刷株式会社 ダイハツ工業株式会社 太陽工業株式会社·TSP太陽株式会社 株式会社大和銀行 大和ハウス工業株式会社 タカラベルモント株式会社 武田薬品工業株式会社 株式会社竹中工務店 株式会社田宮模型 DMC Villa Tosca S.r.l 株式会社雷涌 トーソウ化研株式会社 東洋紡績株式会社 東陶機器株式会社 凸版印刷株式会社 株式会社トミー トヨタ自動車株式会社 ナショナル住宅産業株式会社 ナショナル自転車工業株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 株式会社日建設計 日産自動車株式会社 株式会社日展 日本オリベッティ株式会社 社団法人日本自動車工業会 日本写真印刷株式会社 日本電気株式会社 株式会社日本電気デザインセンター 任天堂株式会社 株式会社博報堂

林刃物株式会社 株式会社阪神百貨店 平田商事株式会社 株式会社福田武環境デザイン研究所 株式会社富士銀行 富士写真フィルム株式会社 富士通株式会社 株式会社富士鉄工所 ブラウン・ジャパン株式会社 フロッグデザイン株式会社 ホーユーテック株式会社 北海グループ 本田技研工業株式会社 毎日新聞社 松下電器産業株式会社 松下電工株式会社 松下電子部品株式会社 ミサワホーム株式会社 株式会社ミサワホーム総合研究所 ミズノ株式会社 三菱電機株式会社 ミノルタカメラ株式会社 メルボ紳士服株式会社 株式会社モリサワ 株式会社モリタ 山岡金属工業株式会社 株式会社ヤマト ヤマハ株式会社 UCC上島珈琲株式会社 株式会社ユーノス 株式会社ユーパワー 株式会社ワコール

Exhibitors at the 1st to 10th Exhibitions Special Sponsors

大西衣料株式会社

株式会社岡村製作所

株式会社大林組

Aoyoshi Manufacturing Co., Ltd. Asahi Shimbun ASAHI BREWERIES,LTD Ajinomoto Co., Inc Ando Alloy Manufactory E&C Project (Kyoyo-Hin Foundation) IIDA ELECTRICAL WORK CONTRACTOR Isuzu Motors Limited ITOCHU Corporation ITOKI CO., LTD **INAX** Corporation Interfield Cooperation, Japan Branch WECLE ATS CO., LTD. Urashimaya Foods Inc. Ace Co. Ltd. Kansai Mobile Communications Network, Inc. OSAKA GAS CO., LTD. Osaka Municipal Transportation Bureau Port & Harbor Bureau, City of Osaka The Osaka City Shinkin Bank

Osaka City Shinkin Bank
Osaka City Shinkin Bank
Osaka Design Center
Osaka Department Stores Association
Osaka Prefecture, Osaka City, United Societies of Design -Osaka
Osaka Industrial Design Center
OKASEN SHOJI CO.LTD
Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.
SELF CORPORATION
OBAYASHI CORPORATION

Okamura Corporation

OMRON Corporation

OLMPPUS OPTICAL CO.,LTD Kajima Corporation Kawasaki City Museum THE KANSAI ELECTRIC POWER CO., INC. KANSAI PAINT CO., LTD. KIDStudio Corporation KINUGAWA CO., LTD. KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., INC. Kinki Nippon Railway Co., Ltd. KUBOTA Corporation KONOIKE CONSTRUCTION CO., LTD. KOTOBUKI SEIHAN PRINTING CO., Ltd. SUNTORY LIMITED SANYO Electric Co., Ltd. THE SANWA BANK LIMITED SHISEIDO Jitsugyo Agency Co., Ltd. Japan Bicycle Promotion Institute SHARP COPORATION SUMITOMO BANK SUMITOMO LIFE INSURANCE COMPANY SUMITOMO FORESTRY CO., LTD Seiko Epson Corporation SEIKO GRIP Inc. The Seibu Group of Retail Enterprises SEKISUI Chemical Co., LTD Sekisui House, Ltd. THE ZENITAKA CORPORATION Designers Associates Sogovision INC ZOJIRUSHI CORPORATION Sozo-Sha Associates Sony Corporation DAIKO ADVERTISING INC.

Daikin Industries ,LTD.

Dai Nippon Printing Co., Ltd. DAIHATSU MOTOR CO., LTD. TAIYO KOGYO CORPORATION The Daiwa Bank, Ltd DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., Ltd. Takara Belmont Co., Ltd. TAKAEDA CHEMICAL INDUSTRIES, LTD. TAKENAKA CORPORATION Tamiya Plastic Model Co. DMC Villa Tosca S.r.I DENTSU INC. TOSOU CHEMICAL CO..LTD Toyobo. Co., Ltd. Toto Ltd. TOPPAN PRINTING CO., LTD. TOMY TOYOTA MOTOR CORPORATION National House Industrial Co., Ltd. National Bicycle Industrial Co., Ltd. West Japan Railway Company Nikken Sekkei Co., Ltd Nissan Motor Co., Ltd. NITTEN COMPANY LIMITED Olivetti Corporation of Japan JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATIONS, INC. NISSHA PRINTING Co., LTD **NEC** Corporation NEC Design Center, Ltd. Nintendo Co., Ltd. HAKUHODO Inc. Hayashi Cutlery Co., Ltd. THE HANSHIN DEPARTMENT STORE, LTD. Hirata Shoji Co., Ltd.

T. Fuquda Environmental Design THE FUJI BANK, LIMITED FUJI PHOTO FILM CO., LTD FUJITSU LIMITED Fuji Iron Works Co., Ltd. Brown Gillette Japan Inc Frogdesign Hartmut Esslinger Inc. Hoyutec. Co., ltd. Hokkai Group Honda Motor Co., Ltd. The Mainichi Newspapers Co. Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Matsushita Electric Works, Ltd. Matsushita Electronic Components Co., Ltd MISAWA HOMES Co., Ltd MISAWAHOMES Institute of Research and Development Co. Ltd. MIZUNO CORPORATION MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION Minolta Camera Co., Ltd. Melbo Clothing Inc. MORISAWA & COMPANY LIMITED J. Morita Co. YAMAOKA IND. CORP YAMATO Co., LTD YAMAHA MOTOR CO., LTD. Ueshima Coffee CO., Ltd. EUNOS Co., LTD YOU POWER CO., LTD. WACOAL CORP.

アジア太平洋デザイン交流事業

世界経済の相互依存関係が一層進展する中にあって、資源や環境面における制約等を踏まえつつ、調和のとれた発展を遂げていくうえで、先進国は勿論のこと、可能性を秘めたアジア各国の経済、社会の発展が大きな課題となっている。当協会では1990年から、地理的、歴史的にも我が国と関係が深く、かつ、貿易、経済交流が活発に行われているアジア各国を対象に、デザイン交流会議の開催、デザイン交流事業を実施し、着実に交流の基盤づくりに努めてきた。

こうした背景のもとに当協会では、通商産業大臣の諮問機関である「デザイン奨励審議会」の答申に基づき、主としてアジア各国を対象としたデザイン交流活動を一層推進するため、1993年12月3日に「アジア太平洋デザイン交流センター」を設置した。

アジア太平洋デザイン交流センターでは、アジ ア太平洋各国・地域の産業・文化の発展に側面 から寄与することを目的に、内外から望まれる 交流・協力を行い、これらを通じて産業振興を 図ると共に、併せて文化やアイデンティティに ついて、お互い学び会うという姿勢のもとに、 諸事業を展開している。

推進事業としては、「デザイン交流ミッションの派遣」、「交流会議の開催」などデザイン交流・ネットワークの構築に関する事業、我が国のデザインに関する振興施策、デザインノウハウの技術移転など要請ベースで行う「デザイン振興支援事業」、人材育成に関する事業として「在日留学生交流事業」、「専門家派遣」、デザインに関する情報収集・提供を行う情報交流事業として「アジアデザインニュース」、「世界のデザインイベントカレンダー」の発行など、更には各国・地域のデザイン事情を始め各種の調査研究事業等を実施している。

こうした中で、現在アジア10ヵ国・地域に14ヵ所のカウンターパートを有し、情報交換の窓口とし、また、本事業の円滑かつ効率的な推進を図るため、デザイン関係者等から成る「国際交流委員会」(委員長:豊口協長岡造形大学学長)を設けている。

(1) デザイン交流事業 (アジア太平洋デザイン交流事業)

アジア太平洋地域の各国・地域とのデザイン分野の交流を通じて、各国・地域の伝統、文化の相互理解とデザイン開発力の向上に寄与することを目的に、「アジア太平洋デザイン交流ミッションの派遣」、「アジア太平洋デザイン交流会議の開催」等を実施している。現在アジア10ヵ国・地域に14のカウンターパートを設け、ネットワーク化を図っているが、1999年からは中南米にもネットワークを拡げデザインを通じた交流事業を開始している。

(2) デザイン調査研究事業 (アジア太平洋地域におけるデザイン総合調査)

アジア各国・地域のデザイン活動の実態を現地 調査を通じて把握することにより、デザイン振 興、人材育成等の課題を明確にし、デザイン振 興の基盤整備のための協力事業を、相手国の実 情に即して展開できるよう考察、提案している。

2. Asia Pacific Design Exchange Program

Given the ongoing economic globalization and increasing mutual dependence between economies, social and economic development of Asian countries, among others, is essential for balanced development of the world economy. Also of strategic importance is to maximize the great potential of the Asian region, particularly in the context of the planet's limited resources and environmental restrictions on economic development. Moreover, Japan has developed close historical and cultural relations with many Asian countries, with which she is also enjoying vigorous economic exchanges.

With this perspective, since 1990 the Japan Design Foundation (JDF) has striven to solidify friendly ties with other Asian countries by holding design network conferences, dispatching design missions and organizing various other friendship promotion programs. To further these efforts, on December 3, 1993 JDF established the Asia Pacific Design Network (APDN), in compliance with a suggestion of the Design Promotion Committee, advisory to the Minister of International Trade and Industry.

To help countries in the Asia Pacific region

with their industrial and cultural development programs, APDN renders cooperation upon request. Through many cooperative programs, APDN intends to support industrial development in respective countries, and at the same time learn of various cultures and traditions from these countries.

The major activities to which APDN is committed include: network building and exchange projects, including design mission projects and design conferences; overseas support projects, under which APDN imparts, upon request, the know-how of Japan's design promotion policies and industrial design technologies; human resource development projects, such as support for overseas students studying in Japan and dispatch of experts from Japan; information services, notably publication of Design Network Asia and Design Events Calendar of the World; and study and research of local situations regarding industrial design.

Today APDN has networks with 14 counterparts in ten Asian countries and regions, through which it collects and exchanges information. To implement APDN projects more effectively and smoothly, it has also established the International Friendship Committee (chaired by Mr. Kyo Toyoguchi, President of Nagaoka

Institute of Design), comprising designers and other related parties.

(1)Design Exchange Program (Asia Pacific Design Exchange Program)

APDN promotes various exchange activities in the field of design within the Asian Pacific region. The purpose is to promote mutual understanding of tradition and culture in the Asian Pacific and help countries and regions develop their design strength. Two such activities are exchange missions to Asian Pacific countries and the Asia Pacific Design Conference At present, APDN has networks with 14 counterparts in 10 countries and regions across Asia. Today it is expanding this network to Central and South Africa from 1999, which is serving to international

(2)Design Study Program (Comprehensive Study of Design in the Asia Pacific Region)

The aim of this program is to grasp the actual state of design activities in various Asian countries through surveys and thereby clarify any hindrances to promotion design, nurturing personnel, and the like, so that ideas and

(3) デザイン振興支援事業 (開発途上国デザイン振興支援事業)

アジア各国・地域の産業界(中小企業者)のデザイン認識の向上、デザイン実務者の知識向上を図ることを目指して、日本の事例をセミナー形式で紹介し、各国が独自に実施しているデザイン振興策を支援している。

加えて、各国の実情に即した振興施策対する助 言・指導に、長期・短期の専門家を派遣する等 の協力を行っている。

(4) デザイン人材育成・情報交流事業

在日デザイン留学生交流事業

海外からのデザイン留学生を対象に、セミナーの実施、デザイン現場の視察などを通じて、日本のデザイン界の現状への理解を深めてもらうとともに、留学生間の相互交流を増進し、併せて当協会とこれらの留学生間の今後のネットワークづくりを目指した事業を実施している。

デザイン情報誌等の発行

アジア各国・地域のデザイン振興機関等とのネ

proposals can be suggested and cooperative activities can be initiated to create and to improve the fundamental structural bases within the government as well in the society from which to promote design in a form that best reflects the actual situation in each country. In addition, the JDF conducted a survey of

(3)Design Cooperation Promotion Program (Support to Developing Countries in their Design Promotion Activities)

design promotion plans of other countries.

At the request of Asian countries, support is provided every year to help other countries promote design. The objective is to raise awareness of design in a mall business circles and help people at the forefront of design increase their knowledge of design outside of their country. Seminars are staged where examples of design application from Japan are presented.

APDN also sends experts abroad, both for long-term and short-term stays, to provide advice and guidance on developing promotional measures.

ットワークを活用し、各国のデザイン活動、イベント情報、デザインに関する課題や在り方についての情報を紹介しあうことを目的に「アジアデザインニュース」や「世界デザインイベントカレンダー」を発刊している。

また、アジア各国それぞれにおける経済状況、文化・歴史の違いやデザインの理解度・誤解からくるトラブル等を未然に防止するための一助として、「国際デザインビジネス・ガイドライン」(Part1、Part2)を作成し、デザイン業、クライアント双方が配慮すべき指針を示した。

さらに、アジアデザインの情報バンクを目ざして、アジア各国・地域のデザイン関連情報の調査・収集・整備に努めている。

国際デザイン・コンベンション

デザインを通じた国際交流により、わが国のデザイン・文化の向上と国際社会への貢献を図り、あわせて地域のデザイン意識の高揚、地場産業の振興を図るため、国際デザイン・コンベンション、シンポジュームやセミナーなどの催しを全国各地で行いました。

コンベンションの開催地は、各地方自治体をは じめ関係団体の要望を受けて、地域バランス、 開催形式等を勘案して、原則として年2カ所を 選定しました。開催に当たっては、コンベンション実行委員会において地元の要望や意見を踏まえて、メインテーマやコンセプトを設定し、 講師の選定、プログラムの策定を行いました。 このコンベンションの開催を契機に、各地でデザイン協会やデザインセンターが設置、拡充され、また、デザインコンペティションが実施されるなど全国レベル、市民レベルでデザインマインドが高まっていったことは、この事業の大きな成果である。

(4) Information Exchange Program

Exchange Activities for Foreign Design Students Exchange programs are offered to students from overseas who are studying design in Japan. The purpose is three-fold, that being to deepen the students' understanding of Japan's design world, increase exchange between the students themselves and build a network between APDN and the students. Various activities are offered including seminars and visits to design studios.

Design information publications

APDN publishes Asia Design News and the Design Event Calendar of the world for the purpose of introducing design activities, information on events, information on design themes and the ideal form of design, etc. in various countries, by making use of the information networks linking design promotion organizations in various Asian countries. Efforts are also made to promote exchange with foreign design students in Japan.

It also publishes the International Design Business Guidelines (Part 1 & 2) to prevent unexpected troubles which can occur because of the economic, cultural and historical idiosyncrasies of every nation. The guidelines explain about the design industry and client relationships.

APDN endeavors to study, gather and collate design-related information in various countries in Asia, aiming at functioning as a date bank for Asian design.

3.International Design Convention

International design conventions, symposiums and seminars were held aiming at contributing to the advancement of design and the culture of the global community as well as that of Japan through international exchange centered around design.

The venue of a convention selected two years in principle, in response to the request of each local autonomy and related organizations while taking consider local balance and holding form.

In charge of holding, in the convention executive committee, the main theme and the concept were set up based on local requests and its opinions, and lecturer's selection and decision of programs were performed.

It is the big result of this enterprise that the holding of these design conventions has stimulated the establishment of a number of design associations and design centers around the country, helping to enhance awareness of design on a national and citizens level.

4. 国際デザイン・コンペティション入賞作品

国際デザイン・コンペティションで選ばれた入 賞作品を、広く一般の人々や産業界の方々に紹 介することにより、デザインに対する理解と関 心を高め、さらに作品展示を通じて国際的な交 流を図る場とするため、全国各地で巡回展示を 実施しました。

開催に当たっては、開催地の自治体の支援やデザイナーの協力を得て行い、地元のデザイナーやデザイン関係機関や団体の参加交流イベントとしての意義が大きい。

5. JDFフォーラム

各界のデザインに対する理解と認識を深めるため、当協会の活動状況を紹介するとともに、新時代のデザインについて幅広い意見交換を行っている。プログラムは、協会事業の紹介、デザイン・フェスティバルのCD-ROMソフトによる入賞作品等の紹介とともに、デザイン・コンペティション審査経験者による講演や対談等で構成しており、レベルの高いデザイン交流の場として、関係者から注目されている。

4.The International Design Competition Prize-winning Works Exhibition

The International Design Competition Prize-winning Works Exhibition was held in various parts of Japan with the aim of introducing the prize-winning works from the International Design Competition, Osaka, to a broader range of the public and industry, thereby enhancing the public's understanding of and interest in design, while promoting international exchange, by displaying outstanding design works. This exhibition was held with the assistance of local government and the cooperation of designers, thereby serving at the same time as a tool for promoting active participation by designers and design-related bodies and groups in each area.

5.JDF Forum

To increase the students' awareness and understanding of what design circles are doing these days, the program introduces the activities of the JDF and offers the students opportunities to exchange views on a wide range of subjects having to do with the future

6. 広報事業

国際デザイン・コンペティション、国際デザイン・アオードやアジア各国・地域のデザイン活動など各種事業を通じて集積された世界のデザイン情報を、「ニュースリリース」、機関誌

「Design Scene」「Design Network Asia」や「デザイン・イベント・カレンダー」などの発行によって、内外の雑誌社やデザイン関係者に提供している。また、世界のデザイン団体、著名なデザイナーとのネットワークづくりなどにより、デザインを通じた国際交流の推進に努めている。

このほか、インターネットホームページを開設し、当協会の概要及び事業全般について紹介している。国際デザイン・コンペティションにおける入賞・優秀作品、国際デザイン・アオードの受賞者の業績や作品を紹介するほか、それらの作品募集要項、応募状況等の関係情報を発信して、わが国のみならず、世界のデザインの向上と交流の促進に資している。

E-mail: jdf@silver.ocn.ne.jp

URL: http://www.jidpo.or.jp/jdf/index.html

7. 国際デザイン機関との交流

正会員 国際インダストリアルデザイン団体 協議会 (ICSID)

準会員 国際グラフィックデザイン協会協議会 (ICOGRADA)

準会員 国際インテリアデザイナー連盟 (IFI)

of design. The actual study comes as a presentation of JDF activities, a viewing of prize-wining works from the Design Festival on CD-ROM, plus lectures and talks with design competition judges. The program is drawing the interest of persons in the field of design because of the high caliber of exchange it offers.

6.PR Activities

Information on the design situation in the world, accumulated through various activities, including the International Design Competition and the International Design Award, is offered to design-related people through the publication of news releases, the journals "Design Scene", "Design Network Asia", and "Design Events Calendar of the world". The JDF also directs its efforts at building up networks with design groups and leading designers in the world and holding design forums and seminars, thereby serving to promote international exchange through design.

The JDF also introduces its activities through our own Internet homepage. Viewers not only read about the International Design Competition including prize-winning works and the recipient of the International Design Award, but can also find instructions on how to enter works and other information on entry. All in all, the JDF is not only helping to enhance design in Japan but the entire world. E-mail: jdf@silver.ocn.ne.jp

URL:http://www.jidpo.or.jp/jdf/html/en_index.html

7.Relationships to International Design Organizations

Regular member of the International Council of Societies of Industrial Design (ICSID)
Associate member of the International
Council of Graphic Design Associations (ICOGRADA)

Associate member of the International Federation of Interior Architects / Interior Designers (IFI)

History of Activities

事業のあゆみ

JAPAN DESIGNATION Anniversary 1981

国際デザイン・フェスティバル

International Design Festival

第1回国際デザイン・コンペティション

1st International Design Competition, Osaka



D:大高 猛 Takeshi Ohtaka



「集」は多数の鳥が一本の木に楽しく 集うさまを表わし、さらには無数の 「生あるもの」が集まることを歓びと

し、互いに寄りそって地球という有限の台の上 で、生を得ているさまを示唆しており、この漢 字の「集」はわれわれがこれからの世界を生き ていくための大きなヒントを宿している。

受賞作品及び受賞者

内閣総理大臣賞

「未来の家」

チャールズ・L・オーウ エン教授ほか28名 (アメリカ)

Prof. Charles L. Owen and 28 co-producers, U.S.A.

通商産業大臣賞

「ヒロシマ1945―ポスターシリーズ」 伊東寿太郎氏ほか5名(日本)





大賞:内閣総理大臣賞 「未来の家」Grand Prize: Prime Minister's Prize"House of the Future"

1st International Design Competition, Osaka

Theme:[Shū] (gathering)

The Chinese character 集 represents many birds sprightly flocking to a single tree (represented by the radical 木).

In addition, the character suggests the joyous gathering of infinite forms of living things on a finite base the Earth, to enjoy life together. In this sense, the character 集 is a significant guiding light that suggests our way of living in the world to come.

Winning works and winners Grand Prize: Prime Minister's Prize

"House of the Future"

Prof. Charles L. Owen and 28 co-producers, U.S.A. Minister of International Trade and Industry Prize

"Hiroshima 1945- a series of posters" Mr. Jutaro Ito and 5 co-producers, Japan.

"Foldable Urban Motorcycle"

Mr. Armando Mercado Villalobos and a co-

producer, Mexico.

Time of the Earth"

Mr. Osamu Akiyama, Japan.

"Public Chair Prototype 1"

Mr. Toshiroh Ikegami, Japan.

"Solar Screen"

Mr. Tadahide Okuno and 3 co-producers, Japan. Governor of Osaka Prefecture Prize

"Soenficosy-Solar Energy Fish Conservation System" Mr. Sergio Rivera Conde, Mexico and a coproducer, Japan.

Mayor of Osaka City Prize

"Stepping Stone-modular letter shapes"

Mr. David G. Murray, Australia.

Chairman of Japan Design Foundation Prize

"Aphorism- a series of posters"

Mr. Tamás Felsmann, Hungary.

"Phone Box, Phone Hood"

Mr. Volker Weinert, Germany.

"Landscape Fluorite -

Solar-powered electroluminescence"

Mr. Yuitsu Shimura and 4 co -producers, Japan.

「折りたたみ式都市用モーターサイクル」 アルマンド・メルカド・ヴィラロボス氏ほか1名(メキシコ) [タイム・オブ・ジ・アース]

秋山 治氏(日本)

「公衆用の椅子 試作品1|

池上俊郎氏(日本)

「ソーラー・スクリーン

奥野忠秀氏ほか3名(日本)

大阪府知事賞

「Soenficosy—太陽熱利用の魚保存装置」 セルジオ・リヴェラ・コンデ氏(メキシコ)ほか1名(日本)

大阪市長賞

「飛び石―モジュールによる文字の形」 デービッド・G・マリー氏 (オーストラリア)

国際デザイン交流協会会長賞

「アフォリズム―ポスターシリーズ」 タマス・フェルスマン氏 (ハンガリー) 「公衆電話ボックス及びフード」 フォルカー・ヴァイナート氏(ドイツ) 「ランドスケープ・フローライト」 志村雄逸氏ほか4名(日本)

1st International Design Award, Osaka

Recipient: Chermayeff & Geismar Associates (U.S.A.)

For their creative activities as a design studio, reaching far beyond the scope of graphic design and thus enhancing the social recognition of design work, through participation in public projects and environmental plans such as the series of EXPO pavilions.

Recipient: Ms. Maria Benktzon and Mr. Sven-Eric Juhlin (Sweden)

For aggressively tackling the research and development of equipment and other items for the physically handicapped and the elderly, thus casting light on the role which can be played by design and the new fields in which design activities should become engaged in the future.

Recipient: Ms. Paola Navone (Italy)

For a varied range of demonstrated activities in the quest for new trends in contemporary society design through research and criticism of design, planning exhibitions and organizing research groups.

第1回国際デザイン・アオード

 f_{\perp} マイエフ・アンド・ガイスマー・アソシエイツ(アメリカ)

デザイン・スタジオとして、一連の万博パビリオン(1970大阪万博アメリカ館等)他、公共的プロジェクトや環境計画に参加するなど、グラフィックデザインの領域を越えた創作活動を展開し、デザインの社会的認識を高めた。

マリア・ベンクソン女史、スベン=エリック・ ジューリン氏(スウェーデン)

身体障害者、老人用品の研究、開発に取り組み、 これからの社会でデザインが関わるべき新しい 分野におけるデザインの役割を明らかにした。

パオラ・ナボーネ女史 (イタリア)

現代社会におけるデザインの新しい方向を求めて、デザインの研究、評論、展覧会の企画、さらに研究グループの組織化を行うなど、積極的で多方面にわたる活動を展開し、社会に大きな影響を与えた。

ペンタグラム (イギリス)

各分野のデザイナーが参画するユニークな組織 をつくり、グラフィックデザインからプロダク トデザイン、オフィスの建築設計まで拡がる幅 広い領域において、極めて質の高い創作活動を 展開し、デザインの社会的評価を高めた。



チェマイエフ・アンド・ガイスマー・アソシエイツ (アメリカ) Chermayeff & Geismar Associates (U.S.A.)

名誉賞:マーガレット・サッチャー元英国首相 首相自ら、社会と産業におけるデザインの重要 性を力説し、多方面にわたる積極的なデザイン 政策を展開して、世界に大きな影響を与えた。



マリア・ベンクソン女史、 スペン=エリック・ジューリン氏 (スウェーデン) Ms. Maria Benktzon and Mr. Sven-Eric Juhlin (Sweden)

Recipient: Pentagram (United Kingdom)

For developing a wide range of extremely high-grade creative activities involving graphic design, product design and offic design and construction, by setting up a unique organization in which designers from





ペンタグラム(イギリス) Pentagram (United Kingdom)

various fields participate, thus enhancing the social evaluation of design activities.

Honorary Award

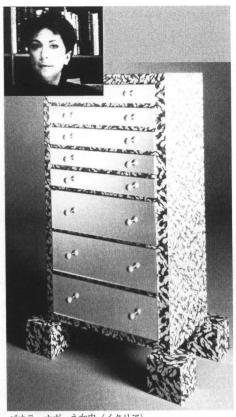
Recipient: Ms. Margaret Thatcher, former Prime Minister of United Kingdom

For long forcefully advocating the important

role of design in society and industry and developing a series of energetic policies in support of design activities in broad areas, thus having enormous influence on the entire world.



マーガレット・サッチャー元英国首相Ms. Margaret Thatcher, former Prime Minister of United Kingdom



パオラ・ナボーネ女史(イタリア) Ms. Paola Navone (Italy)

第1回国際デザイン展

テーマ「集」

期 間 1983年10月22~11月9日 19日間

会 場 大阪城ホール

入場者数 266,304人

展示内容

1.第1回国際デザイン・コンペティション入賞作 品並びに優秀作品79点の展示

2.第1回国際デザイン・アオード受賞者5件の業 績展示

3.協会企画展示

テーマ「デザインの昨日・今日・明日」 19世紀後半ウィリアム・モリス以降の近代デザインの歩みを振り返りつつ、現代から未来に関わるデザインの方向を探る。

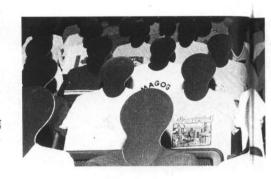
・ "デザインの継承―デザインの昨日" フランスの装飾美術館、ポスター・広告美術館、 イギリスのヴィクトリア・アンド・アルバート 美術館、ドイツのネッカーズウルム二輪博物館 等からアール・デコ様式の作品や幻の名車ドラ イエ等を各国の協力を得て展示。 ・ "デザインの拡がり一デザインの今日" テクノロジーが最も発達した今日、世界の視線 を集めている日本のファッション、建築、グラフィック、ID等のデザインの勢い、独自の発想 をマルチ・スクリーンで見せる。

・ "デザインの行くえ―デザインの明日" 次の時代のデザインの主流となる環境デザイン と、コンピュータによる情報デザインを映像で 紹介。

場内パフォーマンス

- ・3D (立体映像) パフォーマンス
- ・特別展示「Tシャツ10,000枚大集合」
- 4.企業·団体展示

5.デンマーク・デザイン・カウンシル巡回展。





1st International Design Exhibition, Osaka

Theme: Shū(gathering)

Duration: Oct.22 through Nov. 9, 1983(19days)

Venue: Osaka-jo Hall Visitors :266,304

Contents:

1.Display of the prize-winning works and other outstanding works from the 1st competition:79 works

2. Display of the various works by the 5 recipients of the 1st Award

3. Foundation's special exhibition

· Design yesterday, today and tomorrow

• One-site performances: 3 dimensions

performance : Giant 10,000 T-shirts collection

4. Cooperate exhibition

5. Denmark design council traveling exhibition



国際デザイン・コンベンション

[国際デザイン・シンポジウム'83大阪]

1983年2月24~25日

基調講演「生あるもののためのデザイン」

アーサー・プーロス氏 (アメリカ)

記念講演「21世紀への遺産」

カール・オーバック氏 (オーストリア)

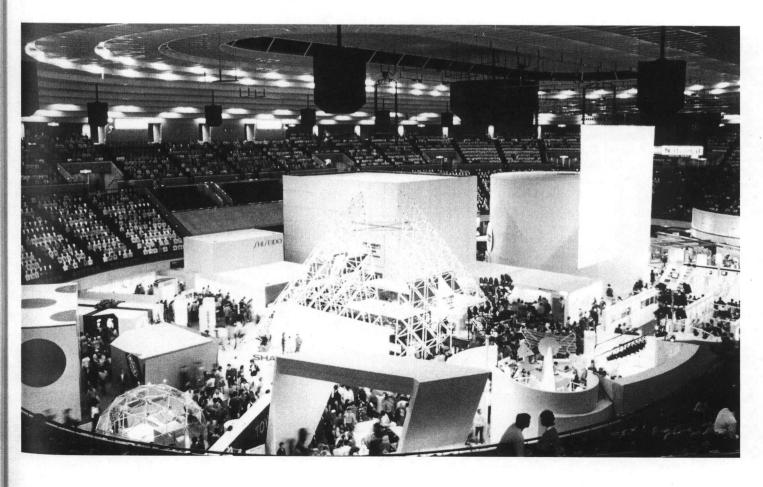
パネルディスカッション等

[国際デザイン・ラウンド・テーブル・トーキング'83東京]

1983年8月6日

第1回国際デザイン・コンペティション審査員 による自由討議





2nd International Design Competition, Osaka



D:田中一光 Ikko Tanaka



「交」の字は、ヒトが脚を交差させ、 あぐらをかいて座っている姿である。 そして現代語としての「交」の概念

は、単なる交差ではなく交錯するネットワーク、 あるいは混交する状況を包含している。集まっ た個と個を「交」はさらに強く結び合わせ、共 存の世界を発見するであろう。それが基本テー マである「生あるもののためのデザイン= Design for Every Being」の目的であり機能である。

受賞作品及び受賞者 大賞: 内閣総理大臣賞

「メモリー付婦人体温計」 アンジェラ・クノープ女史 (ドイツ)

Ms. Angela Knoop, Germany



「屋外用楽器|

「歩行補助具」

今村有一氏ほか5名(日本)

ホーカン・ベルグクヴィスト氏ほか2名(スウェーデン) 「水難用救命具|

イヴ・テリエ氏ほか1名(フランス)

大阪府知事賞

「天然繊維強化プラスチック製バイオガス発生装置」 川原啓嗣氏 (日本)

大阪市長賞

「野生動物保護のポスターシリーズ」 関谷三十五氏ほか1名(日本)

奨励賞

「エレクトロニック・フォーラム」 マイケル・マッコイ氏ほか2名(アメリカ) 「微生物培養カプセル」 ロナルド・コンラッド・バンコ氏ほか4名(アメリカ) 「公共スペースのための連結椅子」 国本淑子女史(日本)

2nd International Design Competition, Osaka

Theme: [Kou](interaction)

The Chinese character "交"(Kou) is derived from a pictograph of an adult with his or her legs crossed. "Kou" as a modern word includes not only the idea of simple crossing, as the character suggests, but also a crisscross network or complex situation. Through "Kou", individuals will be united firmly and find themselves in a world of co-existence; to help people find such a world of co-existence is the purpose and function of the basic theme "Design for Every Being".

Winning works and winners Grand Prize: Prime Minister's Prize

"Electronic Fertility Controller" Ms. Angela Knoop, Germany.

Minister of International Trade and **Industry Prize**

"Communication Across Barriers"

Mr. Paul Priestman, United Kingdom.

"Videocamera"

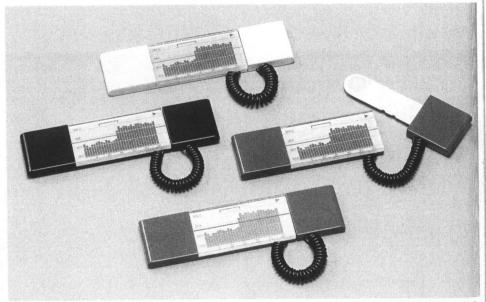
Mr. Roland Schmidt, Germany.

"Outdoor Music Instruments"

Mr. Yuichi Imamura and 5 co-producers, Japan. "The Development and Design of New

通商産業大臣賞

「ポータブルメガホン」 ポール・プリースマン氏 (イギリス) 「超小型ビデオカメラ」 ローランド・シュミット氏 (ドイツ)



大賞:内閣総理大臣賞「メモリー付婦人体温計」 Grand Prize: Prime Minister's Prize "Electronic Fertility Controller"

Walking Aids"

Mr. Håkan Bergkvist and 2 co-producers, Sweden. "Life Saving Hook"

Mr. Yves Tellier and a co-producer, France. Governor of Osaka Prefecture Prize

"NFRP(Natural Fibre Reinforced Plastic) Biogas Plant"

Mr. Keiji Kawahara, Japan.

Mayor of Osaka City Prize

"IUCN for 1985 Series of Posters on Wild Animal Conservation"

Mr. Misogo Sekiya and a co-producer, Japan. Honorable Mention

"Electronic Forum"

Mr. Michael McCoy and 2 co-producers, U.S.A. "Microorganism Growth Capsule"

Mr. Roland Conrad Banko and 4 coproducers, U.S.A.

"The Interaction Chair for Public Spaces" Ms. Toshiko Kunimoto, Japan.

第2回国際デザイン・アオード

バング・アンド・オルフセン株式会社 (デンマーク) Bang & Olufsen A/S (Denmark)

質の高いデザイン・マネージメントにより、独 自のアイデンティティを造り出した経営政策



フィリップ・ジョンソン氏 (アメリカ) 近代建築の歩みの中で、つねに先駆者的役割を つとめ、世界の建築界に多大の影響を与えた。

ブルーノ・ムナーリ氏 (イタリア)

幅広いデザイン活動において、人間的感性豊かな作品をつくりだし、デザインのあるべき方向を示唆した。



名誉賞:司 忠氏(日本)

Mr. Tadashi Tsukasa (Japan)

財界人として、永年にわたってデザイン振興活動に積極的に取り組み、日本のデザイン会の発展に寄与した。



2nd International Design Award, Osaka

Recipient: Bang & Olufsen A/S (Denmark)
For the high-quality design management policy which generated their unique cooperate identity.

Recipient: Mr.Philip Johnson (U.S.A.)

As an architectural pioneer, for his extensive influence on modern architecture world -wide.

Recipient: Mr. Buruno Munari (Italy)

For revealing new paths of design through wide-ranging design activities, and the creation of works of intense humanity.

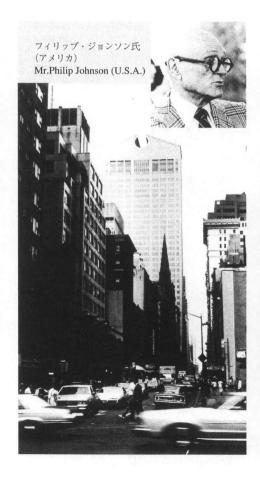
Recipient: Mr. Douglas Scott (United Kingdom)

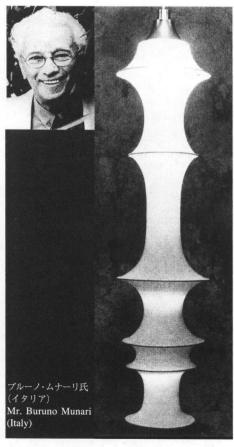
As a pioneer of modern design in Britain, for establishing a solid foundation to the current British design world.

Honorary Award

Recipient: Mr. Tadashi Tsukasa (Japan)

During his years as a businessman of strong commitment to design promotion for his contributions to the development of Japanese design.





第2回国際デザイン展

テーマ「交」

期 間 1985年10月17~11月4日 19日間

会 場 インテックス大阪1号館

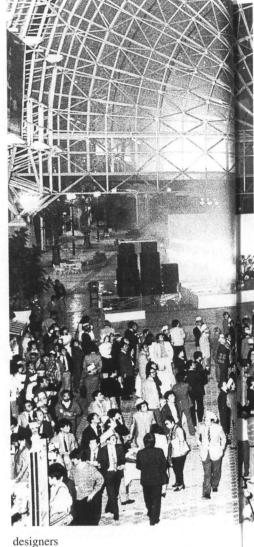
入場者数 171,219人

プロデューサー 榮久庵 憲司氏

展示内容

- 1.第2回国際デザイン・コンペティション入賞 作品並びに優秀作品66点の展示
- 2.第2回国際デザイン・アオード受賞者5件の業 績展示
- 3.協会企画展示
- ①「グッドデザイン外国商品」展示。 日本のGマーク商品選定を受けた10ヵ国、62 点の商品の展示
- ②「100ドル・子供の世界」展示 世界各国を代表するデザイナーが推薦した世 界の玩具類の展示。
- ③「アジアのデザイン」展示 長い伝統と歴史に満ちた文化を背景にした、 インド、フィリピン、中国からの製品の展示。
- ④「日米平和ポスター」展示

- ⑤「1986<大阪21世紀計画>ポスター」展示 "自由・活力・創造"のスローガンのもとに 募集し、選ばれた優秀作品の展示。
- ⑥Tシャツデザイン・コンクール 愛称"デザイン・サーカス"をイメージした Tシャツのプリントデザインを一般公募。
- ⑦「1㎡のデザイン」―個人・グループ展示 デザインのあらゆる分野で活躍しているデザ イナー、グループの主張、提案展示。
- ⑧「子供のためのデザイン教育」展示 子供のためのデザイン学習についてわかりや すく解説、展示。
- 4.企業·団体展示



2nd International Design Exhibition, Osaka: "Design Circus'85"

Theme: Kou(interaction)

Duration: Oct.17 through Nov.4, 1985 (19days)

Venue: INTEX Osaka, pavilion No.1

Visitors: 171,219

Producer: Mr. Kenji Ekuan

Contents:

- 1. Display of the prize-winning works and other outstanding works from the 2nd display of the Competition: 66 works
- 2. Display of the various works by the 5 recipients of the 2nd Award
- 3. Foundation's special Exhibition
- ① G-mark products from abroad
- 2 The 100 dollar world of the children
- 3 Asian design today
- 4 Peace posters by Japanese and American
- ⑤ "Osaka 21st Century Plan " poster 1986
- 6 T-shirt design competition
- 7 Design in 1m2 -individual /group display-
- ® Design education for children
- 4. Cooperate exhibition









国際デザイン・コンベンション

[国際デザイン・キャンプ 84松本]

1984年8月3~4日

基調講演「デザイン文化の継承と明日への道」 清家 清氏(東京芸術大学教授) 記念講演「世界から見た日本の文化とデザイン」 ドナルド・キーン氏(アメリカ) パネルディスカッション等

[国際デザイン・シンポジウム'85神戸]

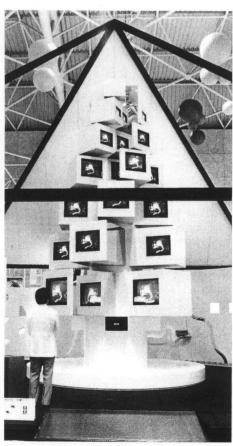
1985年3月1日

基調講演「デザインの未来」
ジョージ・ネルソン氏(アメリカ)
特別講演「デザインへの期待」
堂西司郎氏(松下電器産業株式会社取締役)
記念講演「ポスト・モダニズムを考える」
ディーター・ラムス氏(ドイツ)
パネルディスカッション等

[国際デザイン・セミナー'85東京]

1985年7月26日

テーマ: 私のデザイン作法 第2回国際デザイン・コンペティション審査員 による対談。





D:青葉 益輝 Masuteru Aoba



水にかたちを

この地球は水のめぐる星。千変万化する水は天才。だが水の性、水の

Nature、それにふさわしいかたちを与えなければ、天才は邪鬼と化する。私たちの明日のうるおいに、水の新しいかたちを与えよう。身近な水のふるまい、新しい水のたたずまいに、水の性をどう発揮させうるかにかかっている。

受賞作品及び受賞者

大賞: 内閣総理大臣賞

「アクアテクチャーシリーズ:可動型沿岸工場、 水上農場、エネルギー・システム・ユニット、 海上交差道路」

イリノイ工科大学学生チーム20名(アメリカ)

Ms. Kimberly Kane,

Ms. Maura Podrazik,

Mr. Craig Zaplatynsky,

Mr. Scott Lewis and

16 co-producers, U.S.A.



「防水3Dビデオカメラ」 村中 稔氏ほか4名(日本)

大阪府知事賞

「太陽熱による飲料水生成装置」 ウルリッヒ・ライフ氏ほか1名 (ドイツ)

大阪市長賞

「水に浮かぶあかリ―水と光と風との対話」 佐々木正久氏ほか5名(日本)

国際デザイン交流協会会長賞

「一体型スキューバ・ヘルメット」 コーディー・フェイズ氏(アメリカ)

奨励賞

「賽の河原地蔵を讃える御詠歌 (ポスター)」 濱 日吉氏 (日本)



3rd International Design Competition, Osaka

Theme:[Water]

Giving shape to Water

The earth is a planet brimming with water. This water is an ever-changing, mutable gift of nature, but if its essence and nature are perverted this gift turns evil and destructive.

Let us give a new shape to the water of the future. The role of water in our every day lives, and the form of the water of future depend on how well we succeed in manifesting the essence of water itself.

Winning works and winners

Grand Prize: Prime Minister's Prize

"Aquatecture Series: Mobile Offshore Industry, Floating Fields, Patterned Energy, Cross Roads in the Sea"

Ms. Kimberly Kane, Ms. Maura Podrazik, Mr. Craig Zaplatynsky, Mr. Scott Lewis and 16 co-producers, U.S.A.

Minister of International Trade and Industry Prize

"3D in-on Water Video Camera"

Mr. Minoru Muranaka and 4 co-producers, Japan.

Prof. Ulrich Reif and a co-producer, Germany.

Governor of Osaka Prefecture Prize

"Solar Drinking Water Generator"

Mayor of Osaka City Prize

"Floating Light -Dialog/water -light -wind" Mr. Masahisa Sasaki and 5 co-producers, Japan. Chairman of Japan Design Foundation Prize

"Integrated Scuba Helmet"

Mr. Khodi Feiz, U.S.A. Honorable Mention

"Prayer for Sainokawa Jizo-poster " Mr. Hiyoshi Hama, Japan.

F

а

F

0

iı

J;

to

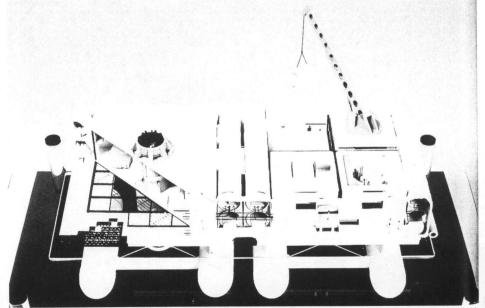
K

F

0

a

u



大賞: 内閣総理大臣賞「アクアテクチャーシリーズ: 可動型沿岸工場、水上農場、エネルギー・システム・ユニット、海上交差道路」 Grand Prize: Prime Minister's Prize"Aquatecture Series: Mobile Offshore Industry, Floating Fields, Patterned Energy, Cross Roads in the Sea"

第3回国際デザイン・アオード

ptt



オランダ郵便電信電話公社 (オランダ)

1920年よりデザイン、建築、美術の分野にわたる一貫したデザイン政策を積極的に行ない、公共機関におけるデザイン活動の規範となるすぐれた成果をつくりあげた。

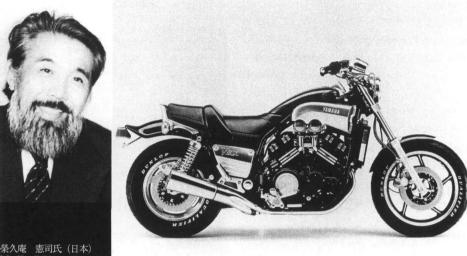
榮久庵 憲司氏 (日本)

すぐれたデザイン創作活動に加え、日本および

世界のデザイン界の発展に対して献身的な貢献 をしている。

ノーマン・フォスター氏 (イギリス)

現代の建築技術の可能性へのあくなき追求から、今世紀の建築デザインのマイルストーンとなる香港上海銀行を創り出し、世界の建築界に衝撃的な影響を与えた。



3rd International Design Award, Osaka

Recipient: The Dutch Postal, Telegraph and Telephone Services (the Netherlands) For the brilliant achievements of setting an

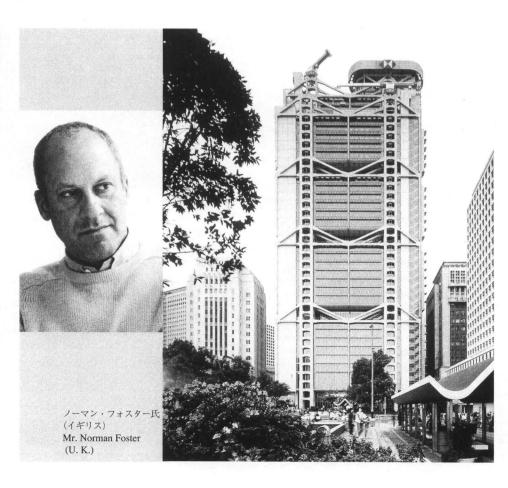
example for design activities by a public organization through an integral design policy in the fields of design, architecture and arts ever since 1920.

Recipient: Mr. Kenji Ekuan (Japan)

For his brilliant achievements and remarkable contribution to the development of design in Japan and in the rest of the world, in addition to his superior creative design activities.

Recipient: Mr. Norman Foster (United Kingdom)

For his profound impact on architecture exemplified by the Hongkong Shanghai Bank, one of this century's milestones in architectural design, made possible by an unflagging pursuit of the limitless possibilities of modern-day architectural technology.



第3回国際デザイン展

テーマ「水」

期 間 1987年10月31~11月15日 16日間

会 場 インテックス大阪1号館

入場者数 170,743人

プロデューサー 泉 真也氏

展示内容

- 1.第3回国際デザイン・コンペティション入賞 作品並びに優秀作品52点の展示
- 2.第3回国際デザイン・アオード受賞者3件の業 績展示
- 3.協会企画展示
- ①「水音の道」展示

環境音と環境光を採用し、AV技術を駆使した 多彩な水の世界を表現。

② 「水の器 | 展示

「飲み水の器」を素材にして、ヒトと水との根源的な関わりと多様なあり方を再発見する。

③「水の図案」展示

変化する水の姿を様々な文様として来た日本の デザインを、映像で表現。

- ④「海外のデザイン活動」展示
- ・海外のデザイン学習

イギリス、アメリカ、イタリア、オーストリア に見られるデザイン教育の実例を紹介。

- 海外のデザインセンター
- 世界21ヵ国の概要、出版物の紹介。
- ・海外のデザイン雑誌
- 分野別の代表誌を紹介
- ⑤「1m²のデザイン」―個人・グループ展示
- ⑥協賛デザイン団体展示 12団体

⑦プレイゾーン

「水」の楽しさ、面白さ、不思議さを体験する 空間を構成。

- ・世界の水玩具展示
- ・「ウォータープレイ」広場
- ・絵本「マイヤーじいさんのもくば」原画展
- ・レインボーストリーム
- ⑧シンボルオブジェ

会場大空間に全長50mの巨大な龍を展示。

4.企業·団体展示



International Design Exhibition, Osaka'87

Theme: Water

Duration: Oct. 31 through Nov. 15, 1987(16 days)

Venue: INTEX Osaka, pavilion No.1

Visitors:170,743

Producer: Mr. Shinya Izumi

Contents:

- 1. Display of the prize-winning works and other outstanding works from the 3rd Competition: 52 works
- 2. Display of the various works by the 3 recipients of the 3rd Award
- 3. Foundation's special exhibition
- 1) Path of the sound of water
- ② Water container
- 3 Water design
- 4 Design activities in the world
- 5 Design in 1m2 -individual/group display-
- 6 Exhibition by design organizations
- ⑦ Play zone: water toys of the world; System toy "Waterplay"; Illustrated book; Rainbow stream
- Symbol object of the exhibition (50 meter-long dragon)
- 4. Cooperate exhibition







国際デザイン・コンベンション

[国際デザイン・キャンプ86松本] 1986年8月1~2日 基調講演「世紀末を迎えたデザイン・文化の役割」 吉田光邦氏(京都大学名誉教授) 特別講演「イタリア・デザインが目指すもの」 アントニオ・チッテリオ氏(イタリア) 記念講演「大平洋時代の形と心」 李 御寧氏(韓国) 分科会等

[国際デザイン・シンポジウム'86北九州] 1986年11月21~22日

特別講演「知価革命時代のデザイン」 堺屋太一氏 (作家) 分科会等

[国際デザイン・コンベンション'87大阪]

1987年2月26日

メインテーマ:デザインの新潮流 基調講演「デザインの新潮流」 福田繁雄氏(グラフィックデザイナー) パネルディスカッション等

[国際デザイン・コンベンション'87名古屋]

1987年2月28日

メインテーマ:デザインと国際性 基調講演「音のコスモロージー」 藤井知昭氏(国立民俗学博物館教授) パネルディスカッション等

[国際デザイン・コンベンション'87東京]

(Dialogue on Design 1987) 1987年7月30日 第3回国際デザイン・コンペティション海外審 査員とデザイン・ジャーナリストの対談

[国際デザイン・コンベンション'87富山]

1987年7月31日〜8月1日 メインテーマ:デザイン新時代 基調講演「デザイン新時代」 泉 眞也氏 (環境デザイナー) 特別講演「美術館の役割」 小川正隆氏 (富山県立近代美術館長) 記念講演「文明の未来」 梅原 猛氏 (国際日本文化研究センター所長) 分科会等

国際デザイン・コンペティション入賞作品展

国際デザイン・コンペティション入賞作品展 一シュツットガルト (ドイツ) 1986年5月11~14日 国際デザイン・コンペティション入賞作品展—松本

1986年8月30~9月2日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展―北九州 1986年11月21~24日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展一富山 1987年7月31~8月3日



D:勝井三雄 Mitsuo Katsui



人類は「火」の発見によって、その 偉大な文明と文化を築いてきた。そ れは、人類誕生の昔から、いまもな

おつづいている。ある時は人びとの心にやさし く語りかけ、ある時は時代を変える根源ともな った。そのかかわりは、生活、産業、文化など、 人をとりまくさまざまな分野におよんでいる。

受賞作品及び受賞者 大賞:内閣総理大臣賞

「太陽エネルギー利用に よる洋上水素製造所」 ホルガー・ドレース氏 ほか2名(ドイツ)

Mr. Holger Drees and 2 co-producers, Germany



通商産業大臣賞

「パブリック・ライフ・ガード・マスク」 平岡 隆氏ほか2名(日本)

大阪府知事賞

「センサーロボによる消化・避難誘導システムの 武正秀治氏ほか1名(日本)

大阪市長賞

「都市生活における火―クリアー・ファイア ー・パネル・ヒーター|

粟田竜博氏ほか2名(日本)

国際デザイン交流協会会長賞

「火の上で使用する紙の調理器具」 中川千恵美女史ほか3名(日本)

奨励賞

「マッチ―火災予防のための火| フレデリック・パオレッティ氏(フランス) [エグジュープト] ガヴィン・グロヴェス氏 (アメリカ) 「太陽エネルギー蓄熱調理器具」 ウルリッヒ・ライフ氏ほか1名(ドイツ) 「バイオガス」 マルクス・フェルケル氏ほか1名 (ドイツ) 「多目的簡易調理器具 稲葉利弥氏ほか5名(日本)

4th International Design Competition, Osaka

Theme:[Fire]

Mankind was able to build a great world of civilization and culture through the discovery of "fire". And fire has continued to burn for man, from the dim past of the birth of Homo sapiens up to this very way. At times it gently speaks to the hearts of the people, at times it has served to change an entire era. It is involved in every conceivable field of man, from life to industry to culture.

Winning works and winners Grand Prize: Prime Minister's Prize

"The Offshore Solar Hydrogen Farm" Mr. Holger Drees and 2 co-producers, Germany.

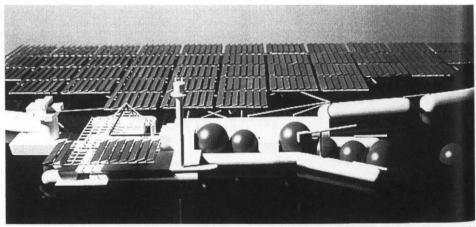
Minister of International Trade and **Industry Prize**

"Public Life Guard Mask"

Mr. Takashi Hiraoka and 2 co-producers, Japan.

Governor of Osaka Prefecture Prize

"Proposal of a Fire Fighting and Emergency Guidance System Using a Sensor Robot ' Mr. Hideji Takemasa and a co-producer, Japan.



大賞:内閣総理大臣賞「太陽エネルギー利用による洋上水素製造所」 Grand Prize: Prime Minister's Prize"The Offshore Solar Hydrogen Farm"

Mayor of Osaka City Prize

"Fire in Urban Life -Clear Fire Panel Heater" Mr. Tatsuhiro Kurita and 2 co-producers, Japan.

Chairman of Japan Design Foundation Prize

"Paper Utensils for Fire Cooking"

Ms. Chiemi Nakagawa and 3 co-producers, Japan.

Honorable Mentions

"Matches"

Mr. Frédérique Paoletti, France. "Exuped"

Mr. Gavin Groves, U.S.A.

"VIAX Solar Heat-Storage Cooker"

Prof. Ulrich Reif and a co-producer, Germany. "Biogas"

Mr. Markus Völkel and a co-producer, Germany.

"All-Round Grill System"

Mr. Toshiya Inaba and 5 co-producers, Japan.

第4回国際デザイン・アオード

オトル・アイヒャー氏 (ドイツ)

多岐にわたるグラフィックデザイン活動で、優れた業績をあげるとともに、ウルム造形大学の設立を提唱して、世界のデザイン界に寄与した。

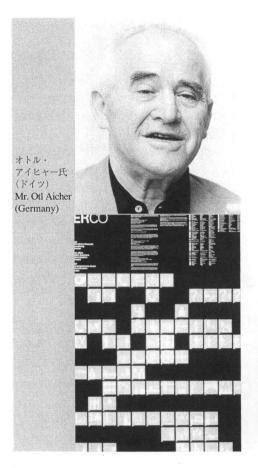
ィエンス・ニールセン氏 (デンマーク)

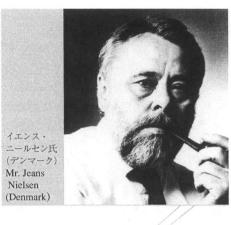
デンマーク国有鉄道で、積極的なデザイン政策 を展開し、公共事業体におけるデザイン・マネージ メントの規範となる優れた成果をつくりあげた。

フライ・オット一氏 (ドイツ)

膜構造建築の分野において、独自の領域を開拓 し、世界の建築界に大きな影響を与えた。

功労賞:ユーリ・B・ソロビエフ氏 (旧ソ連) ソ連におけるデザインの振興に、長年にわたって積極的に活動し、ソ連ばかりでなく国際的なデザイン界の発展に多大の貢献をした。







4th International Design Award, Osaka

Recipient: Mr. Otl Aicher(Germany)

For his brilliant achievement in a broad range of graphic design activities and also for his contribution to international design activities by proposing the establishment of the Hochschule für Gestaltung Ulm.

Recipient: Mr. Jeans Nielsen (Denmark)

For actively developing various design policies for the Danish State railways, culminating in results that now serve as a standard for the management of design by public organizations.

Recipient: Dr. Frei Otto (Germany)

For having personally developed the new and unique field of membrane structures, which has had a profound influence on architecture all over the world.

Honorary Mention for Outstanding Contribution

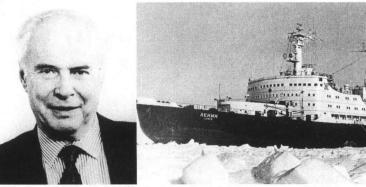
Recipient: Dr. Juri Borisovitch Soloviev (former U.S.S.R.)

For having positively developed various

activities over many years to promote design in the Soviet Union, contributing to the development of the field of design not only in the U.S.S.R but throughout the entire world.



フライ・オットー氏(ドイツ)Dr. Frei Otto (Germany)



ユーリ・B・ソロビエフ氏(旧ソ連) Dr. Juri Borisovitch Soloviev (former U.S.S.R.)

第4回国際デザイン展

テーマ 「ハロー夢・感性」 期 間 1989年11月17~11月26日 10日間 会 場 インテックス大阪1号館 入場者数 139,484人 プロデューサー 泉 眞也氏

展示内容

- 1.第4回国際デザイン・コンペティション入賞 作品並びに優秀作品91点の展示
- 2.第4回国際デザイン・アオード受賞者4件の業 績展示
- 3.協会企画展示
- ①「日欧学生デザイン交流」展示 全日本学生デザインコンペ入賞作品と欧州6ヵ 国の学生の作品を展示。
- ②「高齢化社会とデザイン」展示 高齢化社会を自分自信のこととして、共に考 える場とし、問題提起。
- $3 \lceil 1 \text{m}^2$ のデザイン」一個人・グループ展示
- ④ 「パラダイス・ステージ・イベント」

Hand in Handをテーマに観客参加型の

イベントを実施。

- インド音楽によるサウンド・スケープ
- ウッディ・パフォーマンス
- ビッグ折り紙アート
- ・ドミノゲーム
- シャボン玉
- ⑤「ライブ・ペインティング」5面の巨大キャンバスに5人の現代美術家がそれぞれの作品を制作。
- ⑥「ワーク・ショップ」折り紙造形と廃品で動くおもちゃづくり、パッチワーク。

4.企業·団体展示





International Design Exhibition, Osaka'89

Theme: Viva, sensitive creation and Dream! Duration: Nov.17 trough 26, 1989 (10 days) Venue: INTEX Osaka, pavilion No.1

Visitors:139,484

Producer: Mr. Shinji Izumi

Contents:

- 1. Display of the prize-winning works and other outstanding works from the 4th Competition: 91 works
- 2. Display of the various works by the 4 recipients of the 4th Award
- 3. Foundation's special exhibition
- 1 Japan-Europe student design exhibition
- ② The aging society and design
- 3 Design in 1m2 individual/group display-
- 4 Events on paradise stage: Soundscape of Indian music; performance with wood; etc.
- ⑤ Public painting
- 6 Work shop: Toys by D.I.Y; paper sculpture;etc.
- 4. Cooperate exhibition





国際デザイン・コンベンション

[国際デザイン・キャンプ'88松本]

1988年8月5~6日

メインテーマ:望見2001

基調講演「デザインの未来」小松左京氏(作家)特別講演「イタリア・デザイン最新事情」 チェザレ・M・カザッティ氏(イタリア) 記念講演「芭蕉:不易流行の説―伝統文化のこころ」 浦辺鎮太郎氏(建築家)

分科会等

[国際デザイン・コンベンション'88大阪]

1988年11月28日

メインテーマ:ビジネス・都市・デザイン 基調講演「英国のデザイン事情―伝統と革新」 ジョン・サッカラ氏(イギリス)

パネルディスカッション等

[国際デザイン・コンベンション'88熊本]

1988年11月30日~2月1日

メインテーマ:地域創造のデザイン 基調講演「中小企業のデザイン・マネジメント」 アール・パウエル氏 (アメリカ) 対談等

[国際デザイン・コンベンション'89岐阜]

1989年7月21日

メインテーマ: ひろがる産業デザイン 基調講演「伝統とデザイン」 清家 清氏 (東京工業大学名誉教授) パネルディスカッション等

[国際デザイン・コンベンション'89青森]

1989年7月28~29日

メインテーマ:デザインの風 基調講演「風土とデザイン」 清家 清氏(東京工業大学名誉教授) 記念講演「地域と文化」大島 渚氏(映画監督) パネルディスカッション等

国際デザイン・コンペティション入賞作品展

国際デザイン・コンペティション入賞作品展—松江 1988年3月10~15日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展―熊本 1988年11月30~12月4日

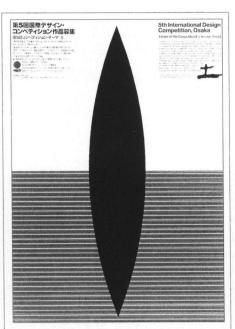
国際デザイン・コンペティション入賞作品展―仙台 1989年3月21~24日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展―岐阜 1989年7月18~21日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展一青森 1989年7月28~31日







真 D:松永 Shin Matsunaga

人間は、土を基盤に農耕社会を築き あげ、土を素材にして、器や偶像を つくってきた。人類の文明と文化は、

土からはじまったといっても過言ではない。そ の土が、環境破壊などによっていま、グローバ ルな問題に直面している。

受賞作品及び受賞者

ヨナ・フリードマン氏(フランス)&エダ・シ

Mr. Yona Friedman, France and Ms. Eda



「人間のための屋根」

Schaur, Germany.



大賞:内閣総理大臣賞

ョール女史(ドイツ)

5th International Design Competition, Osaka

Theme:[Terra] One can safely say that human civilization and culture started from the earth where we have built villages and towns. Our earth, however, is in crisis, faced by environmental contamination and other serious problems.

Winning works and winners Grand Prize: Prime Minister's Prize

"Roofs for People" Mr. Yona Friedman, France and Ms. Eda

Schaur, Germany. Minister of International Trade and

Industry Prize "Proposal for a System for Guiding the Visually Impaired"

Mr. Hiroou Ohkubo, Japan.

Governor of Osaka Prefecture Prize

"Falling Leaves"

Ms. Heleen Lamoree, the Netherlands.

Mayor of Osaka City Prize

"Terra: Instructions for Use'

Ms. Paola Garbuglio and 4 co-producers, Italy. Chairman of Japan Design Foundation

"Living Machine CARROT"

Ms. Hiroko Adachi, Japan.

Honorable Mentions

"Terra" Mr. Andrey Uriyevich

Baranov.

formaer U.S.S.R. "Dark Moments-

Reflexions"

Mr. Jacques Leclercq-K., France.

"Soil Tone Receiver" Mr. Ryoichi Kishi and

a co-producer, Japan. "Sunset at Cala Grande"

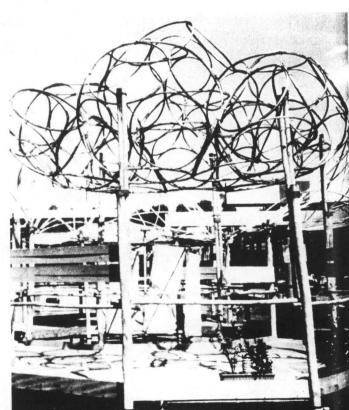
Mr.Guido Borelli and 4 co-producers and a

company. "Urban Earthscape-the Glass Mountain"

Mr. Jhon O'Reilly,

U.S.A. "A Railway Garden" Ms. Mary Nell Vecera,

U.S.A.



通商産業大臣賞

大阪府知事賞

大阪市長賞 「土の絵はがき」

奨励賞

[土]

大久保裕生氏 (日本)

「視覚障害者誘導システムの提案」

国際デザイン交流協会会長賞 「人工植物キャロット」

足立裕子女史(日本)

「暗闇の時―反映|

「カラグランデの日没」

「都市の風景―ガラスの山」 ジョン・オレイリー氏 (アメリカ)

[レールウェイガーデン]

「落ち葉」ヘレーン・ラモリー女史(オランダ)

パオラ・ガルブリオ女史ほか4名(イタリア)

アンドレイ・ウリエビッチ・バラノフ氏 (旧ソ連)

グイド・ボレッリ氏ほか4名1社 (イタリア)

マリー・ネル・ベセラ女史(アメリカ)

ジャック・ルクレール氏(フランス) 「ソイル・トーン・レシーバー」 岸 良一氏ほか1名(日本)

第5回国際デザイン・アオード

フリッツ・ハンセン株式会社 (デンマーク) 1872年の創業以来一貫して、卓越したデザイン と人間工学的な工芸品の持つ、ぬくもり、技術 的独創性にあふれた家具を創造し、インテリア の世界に絶えず新風を送り続けてきた。

槇 文彦氏 (日本)

現代建築における技術と文化・芸術の高度な融合をみせた「幕張メッセ」「TEPIA」「東京体育館」の設計により、世界の建築界に多大な影響を与えた。

アンティ・ヌルメスニエミ氏、ヴォッコ・エス コリン=ヌルメスニエミ女史 (フィンランド)

インテリア、プロダクトからファブリックに至るまでの幅広い分野にわたる夫妻のすぐれたデザイン創作活動に加え、確固たる信念の下、世界的立場で、デザインの振興に永年にわたり尽くした。

5th International Design Award, Osaka

Recipient: Fritz Hansens Eft.A/S (Denmark) For their consistently innovative presence in the field of interior design since their establishment in 1872, and for their work as creators of distinctive furnishings embodying the warmth of feeling and wealth of technical originality that are the hallmarks of inspired design and human engineering.

Recipient: Mr. Fumihiko Maki (Japan)

For his remarkable achievements in the field of modern architecture, characterized by a masterful fusion of engineering with cultural and artistic elements, as exemplified in his design for the Makuhari Messe (Nippon Convention Center), "TEPIA" and Tokyo Gymnasium, which have had an enormous impact on world architectural circles.

Recipient:Prof. Antti Nurmesniemi and Ms. Vuokko Eskolin-Nurmesniemi (Finland)

For their brilliant, longstanding creative activity in a wide range of fields including interior, product and fabric design, and for their firm dedication and significant contributions to the promotion of design worldwide.





ヴォッコ・エスコリン=ヌルメスニエミ女史(フィンランド) Prof. Antti Nurmesniemi and

Prof. Antti Nurmesniemi and Ms. Vuokko Eskolin-Nurmesniemi (Finland)



第5回国際デザイン展

テ ー マ 「未来・都市・生活―デザイン・ カルチベーション2001|

期 間 1991年10月4~10月13日 10日間

会 場 大阪ビジネスパーク

MIDシアター等、5会場

入場者数 197,344人 プロデューサー 坂根 進氏

展示内容

1.第5回国際デザイン・コンペティション入賞 作品並びに優秀作品45点の展示

2.第5回国際デザイン・アオード受賞者3件の業 績展示

3.協会企画展示

①「東南アジアのデザイン」展示いま、活気に満ちているアセアン諸国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ)の伝統と文化に根ざしたデザインを紹介展示。デザイン展会期中に開かれた「環太平洋デザイン交流会議」と関連して企画された。

②「デザイナーズ・プラザ」展

国内外の第一線で活躍するデザイナー、作家の 創作を発表・展示。ニューヨーク、ミラノ、バ ルセロナ、日本より出品。

③「関西ビッグプロジェクト」展 ナショナルプロジェクトである関西国際空港、 関西文化学術研究都市、明石海峡大橋を中心に、 関連プロジェクトである、りんくうタウン、テ クノポート大阪計画を模型、パネル、映像等で紹介することにより、21世紀を目指した関西の新しい生活環境空間を一望し、未来の都市生活がこのプロジェクトでどのように変わって行くのかを考える。

④「国際デザイン交流協会10年の歩み」展示 4.企業・団体展示



International Design Exhibition, Osaka'91

Theme: The Future, City, and Life-Design

Cultivation 2001

Duration:Oct.4 through 13, 1991(10days)

Venue: Osaka Business Park

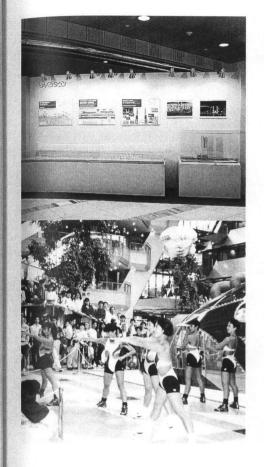
Visitors: 197,344

Producer: Mr. Susumu Sakane

Contents:

- 1. Display of the prize-winning works and other outstanding works from the 5th Competition: 45 works
- 2. Display of the various works by the 3 recipients of the 5th Award
- 3. Foundation's special exhibition
- ① Outstanding design works from Southeast Asia
- 2 Designer's plaza
- 3 Urban development projects in Kansai
- 4 The history of the JDF
- 4. Cooperate exhibition





国際デザイン・コンベンション

[国際デザイン・キャンプ90松本] 1990年7月26~27日 メインテーマ:アジアに目を向けよう 基調講演「アジアに学ぶ」 木村重信氏(大阪大学名誉教授) 記念講演「企業と文化・デザイン」 山之内秀一郎氏(JR東日本旅客鉄道株式会社副社長) 分科会等

[国際デザイン・コンペンション'90山形] 1990年11月13日

メインテーマ:世界の中の山形=デザインシティの実現に向けて

基調講演「産業と文化のグローバリゼーション」 アンソニー・A・パリシ氏(アメリカ) 記念講演「地域におけるデザイン・フォーラム」 タピオ・ペリアイネン氏(フィンランド) 対談等

[**国際デザイン・コンベンション'90山梨**] 1990年11月16~17日

メインテーマ:山梨の新しい息吹を求めて 基調講演「エコロジカルランドスケープの展開 一割バシからリニア新幹線まで―」 榮久庵祥二氏(名古屋芸術大学教授)

対談等

[**国際デザイン・コンベンション'91兵庫**] 1991年7月12日

メインテーマ:デザインは活路を拓く 基調講演「デザインの高密度化」 田中 央氏(神戸芸術工科大学主任教授) デザイン・トーク等

[国際デザイン・コンベンション'91九州]

1991年7月18~19日

メインテーマ:アジア・九州・そしてデザイン 基調講演「アジア太平洋時代のデザイン」 豊口 協氏(東京造形大学学長) 特別講演「アジアの心」 朴 大淳氏(韓国) パネルディスカッション等

国際デザイン・コンペティション入賞作品展

国際デザイン・コンペティション入賞作品展—山形 1990年11月9~13日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展―山梨 1990年11月16~12月9日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展―兵庫 1991年7月11~14日

国際デザイン・コンペティション入賞作品展一九州 1991年7月18~21日







D:浅葉克巳 Katsumi Asaba



地球上に生を受けたものは皆、風と 出会い、風と闘い、そして風に助け られ、風とともに生きて来た。

風は大気の流れ

地球を包み、ドラマを生み出す。

風はエネルギー

風は雨を呼び、暴風となって木を倒し、岩を も削る。人はそのエネルギーで風車を回し、 粉を挽き、水を汲み上げる。

風は新しい世代を運ぶ

花粉を運び、植物を育てる。舟を動かし、 人々の息吹と新しい文化を運ぶ。

風は環境をつくる

風は花をそよがせ、静寂の森や林に 交響曲を響かせる。時には海を怒り 狂わすが、砂丘に美しい風紋を描き、 新しい風景をつくり出す。

風は音楽家

葦笛の素朴な響きは、人々の心を揺り動かす。山々から草原から海辺から、そして砂漠からも、様々な笛の調べが風に乗って聞こえてくる。

風に国境はない。風は人々の出会いを 作り、新しい形と文化を生み出す。

受賞作品及び受賞者 大賞:

内閣総理大臣賞

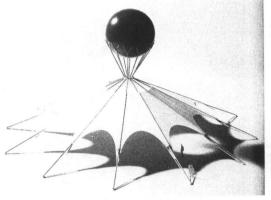
「バルーン・パビリオン」 シモーネ・メディオ氏 (イタリア)

Mr. Simone Medio, Italy.



通商産業大臣賞

「卓上扇風機・ノーチラス」 ローランド・ボルサト氏ほか3名(イタリア)



大賞:内閣総理大臣賞「バルーン・パビリオン」 Grand Prize: Prime Minister's Prize "Aerostatic Pavilion "

6th International Design Competition, Osaka

Theme:[Kaze: Wind]

All beings born on the earth have encountered the wind, have fought against the wind, have been saved by the wind.

Wind is a stream of air.

It envelops the earth and creates drama.

Wind is form of energy.

Wind brings about rain, becomes a storm that blows down trees and deforms even rocks.

Human beings use this energy to turn windmills, grind wheat into flour, and draw water.

Wind brings along new generations

Wind transports pollen, helps plants grow.

It moves vessels, carrying people's aspirations and new culture.

Wind creates the environment.

Wind sways flowers, makes calm woods and forests resound with natural symphonies.

Though it sometimes causes the ocean to roar, wind also endows desert sands with beautiful patterns, thus creating a new landscape.

Wind is a musician.

A reed pipe moves people with its simple sound.

Various tunes of flute can be heard, carried on the wind from the mountains, plains, seashore, as well as deserts.

Wind transcends national boundaries. Wind creates encounters between people, brings about new forms and culture.

Winning works and winners

Grand Prize: Prime Minister's Prize

"Aerostatic Pavilion "

Mr. Simone Medio, Italy.

Gold Prize(Minister of International Trade and Industry Prize)

"Nautilus (desk top fan)"

Mr. Roland Borsato and 3 co-producers, Italay.

Governor of Osaka Prefecture Prize

"Biotech-----Windpowered energy field" Prof. Ulrich Reif and a co-producer, Germany. Mayor of Osaka City Prize

"Lifeball"

Mr. Lorenzo Tosi(Italy)

Silver Prize(Chairman of Japan Design Foundation Prize)

"Urban Wind"

Ms. Reiko Yamazaki, Japan.

Bronze Prize(President of Japan Design Foundation Prize)

" Air cloth for traveler 'Airpora' "

Mr. Choi, Jin-Sik and a co-producer. Korea.

"Omkar"-----The artificial Phonetic system Mr. Ravindra Rajhans and a co-producer, India.

"Aerotecture----The return of the Rigid Airship"

Mr. Paul Evans and 8 students of the Institute of Design of the Illinois Institute of Technology, U.S.A.

Honorable Mention

"Windtree----A system for energy production" Edilson Shindi Ueda and a co-producer, Brazil.

"KAZE/LAMPA"

Mr.Ivan Hybs, Australia.

"Against the Tide-----In harmony with the wind"

Ms.Katie Kosut and a co-producer, U.S.A. "Desert Dunes Golf Club House"

Mr. Edward Suzuki Hoerdt, Japan.

大阪府知事賞

「風力発電機・バイオテック」 ウルリッヒ・ライフ氏ほか1名 (ドイツ)

大阪市長賞

「ライフボール (救命気球)」 ロレンツォ・トッシ氏 (イタリア)

国際デザイン交流協会会長賞

「都市に吹く風」

山崎玲子女史 (日本)

「旅行用エアジャケット・エアポーラ」

チョイ・ジンシク氏ほか1名(韓国)

「人工声帯・オムカー」

ラヴィンドラ・ラジュハンス氏ほか1名 (インド) 「アエロテクチャー:硬式飛行船の復活」

ポール・エヴァンズ氏ほか8名 (アメリカ)

奨励賞

「風力発電機・ウインドツリー」 エディルソン・シンディ・ウエダ氏ほか1名(ブラジル) 「ランパ/風」

イヴァン・ハイブス氏 (オーストラリア) 「砂丘造成ネット」

カティー・コスツ女史ほか1名 (アメリカ) 「デザートデューンズ・ゴルフクラブハウス」 鈴木・エドワード・ハート氏 (日本)

第6回国際デザイン・アオード

ニューヨーク近代美術館: 建築・デザイン部門 (アメリカ)

アメリカー国にとどまらず、全世界の建築とデザイン分野における数多くの歴史的名作を長年にわたり公平に収集し、展示を通じて広く世界に紹介することによって、デザインの向上発展に寄与した。

亀倉雄作氏 (日本))

日本のグラフィックデザインの先駆者であり、 世界のグラフィックデザインの水準を高めると ともに、企業におけるデザインポリシーの必要 性を説き、一方、新進デザイナーの育成にも献身 的に情熱を傾注するなど、デザイン界に多大な影響を与えた。

6th International Design Award, Osaka

Recipient:Department of Architecture and Design of the Museum of Modern Art, New York (U.S.A.)

The Department of Architecture and Design

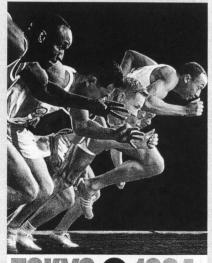
of the Museum of Modern Art, New York, in recognition of distinguished contributions to the promotion of design activities through many years of balanced collection and public exhibitions of numerous historic masterpieces of architecture and design, from the United States of America and the world over.

Recipient: Mr. Yusaku Kamekura (Japan)

Mr. Yusaku Kamekura, one of Japan's graphic design pioneers, in recognition of his distinguished contributions to and profound influence on the design industry, as exemplified in his international refinement of posters and emblems, advocacy of the need for corporate design policy, and training of young designers.



亀倉雄作氏(日本))Mr. Yusaku Kamekura (Japan)









ニューヨーク近代美術館:建築·デザイン部門 (アメリカ)

Department of Architecture and design of the Museum of Modern Art, New York (U.S.A.)

第6回国際デザイン展

テーマ「風」

期 間 1993年10月9日~10月17日

会 場 花博記念公園内 国際陳列館

入場者数 21,700人

展示内容

1.第6回国際デザイン・コンペティション入賞 作品ならびに優秀作品55点の展示

2.第6回国際デザイン・アオード受賞者2件の業 績展示

3.協会企画展示

特別展 テーマ:風との出会い

世界の伝統的凧からスポーツカイトまでの展示 と、神話の時代からの人と風とのかかわりをパ ネルで解説展示。風と出会いの場設置。

4.企業·団体展示

財団法人日本自転車産業振興協会 「サイクルデザイン・コンペティション1993」



International DesignExhibition, Osaka'93

Theme:wind

Duration:October 9 to 17 1993 (9 days)

Venue: International Exhibition Hall in the

Expo '90 Commemorative Park

Visitors: 21,700

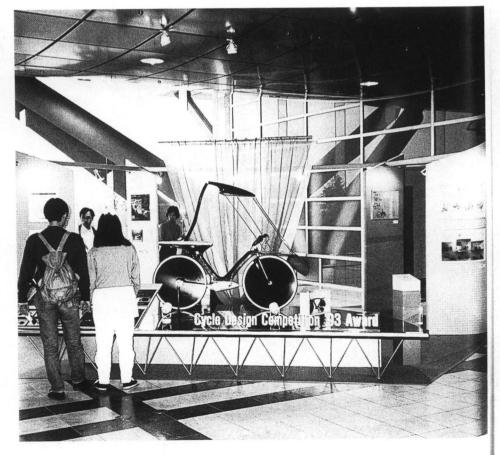
Contents:

- 1. Exhibition of winning-works and other outstanding works of the 6th International Design Competition: 55works.
- 2. Introduction and profiles of the 2 award recipients of the 6th International Design Award.
- 3. JDF's Special Exhibition

Theme "Encounter with the Wind"

Exhibition of traditional kites and sports kites from around the world, and panel exhibition of the relationship between human beings and the wind since the mythical age. This is a place for encounter with the wind.

4. Exhibition of Works of Cycle Design Competition 1993 sponsored by Japan Bicycle Promotion Institute.









D: 岡本滋夫 Shigeo Okamoto

触覚は人間の五感のうちで最も本能 に近い感覚である。それは、多くの 感動を我々に与えてくれる。

初めて抱くわが子の感触。

恋人と初めて手と手が触れ合ったときの感触。 熱い渇きのときに触れる冷たい水の感触。 いずれもが身が震えるような感動の一瞬である。

それは不思議な力をもっている。

・安心感を与える力

不安におののく子供が、母に抱かれているとい う感触を確認するだけで落ち着く。

・自信を与える力

多くの人前でしゃべるとき、手に何かが触れて いるだけで自信がわいてくる。

・愛を確かめる力

お互いに触れ合うことによって愛が確かめられる。

・信頼感を与える力

人やものに慈しみの気持ちで触れ合うとき、お 互いの信頼感が生まれる。

受賞作品及び受賞者

大賞:内閣総理大臣賞

「ソプール ―目覚ましと読書用 ライト付きまくら ハワード・モンゴメリー氏(アメリカ)

通商産業大臣賞

「指示書きは内側にあります」 スフェン・フォーゲル氏(ドイツ) Montgomery, U.S.A.



大阪府知事賞

「壁面スイッチの研究」マレク・クルル氏(ポーランド)

大阪市長賞

「ジグ」 ユハ・ミュルラ氏 (フィンランド)

国際デザイン交流協会会長賞

「21世紀の道 (新しい舗装システムの提案)」 岡本清文氏ほか1名(日本)

「テラム」クリスチーナ・ムーア女史(スイス) 「自然触」水田一久氏(日本)

「感覚力のある装置」マイルズ・ペニントン氏(日本)

奨励賞

「生命のきずな」ダビデ・アドリアーノ氏ほか1名(イタリア) 「スイッチ」

クラウディオ・コルッチ氏ほか2名 (フランス) 「溜り場」木寅篤人氏ほか1名(日本) 「ボディ・ハウジング」モニカ・ピアトコフスキー氏(イギリス)

7th International Design Competition, Osaka

Theme: "Shoku" Touch, Feel

Among the five human senses, the sense of touch is the closest to man's intuition. It provides us with many emotions. The feel of your child when you hold it in your arms for the first time The feeling when your hand and the hand of your loved one touch for the first time. The feel of cold water when you are dying of thirst.

Each feeling is powerful enough to move us with emotion.

Feelings may be said possess magical power.

• The power to provide the feeling of safety. A child quivering from anxiety calms down only when it recognizes the feeling of being

• The power to provide self-reliance.

When addressing a large audience, you feel confident only if you are touch something with your hand.

• The power to confirm love.

hugged by its mother.

Love is verified by touching each other.

• The power to provide a feeling of confidence. When facing a man or a thing while feeling friendliness, the feeling oh mutual trust is born.

Winning works and winners Grand Prize (Prime Minister's Prize)

"Sopür-Alarm and Reading Light Pillow" Mr. Howard Murray Montgomery, U.S.A.

Gold Prize(Minister of International Trade and Industry Prize)

"Instructions Inside"

Mr. Sven Vogel, Germany.

Governor of Osaka Prefecture Prize

"The Study of Wall Switches"

Mr. Marek Król Józaga, Poland.

Mayor of Osaka City Prize

"The Jig"

Mr.Juha Myllylä, Finland.

Silver Prize(Chairman of Japan Design Foundation Prize)

"Foot Kiss The Earth"

Mr. Kiyofumi Okamoto and a co-producer, Japan.

Bronze Prize (President of Japan Design Foundation Prize)

"Feel of Nature"

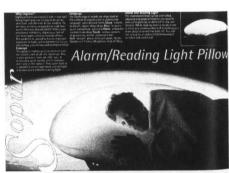
Mr.Kazuhisa Mizuta, Japan.

"Sentient-An Aid to Communication"

Mr. Miles Pennington and a co-producer, Japan.

"TELUM"

Ms. Christina Moor, Switzerland.



大賞:内閣総理大臣賞「ソプール―目覚ましと読書用ライ Grand Prize (Prime Minister's Prize) "Sopur-Alarm and Reading Light Pillow"

Honorable Mention

" Tie for Life"

Mr.Davide Adriano and a co-producer, Italy. "THE SWITCH"

Mr. Claudio Colucci and 2 co-producers, France.

"Tamariba" Gathering Place

Mr. Atsuhito Kitora and a co-producer, Japan.

" Body Housing"

Ms. Monika Piatkowski, England.

第7回国際デザイン・アオード

安藤忠雄氏 (日本)

建築の構成要素を極限まで純化し、空間の内と 外の関係及び光と影の追求により、自然との共 生を可能とする厳しい独自性をもった作品を実 現し、世界の建築界に多大な影響を与えた。

ローレンス・ハルプリン氏 (アメリカ)

都市計画におけるランドスケープ・デザインの 重要性を早くから提唱、東洋的自然観にもとづ く自然と建築の有機的結合を実践し、世界の建 築界に多大な影響を与えた。

アーサー・ J. プーロス氏 (アメリカ)

長年にわたり教育者として多くのデザイナーを 育成すると共に、著作や講演活動を通じて世界 のデザインの発展と生活文化の向上に多大な貢献をした。



Recipient:Mr. Tadao Ando (Japan)

Mr. Tadao Ando has expressed profound originality and a true sense of symbiosis with mother nature in his work by refining architectural elements in utmost detail and by probing the relationships between interior and exterior space and between light and shade.

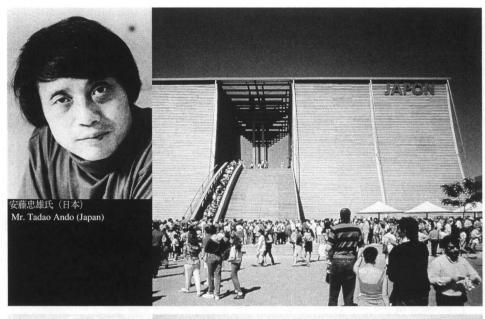
As a result, he has greatly influenced architecture in the world.

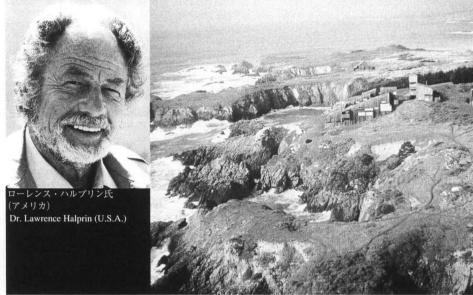
Recipient: Dr. Lawrence Halprin (U.S.A.)

Dr. Halprin was one of the first to advocate the importance of landscape design in urban planning, and in his work, has organically bound the natural environment and human architecture based on the oriental view of nature. As a result, he has greatly influenced architecture in the world.

Recipient: Dr. Arthur J. Pulos (U.S.A.)

Dr. Arthur J. Pulos has, for many years, been educating people to become designers and has made contributions towards design development and cultural enhancement through his writings and lecture activities.







第7回国際デザイン展

テーマ「触」

期 間 1995年10月7日~10月15日 (一般公開9日間)

会場 アジア太平洋トレードセンター/ ATCホール (Os棟南館・B2F)

入場者数 30,360人

展示内容

1.第7回国際デザイン・コンペティション入賞 作品ならびに優秀作品57点の展示

2.第7回国際デザイン・アオード受賞者3件の 業績展示

3.協会企画展示

(1) テーマ: やさしさをデザインする 近未来に向けて、人間性を重視し、すべての 人々が豊かな生活・文化を享受できるようにす るデザインの役割を、地球環境を保つ視点に立 って問い直す展示。

(2) テーマ:デザインの国際交流 近年、当協会が力を入れて交流を図ってきた、 アジア太平洋各国のデザイン振興機関の活動を 紹介。併せて、全体テーマ「触」にちなんで世界の優れた玩具約100点を展示。

4.特別展示 「バウハウス―モダン・デザイン の源流」(共催 朝日新聞社)

1919年にドイツで創立され、革新的な実践 教育により、多年にわたって先駆的な業績を残 し、近代デザイン史上に特筆されるバウハウス。 その約400点に及ぶ歴史的作品を一堂に展示。 21世紀に向けての新しい理念と活力の創造を模 索する人々へのヒントとなることを期待。 5.デザイン・ショップ「ホワイエ」 テーマ「触」に即して遊ぶ、学ぶ、創作する の楽しさの体験を組み入れたデザイン・ショッ プ。有志企業・団体の協力を得て設置。



International Design Exhibition, Osaka '95

Theme: Shoku「触」 Touch, Feel

Duration: October 7 to 15 1995 (9 days open

to public)

Venue: Asia Pacific Trade Center/ATC

Hall(O's Building ,South Wing,B2F)

Visitors: 30,360 Contents:

1. Exhibition of 57 winning-works and other outstanding works of the 7th International Design Competition.

2. Introduction and profiles of three award recipients of the 7th International Design Competition.

3. JDF's Special Exhibition

Theme I: "Designing Kindness"

Here one sees displays designed to ask each visitor to think about the role of design once again from the viewpoint of preserving the global environment so that all people may enjoy an affluent life and culture.

Theme I: "International Exchange in Design" Here the activities of design promotion gropes and organizations in various Asia-Pacific nations, with whom the JDF has been actively promoting exchange, are introduced. At the same time nearly 100 outstanding toys

gathered from around the world and connected to the general theme of shoku are on display.

4. Special Exhibition

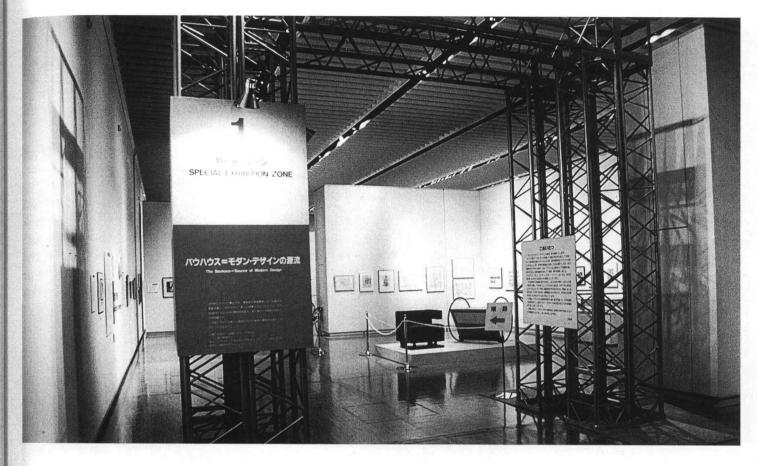
The Bauhaus -- Source of modern design

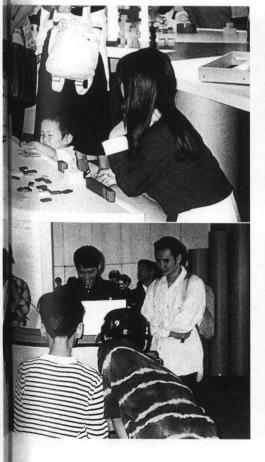
The Bauhaus, established in Germany in 1919, has had an everlasting impact on and influence over design almost everywhere in the world and is especially renowned in the world and is especially renowned in the history of modern design. Nearly 400 historical works produced by the Bauhaus are on display in the hope that they might serve as hints for those who are searching for new ideals and the creation of energy for the 21st century.(Co-organizer: The Asahi Shimbun Newspaper)

5. Design Shop: Foyer

This is a design shop Zone where one can experience the pleasure of playing, leaning, and creating, in line with the general theme of shoku, made possible by the cooperation of various business and organizations.











D:U.Gサトー U.G.Sato

遊=YUU

今世紀、技術文明の進歩とと もに発展してきたデザイン分 野も社会全体の要請に応えて、 分業化、専門化が進みました。

その結果、「もの」を生みだすデザインも、生産性重視、効率化優先の風潮のなかで、均一化、画一化しました。この風潮が、ムダの排除を進行させ、余裕を喪失して、人の心に豊かさを与えるデザインの要素まで削ぎ取ってしまったのではないでしょうか。

これからのデザインは、ゆとりを持った生活文化を構築するため、ものの機能や用途に偏重したまじめな追求ばかりでなく、柔らかな発想が求められている。

受賞作品及び受賞者

大賞:

内閣総理大臣賞

「デジタルヘッドカム コーダ"ウィンカム" |

福田民郎氏 ほか4名(日本)

Mr. Tamio Fukuda

and 4 co-producers, Japan.

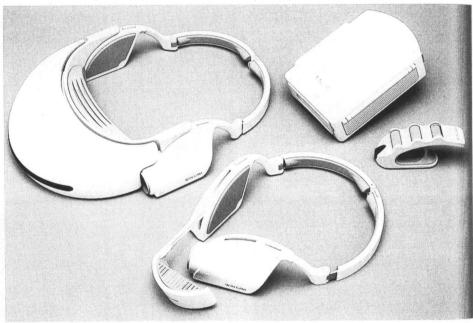


「"パリニューラス"特別な海域の海岸地域で使用する住空間」

ダーク・シューマン氏(ドイツ)

大阪府知事賞

「ザ·スリープウォーカー」ヤン・サイバート氏 (ドイツ)



大賞:内閣総理大臣賞「デジタルヘッドカムコーダ"ウィンカム"」 Grand Prize (Prime Minister's Prize) Digital Head Camcorder "WIN CAM"

8th International Design Competition, Osaka

Theme: YUU遊

The world of design that has progressed along with the development of technology since the beginning of the 20th century, is nowexperiencing divisions into various fields of specialization in order to cope with changing social demands. As a result designs of similar products have been homogenized and standardized. This trend has accelerated the elimination of unnecessary elements and loss of latitude. It has also caused loss of various elements in productive designs that could give comfort or relaxation to human minds.

Contrary to such contemporary trends, future designers are required to have flexible ideas so that they can contribute to the creation of a lifestyle that appreciates relaxation and a rich human sprit, instead of emphasizing product functionality only.

Grand Prize (Prime Minister's Prize)

" Digital Head Camcorder 'WIN CAM' " Mr. Tamio Fukuda and 4 co-producers, Japan.

Gold Prize(Minister of International Trade and Industry Prize)

PALINURUS

Mr.Dirk Schumann, Germany.

Governor of Osaka Prefecture Prize

" the sleepwalker"

Mr. Jan Seyberth, Germany.

Mayor of Osaka City Prize

" TOOL ROLL-A PERSOMAL MULTIMEDIA TOOLKIT"

Mr.Michael Kirsch, U.K.

Silver Prize(Chairman of Japan Design Foundation Prize)

" the 'thing' '

Mr. Neil McGowan, New Zealand.

Bronze Prize (President of Japan Design Foundation Prize)

" ANGLO-CHINESE or SINO-ENGLISH LETTERS"

Mr. Dang Sheng and 2 co-producers, China.

"MUSIC INSTRUMENT"

Mr.Milan Pulik, Slovakia.

" Zip,Zip,Zip-Won't you join up with my tunnel?"

Mr.Ko Uehara, Japan.

Honorable Mention

" THE SPIRITUAL HAPPENING"

Mr. Shirish R. Beri, India.

" THE TWISTING BALL'

Mr. Michael Koscelanský and a co-producer, Slovakia.

" PLACIDO Meditative rocking chair" Ms.Iris Eyal,Israel.

" THE WAVE LAMP"

Mr.Stephen Procter, New Zealand.

大阪市長賞

「ツールロール・パーソナル マルチメディア ツ ールキット」

マイケル・キルシュ氏 (イギリス)

国際デザイン交流協会会長賞

[the 'thing']

ニール・マッガーワン氏 (ニュージーランド)

国際デザイン交流協会理事長賞

「ANGLO-CHINESE or SINO-ENGLISH LETTERS」 党 晟氏ほか2名(中国)

党 成氏はが2名(中国) 「MUSIC INSTRUMENT」

ミラン・プーリク氏 (スロヴァキア)

「ZIP, ZIP, ZIP—ねぇ、ボクのトンネルとつながない?」

コウ ウエハラ氏 (日本)

奨励賞

「スピリチュアル・ハプニング」

シリシュ・ベリ氏 (インド)

「ツイスト・ボール」

ミハル・コスツェランスキー氏ほか1名 (スロヴァキア)

「プラシド (瞑想用ロッキングチェア)」

アイリス・エイヤル氏 (イスラエル)

「ウェーブ・ランプ」

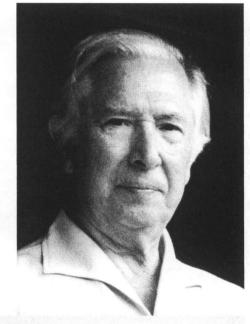
スチーブン・プロクター氏(ニュージーランド)

第8回国際デザイン・アオード 8th International Design Award, Osaka

ハンス・J.ウェグナー氏(デンマーク)

椅子のデザイン分野において、職人の手と機械 工作の統合を図り、人と物との関係探求により、 20世紀を代表する高品質な作品を創出し、世界 の生活文化の向上に多大な影響を与えた。

Recipient: Mr. Hans J. Wegner (Denmark) Mr. Hans J. Wegner was chosen for his extensive contributions to everyday life and culture around the world which he has made through the field in furniture design. He has created many typically 20th century high-quality works by integrating what is hard-created and machine-made in the pursuit of the relationship between man and object.







第8回国際デザイン展

テーマ「遊=YUU」

期 間 1997年10月4日~10月12日 (一般公開9日間)

会場 アジア太平洋トレードセンター/ ATCホール (Os棟南館・B2F)

入場者数 29,439人

展示内容

1.第8回国際デザイン・コンペティション入賞 作品ならびに優秀作品50点の展示

2.第8回国際デザイン・アオード受賞者1件の 業績展示

3.協会企画展示

テーマ:もっとゆとりと遊びごころをこれからやってくる高齢社会や高度情報化社会でも、"遊びごころ"は忘れることのできないテーマである。わたしたちが日常使う商品に"遊びごころ"があったら、もっと心にゆとりが生まれ、生活の中に新しい創造ができると考えられます。このゾーンは、国内外の企業と団体の協力を得てそんな提案や事例を集めて、展示しました。

4国際交流展示 テーマ:アジアと結ぶ 文化や歴史、生活様式が違う世界の国々では、 デザインの表現も微妙に変わります。このゾー ンは、めざましい経済発展を遂げているアジア 諸国・地域のデザインを紹介。特に、台湾と香 港のデザイン機関が推薦したグッドデザイン商 品の展示と、日本で初公開の第4回アジア・パ ッケージデザイン展を併催した。 5.エンターテイメント

遊び心がいっぱいのU.G.サトー氏のおもしろい 作品とスウォッチ時計の歴史がわかる年代別の コレクションに加え、

"遊"のテーマが体験できるステージを設けた 遊びの広場を設置。



International Design Exhibition, Osaka '97

Theme:遊YUU

Duration :October 4 to 12 1997 (9 days open

to public)

Venue : Asia Pacific Trade Center/ATC Hall(O's Building ,South Wing,B2F)

Visitors: 29,439 Contents:

1. Exhibition of 50 winning-works and other outstanding works of the 8th international Design Competition.

2. Introduction and profiles of one award recipient of the 8th international Design Competition.

3. JDF's Special Exhibition

Theme More Freedom and Playful Sprit

In the soon-to-come information-driven society where one in every four will be over 65 years of age, a "playful sprit" is something we cannot do without.

In the daily essentials had more of playful sprit to them, we ourselves would feel freer inside which would in turn open the door to new insight and creativity in our way of life.

This zone is an attempt at proposing just this. The proposals shown here were contributed by cooperating companies and organizations in and outside Japan.

4. Exhibition of International Exchange Theme Links with Asia

Because of the difference in culture, history and lifestyle patterns, the nations of the world differ, even if only subtly, in their mode of expression. This zone introduces designs from the Asian region which everyone knows is today enjoying remarkably strong economic growth. Here, you are treated to an exhibit of

good design products recommended by design organizations in Taiwan and Hong Kong and the 4th Package Design Exhibition staged for the first time in Japan.

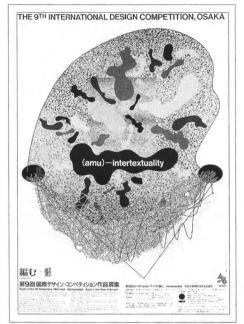
5. Entertainment

In this zone you can enjoy the playfully rich and fun works of U.G. Sato a "chronologically organized collection of Swatch watches, exhibits from cooperating groups and a corner where you can "play".









D: 粟津 潔 Kiyoshi Awazu



intertextuality 未知なる可能性を求めて

糸を編む、毛を編む、本を編む。編むという行為は、

異なるものを一つに縒り合わせることをいいる。 異質なものを編んだものは、一個の均質な物質 の塊よりも適当に隙間をもって連なっているこ とから、可塑性があり、軽くて強いものに編み あがるのである。

異なるテクスチュア (素材)、異なる文化、異なる世代、異なる感受性、異なる思考など、それらを編むことで、線が面となり、立体にもなり、次元が変わります。それらが縒り合わされることによって、それぞれが持っていなかった未知のテクスチュア、未知の感受性、未知の思考、未知のネットワークに生まれかわるのである。編むこと、それは異なるものの交流の原理、インターフェースの原理であるとともに、緩んでくればいつでも編み直し、編み換えることのできるリサイクルの原理でもあるのである。

受賞作品及び受賞者

大賞:内閣総理大臣賞

「e+plant=planet」 柴田巌朗氏ほか5名(日本)

Mr. Itsuro Shibataand 5 co-producers, Japan.

通商産業大臣賞

「ノーチラス・ウィズ・ビュー (折り畳みテント)」 謝 勇氏ほか1名 (中国)

大阪府知事賞

「遺伝子設計の織り成すエリア」 アニコ・メスザロス女史ほか2名(イギリス)

大阪市長賞

「胎児用電子聴診器―スウィート・ソング」 潘 潔仲女史(フランス)

国際デザイン交流協会会長賞

「自立する3次元6軸編み」日詰明男氏(日本)

国際デザイン交流協会理事長賞

「ヘブン・ヘルプ/竹蜻蜒」張 世明氏ほか1名(台湾)「インビジブル・ハウス (見えない家)」 ジェラルド・アンダーソン氏 (アメリカ) 「ブリッジング・ザ・ギャップ」 カルマ・レンドップ・ビュティア氏 (インド)

奨励賞

「カードボード・タイ」
ヘイノ・パタネン氏(フィンランド)
「ザ・ストーリー・オブ・ボトルズ」
劉 徳氏ほか1名(中国)
「フィンガー・ペン」ホン・グー・リー氏ほか2名(イギリス)
「竹と布の家」 細井貴則氏(日本)

9th International Design Competition, Osaka

Theme: AMU -"intertextuality"-Open a New Vista of Design!

The word "編む"(pronounced amu) is used in sentences like "interlacing yarn," "braiding hair" and "compiling a book," and it means interweaving of different things into one.

Intertwining of things of different natures comprises something flexible, light and strong, because, compared with a lump of the homogeneous substance has a properly spaced twist arrangement.

Intertwining of different textures(materials), cultures, generations, sensitivities, and ways of thinking transforms a line into a solid, bringing about dimensional change. These different things touch and overlap each other, which transforms their relation, and then turn into unknown textures, sensitivities, way of thinking, or networks not of the original nature. "編む(amu)" involves not only the principle of interchanging different things and the principle of interfacing, but also the principle of recycling.

Grand Prize (Prime Minister's Prize)

"e + plant = planet"

Mr. Itsuro Shibataand 5 co-producers, Japan.

Gold Prize(Minister of International Trade and Industry Prize)

" a nautilus with views (folding tenet)" Mr. Young Xie and a co-producer, China.

Governor of Osaka Prefecture Prize

" territories of interwoven genetic design" Ms. Aniko Meszaros and 2 co-producers ,U.K.

Mayor of Osaka City Prize

"ELECTRONIC BABY STETHOSCOPE-SWEET SONG"

Ms.Kit-chung Poon,France.

Silver Prize(Chairman of Japan Design Foundation Prize)

" Self-Standing 3D 6-Axes Weaving"

Ms. Akio Hizume, Japan. Bronze Prize

(President of Japan Design Foundation Prize)

"HEAVEN HELP"
Mr. Shing-Ming Chang
and a co-producer. Taiwan.
" AN INVISIBLE HOUSE"
Mr. Gerald Anderson,
U.S.A.

" Bridging the Gap" Mr.Karma Lendup Bhutia, India.

Honorable Mention

" Cardboard-tie'

Mr. Heino Partanen, Finland.

" THE STORY OF BOTTLES"

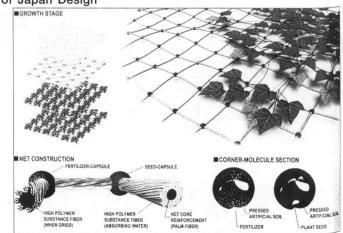
Mr. De Liu and a co-producer, China.

" Finger Pen"

Mr. Hong-goo Lee and 2co-producers, U.K.

" the house of bamboo and cloth"

Mr. Takanori Hosoi, Japan.



大賞:内閣総理大臣賞「e+plant=planet」 Grand Prize (Prime Minister's Prize) "e + plant = planet"

第9回国際デザイン・アオード

株式会社良品計画(日本)

優れたデザイン思想により、生活文化の向上、 発展に多大な影響を与えた。その革新性と先導 性は、企業におけるデザイン活動の在り方とし て極めて高く評価できる。

パスカル・マラガル氏 (スペイン)

バルセロナ市長として創造的先導性を発揮し、 一連の都市計画やオリンピックを成功に導いた。 この革新的な都市行政とデザイン活動の統合は、 21世紀に手渡すべき業績として極めて高く評価 される。

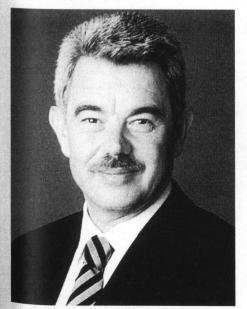
9th International Design Award, Osaka

Recipient: RYOHIN KEIKAKU Co., LTD. (Japan)

In recognition of their extensive contribution to every day life and culture around the world through the excellent design concepts, we hereby highly appreciate the progressive mind and leadership in their design activity.

Recipient: Mr. Pasqual Maragall (Spain)

In recognition of his creative leadership as Mayor of Barcelona, with which he fused innovative urban administration with design activity to bring success to a series of urban developments and the Barcelona Olympic Games, an achievement meritorious by our standards of being passed on to the 21st century as a public asset.



パスカル・マラガル氏(スペイン) Mr. Pasqual Maragall (Spain)





第9回国際デザイン展

テーマ 「編む― intertextuality」 ―未知なる可能性を求めて―

期 間 1999年10月9日~10月13日 (一般公開5日間)

会場 アジア太平洋トレードセンター/ ATCホール(O's棟南館・B2F)

入場者数 19,160人

展示内容

1. 第9回国際デザイン・コンペティション入賞 作品ならびに優秀作品50点の展示

2. 第9回国際デザイン·アオード受賞者2件の業 績展示

3. 協会企画展示

テーマ:21世紀へ生かす一デザインの知恵 今世紀のめまぐるしい技術の発展と製品開発の 中で、デザインがどのような役割を果たし、楽 しさと心の豊かさを育んできたか、さらに未来 へどう生かしてゆくかを分かりやすく、おもし ろく、実感できる展示。

・資源を生かす・技術を生かす・情報を生かす

・体験を生かす・ゆめを生かす、の5つのサブ テーマで、親しめる展示。

4. 国際交流展示

本協会と交流のあるアジア諸国・地域のデザイン振興機関〔北京、香港、上海、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム〕の活動を紹介。

5. デザイン団体協賛展示

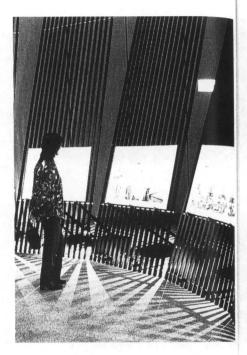
社団法人日本インテリアデザイナー協会「椅子 '99展|

協会創立40周年を迎え「つなぐ」創造・次世代への潮流をテーマに行われる記念事業のひとつ。イスのデザインを手がけるインテリアデザイナーが代表作、新作、プロトタイプなど、さまざまなイスをひとり・1m・100脚ならべて、100mのイスの遊歩道をつくった。

日本デザイン・ソサエティ「生活者の社知恵展」 関西の地で生まれたクリエーター集団が、創立 5周年記念事業として、生活者から「素材・モノ と長くつきあうためのアイディア」を公募し、 優秀なアイディアを会員がデザインして展示。 モノの使い手の生活者と作り手のデザイナーと のコラボレーション(合作)。

6.イベント&ショップ

東南アジアや中国の素晴らしい輸入雑貨、美術工芸品をはじめ、ファッション、アウトレットなどのショップが並んだ。また、協会企画展示に出品した企業・団体の各種デザインを紹介したカタログ・コーナーを設置。



International Design Exhibition, Osaka '99

Theme: 編む intertextuality

-Open a NewVista of Design -

Duration: October 9 to 13 1999 (5 days open to public)

Venue : Asia Pacific Trade Center/ATC Hall (O's Building ,South Wing,B2F)

Visitors: 19,160

Contents:

1.Exhibition of 50 winning-works and other outstanding works of the 9th international Design Competition.

2. Introduction and profiles of two awards recipient of the 9th international Design Competition

3. JDF's Special Exhibition

Theme:Passing on to the 21st Century -The Wisdom of Design

As they learn and enjoy themselves, visitors will come to appreciate the role design has played in the rapid technical advancement and product development of the 21st century, how it has helped foster pleasure and spiritual affluence, and how this is evolving for the future.

The exhibit is made up five practical subthemes, namely "Making the most of Resources", "Making the most of Technology", "Making the most of Information", "Making the most of Experiences" and "Making the most of Dreams".

4. International Exchange Zone

Introducing activities by design promotion institutions in Beijing, Hong Kong, Shanghai, India, Indonesia, Korea, Malaysia, Philippine, Singapore, Taiwan, Thailand, and Vietnam, with whom we have exchange.

5. Design Institutions Exhibition

Japan Interior Designers' Association: "Chairs '99 Exhibition"

This is the one of the events commemorating the Association's 40th anniversary. Under the theme "TSUNAGU—Creating the Next Wave", 100 chairs, including representative pieces, new work and prototypes by many interior designers, will be placed at intervals of 1 m to form a 100 - meter-long promenade of chairs.

JAPAN DESIGN SOCIETY: "Wisdom of the Consumer Exhibition"

To commemorate their fifth anniversary, a Kansai-born group of creators invited consumers to submit "ideas for long -term coexistence with materials and commodities."

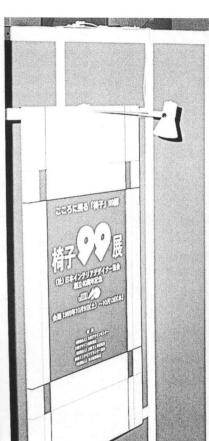
Exhibits include collaborations between the members of the design society and consumers, the consumers providing superior ideas and the designers giving them form.

6. Event & Shop

You'll find many shops selling sundries and artistic handicrafts from Southeast Asia and China, fashion shops, and outlet stores, plus places where you can buy fun souvenirs of Osaka. In the catalog corner, you can inspect designs by enterprises exhibiting at the JDF's Special Exhibition Zone.

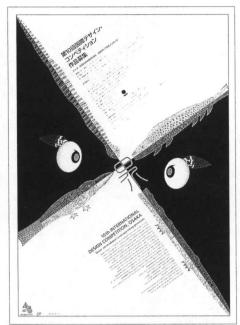












D:永井一正 Kazumasa Nagai



テーマ intermediation 次世代へつなぐメッセージ

intermediation (インター メディエーション)とは、 「調停、介在、仲介」、「2者

の間を取り持つこと」などを表す言葉である。 20世紀から21世紀に変わる時、それは単なる過渡期であってはなりません。先人が築き上げた遺産の中で継承すべきもの、反省し捨て去るもの、あるいは形を変えて再生するものなど、厳しく選別すべき時である。われわれが抱える諸課題は、この地球上に生きるすべての人々が我が事として一緒に考え、解決に努力する事が必要なのである。デザイナーのアイデアはそのためのシナリオ、地図といえましょう。

それは、20世紀と21世紀の間に軽やかに介在し、かつ、来るべき21世紀にさりげなく激励を与えるメッセージなのである。まさしくシャボン玉の膜のように軽やかにさりげなく、外圧と内圧のバランスを保ちながらの介在(メッセージ)が求められているのである。

受賞作品及び受賞者

大賞:内閣総理大臣賞

「パイロン (歩行者用未来型位置確認システム)」 シュテファン・ノヴァーク氏ほか4名(ドイツ) Mr. Stefan Nowak and 4 co-producers, Germany.

経済産業大臣賞

「アルトフューエル」

アレキサンドレ・ペトロフ氏ほか2名 (ロシア)

大阪府知事賞

「地雷探知ロボットとフォスター・オーナーシ ステムの提案」 山本 幸二氏(日本)

大阪市長賞

「サインは変化している」 ミレナ・バルナローバ女史(ブルガリア)

国際デザイン交流協会会長賞

「クークーミトサインズ」

ヴィクトール・ベルムスタコフ氏 (フランス)

国際デザイン交流協会理事長賞

「次世代へつなぐメッセージ」伊藤 誠氏ほか2名(日本) 「水・母」 謝 大立氏ほか4名(台湾)

「空に届くハンモック」アダム・カルノフスキー氏(ポーランド)

奨励賞

「新・旧の世紀とヒューマニズム」 趙 先淵氏ほか1名(日本) 「かたつむり」

ユディット・グラーフェル女史 (ハンガリー) 「マーカバ・マンダラ」ロバート・ウォーツ氏(アメリカ) 「過半身不髄者用ハンドバイク」

シュテファン・プファイファー氏ほか1名(ドイツ)

10th International Design Competition, Osaka

Theme:Intermediation/a massage linking generations

Intermediation means "mediation, intervention, channel" or "mediating between two parties". This important time in history, as we move from the 20th century to the 21st century, should not be seen merely as a temporal transition. It should be a time when we take a close and careful look at everything we have inherited from our predecessors and decide what should be revised, what should be thrown out, what should be reborn in a different form. In order to solve the various problems facing the world, it is necessary for all the people living on this planet to join together as one and think of solutions and take action as if the problems were their own. The ideas dreamed up by designers may serve as

It is a message that lightly intermediates between the 20th century and the 21st century, and casually gives a message of encouragement to the newly born 21st century. Indeed, what is sought is mediation(a message) as light and casual as the film of a soap bubble that

instructions or maps that point the way to the

future.

maintains the balance between inner and outer pressure.

Grand Prize (Prime Minister's Prize)

" PILON, future orientation system for pedestrians"

Mr. Stefan Nowak and 4 co-producers, Germany.

Gold Prize(Minister of Economy, Trade and Industry Prize)

"ALTFUEL"

Mr. Alexandre Petrov and 2 co-producers,

Governor of Osaka Prefecture Prize

" Proposal of a mine detection robot and foster owner system"

Mr.Kouji Yamamoto,Japan.

Mayor of Osaka City Prize

" signs are changing"

Ms. Milena Valnarova, Bulgaria.

Silver Prize(Chairman of Japan Design Foundation Prize)

"COUCOUMITSINES"

Mr. Viktor Belmoustakov, France.

Bronze Prize (President of Japan Design Foundation Prize)

" a massage linking generations"

Mr. Makoto Ito and 2 co-producers, Japan.

" Water Goddess"

Mr. Ta-Lih Shieh and 4 co-producers, Taiwan.



大賞:内閣総理大臣「パイロン(歩行者用未来型位置確認システム)」 Grand Prize (Prime Minister's Prize) "PILON, future orientation system for pedestrians"

" THE SKY REACHING HAMMOCK, 2000, POZNAN, POLAND"

Mr.Adam Kalinowski, Poland.

Honorable Mentions

" Old and new centuries and humanism " Mr.Se Youn Cho and a co-producer, Japan. " SNAILS"

Ms. Judit Grafel, Hungary.

" MERKABA MANDALA"

Mr. Robrt Wertz, U.S.A.

" Handbike for paraplegic people"
Mr. Stefan Pfeifer and a co-producer, Germany.

第10回国際デザイン・アオード 10th International Design Award, Osaka



photo by Yorick CARROUX

三宅一生氏(日本)

一枚の布をメディアとして、人間性を美しく軽やかにメッセージするその創作活動は、常に進歩的で、広くデザインやアートの世界に強い影響を与えており、多様な文化が共存する21世紀における「ものづくり」の指針として極めて高く評価できる。

Recipient: Mr.Issey Miyake (Japan)

Using "a piece of cloth (A-POC)" as his communication media, Issey Miyake has consistently delivered powerful messages on the beauty of the human body and spirit. As a pioneer, he has strongly influenced his contemporaries in design and the arts. His own art, in giving form to apiece of cloth, posits a new principle f or "Making Things" in the 21st-century context, highlighted by the harmonious co-existence of diverse cultures.



Photo: Noriaki Yokosuka

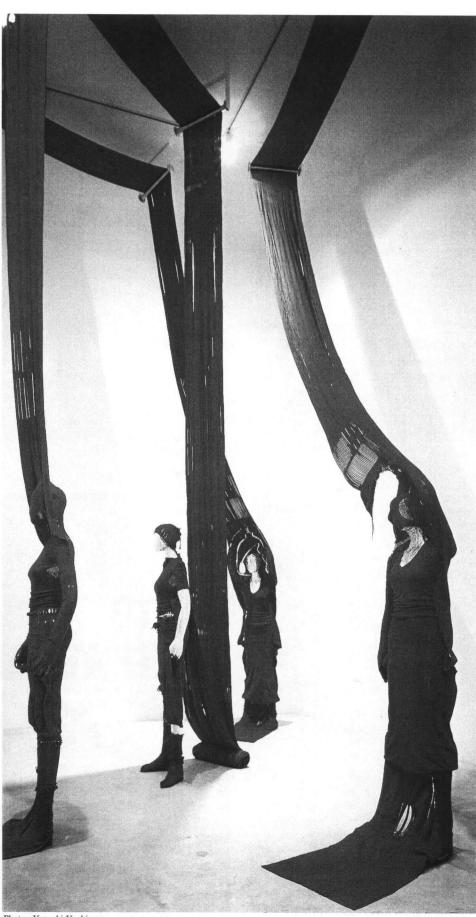


Photo : Yasuaki Yoshinaga

第10回国際デザイン展

テーマ 「intermediation/次世代へつなぐメッセージ」

期 間 2001年10月20日~10月24日 (一般公開5日間)

会場 アジア太平洋トレードセンター/ ATCホール (O's棟南館・B2F)

入場者数 18,931人

展示内容

1.第10回国際デザイン・コンペティション入賞 作品ならびに優秀作品38点の展示。

2.第10回国際デザイン・アオード受賞者の業績 展示。

3.歴代アオード・歴代コンペ大賞作品展示 第10回を記念して、第1回から第9回までの国際 デザイン・アオード受賞者紹介、国際デザイン・ コンペティション大賞受賞作品の展示。

4.テーマ展示

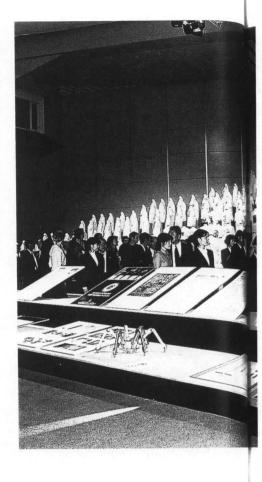
(みんなのTシャツメッセージ大集合) Tシャツをメディアに各分野のデザイナーから 多くのメッセージを集め、来場者も会場でTシャ ツメッセージをつくり、次世代への夢の発信。 5.国際交流展示

当協会と交流のあるアジア諸国・地域のデザイン振興機関(北京、香港、上海、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム)の活動を紹介。

6.協賛企画展示

めまぐるしく変化する市場と開発環境の中で、 デザインがどのような役割を果たし、メッセー ジを発信し続けているか、現場のデザインマイ ンドを実際の商品や提案を通して、4つのコン セプトで展示。

- ・やさしさのメッセージ
- 美しさのメッセージ
- 自然へのメッセージ
- ・ニューライフへのメッセージ



International Design Exhibition, Osaka '01

Theme: Intermediation/a message linking generation

Duration: October 20 to 24 2001 (5 days open to public)

Venue : Asia Pacific Trade Center/ATC

Hall(O's Building ,South Wing,B2F) Visitors: 18,931

Contents:

- 1. Exhibition of 38 winning-works and other outstanding works of the 10th international Design Competition.
- 2. Introduction and profiles of one award recipient of the 10th international Design Competition.
- 3. Exhibition of International design Award and Competition Grand-prix winning works of International Design Competition in our history.
- 4. Theme Exhibition Zone

T-shirts Message

A great many messages sent from designers in each field are exhibited through T-shirts as media The visitors to this zone can make T-shirts messages and send his/her dreams to the next generation.

5. International Exchange Exhibition Zone The activities of design promotion bodies in Asian countries and regions conversant with our Foundation are exhibited: Beijing, Hong Kong, Shanghai, India, Korea, Malaysia, the Philippine, Singapore, Taiwan, Thailand and Vietnam.

6. Partcipation Enterprises Zone

"The design mind on the site " is exhibited to

know, through the actual products and proposals, how designs play roles and keep sending messages in the fast -changing environment of market and development while based on the four concepts: "A message friendly to people", "A message of beauty ", "A message friendly to nature" and "A message to new life".

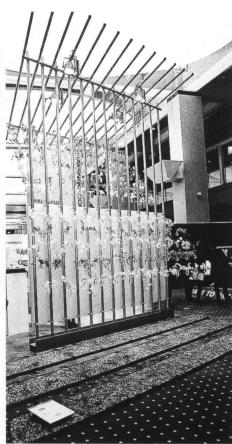












Asia Pacific Design Exchange Program

アジア太平洋デザイン交流事業

アジア太平洋地域の各国・地域とのデザイン分野の交流を通じて、各国・地域の伝統、文化の相互理解とデザイン開発力の向上に寄与することを目的に、「アジア太平洋デザイン交流ミッションの派遣」、「アジア太平洋デザイン交流会議の開催」等を実施しており、「交流会議」は隔年毎に海外開催している。現在アジア10ヵ国・地域に14のカウンターパートを設け、ネットワーク化を図っており、また、1999年からは中南米にもネットワークを拡げ、デザインを通じた交流事業を開始している。

1. カウンターパート

現在、交流を行っている国・地域は次のとおり であり、そのカウンターパートを記す。 (アルファベット順)

アジア地域

China (中国)

- Beijing (北京)
 CHINA INDUSTRY DESIGN ASSOCIATION (CIDA)
- Hong Kong (香港)
 HONG KONG TRADE DEVELOPMENT COUNCIL (HKTDC)
- Shanghai (上海)
 SHANGHAI INDUSTRIAL DESIGN
 PROMOTION CENTRE (SIDPC)

India (インド)

- NATIONAL INSTITUTE OF DESIGN (NID)
- INDIAN INSTITUTE OF INTERIOR DESIGNERS (IIID)

Indonesia (インドネシア)

• INDONESIA DESIGN CENTER (IDC)

Korea (韓国)

 KOREA INSTITUTE OF DESIGN PROMOTION (KIDP)

To promote mutual understanding of Asia Pacific country traditions and cultures, and to contribute to the development of industrial design in these countries through design-related cooperation projects, the Asia Pacific Design Network(APDN) dispatches Asia Pacific design missions; organizes annual Asia Pacific Design Network(APDN); and develops various other activities. The annual Conferences are held in Japan and other Asian countries in turn. Today APDN has networks with 14 counterparts in ten Asian countries; since 1999 it has been expanding its network to Latin American countries, where it has commenced various design-related projects.

1.Counterparts

Asia Region

China

- Beijing CHINA INDUSTRY DESIGN ASSOCIATION (CIDA)
- Hong Kong HONG KONG TRADE DEVELOPMENT COUNCIL (HKTDC)
- Shanghai SHANGHAI INDUSTRIAL DESIGN PROMOTION CENTRE (SIDPC)

India

- NATIONAL INSTITUTE OF DESIGN (NID)
- INDIAN INSTITUTE OF INTERIOR DESIGNERS (IIID)

Indonesia

• INDONESIA DESIGN CENTER (IDC)

Korea

 KOREA INSTITUTE OF DESIGN PROMOTION (KIDP)

Malaysia

• MALAYSIA DESIGN COUNCIL (MDC)

The Philippines

 PRODUCT DEVELOPMENT AND DESIGN CENTER OF THE PHILIPPINES (PDDCP)

Singapore

 MARKETING SERVICES DIVISION, SINGAPORE TRADE DEVELOPMENT

Malaysia (マレーシア)

• MALAYSIA DESIGN COUNCIL (MDC)

The Philippines (フィリピン)

• PRODUCT DEVELOPMENT AND DESIGN CENTER OF THE PHILIPPINES (PDDCP)

Singapore (シンガポール)

• MARKETING SERVICES DIVISION, SINGAPORE TRADE DEVELOPMENT BOARD (STDB)

Taiwan (台湾)

 DESIGN PROMOTION CENTER, CHINA EXTERNAL TRADE DEVELOPMENT COUNCIL (DPC/CETRA)

Thailand (タイ)

- PRODUCT DEVELOPMENT CENTER (PDC),
 DEPARTMENT OF EXPORT PROMOTION,
 MINISTRY OF COMMERCE
- BUREAU OF INDUSTRIAL SECTOR

 DEVELOPMENT, DEPARTMENT OF

 INDUSTRIAL PROMOTION, MINISTRY OF

 INDUSTRY

Vietnam (ベトナム)

• VIETNAM CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY (VCCI)

中南米(現在のところ、カウンターパートは設けていない。)

- ・Chile(チリ)
- Mexico (メキシコ)
- Peru (ペルー)

2. アジア太平洋デザイン交流会議

「交流会議」は、センター設立以降、大阪で毎年開催することとしていたが、1995年の会議にパネラーとして招致した中国工業設計協会の副理事長から中国(北京)での強い開催要請があったことから、当協会フェスティバル開催年は大阪で、非開催年は海外で開催することとし、1996年は中国、1998年はインドネシア、2000年はマレーシアで開催、海外からは好評を博している。

3. デザイン調査研究事業

(1) アジア太平洋地域におけるデザイン総合調査

アジア太平洋各国・地域のデザイン活動の実態 を現地調査を通じて把握することにより、デザイン振興、人材育成等の課題を明確にし、デザイン振興の基盤整備のための協力事業を、相手 国の実情に即して展開できるよう考案、提案している。

デザイン実態調査を実施した国:

1993年:タイ、マレーシア

1994年:インドネシア、フィリピン

1998年:中国

1999年:ベトナム、メキシコ 2000年:インド、ペルー

(2)調査研究事業

アジア各国とのデザインビジネスを活性化することを目的に、併せて、それぞれにおける経済状況、文化・歴史の違いやデザインの理解度や誤解から生じるトラブル等を未然に防止するための一助として「国際デザインビジネス・ガイドライン」(Part 1、Part 2)を作成し、デザイン業、クライアント双方が配慮すべき指針を示すなどの調査研究事業を実施する等、次の調査研究を実施した。「国際デザインビジネスガイドラインの策定調査」「中小デザイン業の国際デザインビジネス活性化方策等に関する調査研究」「デザインを活用した省エネルギー商品事例調査」

「デザインを活用した省エネルギー商品事例調査」 「アセアンデザイン開発可能性調査」

BOARD (STDB)

Taiwan

• DESIGN PROMOTION CENTER, CHINA EXTERNAL TRADE DEVELOPMENT COUNCIL (DPC/CETRA)

Thailand

- PRODUCT DEVELOPMENT CENTER (PDC),
 DEPARTMENT OF EXPORT PROMOTION,
 MINISTRY OF COMMERCE
- BUREAU OF INDUSTRIAL SECTOR DEVELOPMENT, DEPARTMENT OF INDUSTRIAL PROMOTION, MINISTRY OF INDUSTRY

Vietnam

• VIETNAM CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY (VCCI)

Latin America(At present, no counterparts.)

- Chile
- · Mexico
- Peru

2. Asia Pacific Design Conferences

Although the Asia Pacific Design Network originally held annual Asia Pacific Design Conferences in Osaka, in 1995 APDN decided to hold the Conferences alternately in Japan and overseas, at the urging of the Executive Vice

Chairman of China Industry Design Association, who participated in the 1995 Conference as a panelist. He strongly suggested that the next Conference be held in Beijing. Since 1996, therefore, the Conferences are held in Osaka in the years of biennial International Design Festivals, and in overseas countries in other years. Following the first overseas Conference in China in 1996, Indonesia hosted the event in 1998, and Malaysia in 2000. Overseas Conferences have won high acclaim from the parties concerned.

3. Study and Research Projects

(1) Comprehensive Study of Design Activities in the Asia Pacific Region

Fieldwork of design activities in individual Asia Pacific countries is essential to determining problems related to design activities and human resource development in respective countries. APDN conducts fieldwork so as to plan appropriate cooperative projects that meet local needs.

Studied countries of fieldwork

1993: Thailand, Malaysia

1994: Indonesia, The Philippines

1998: China

1999: Vietnam, Mexico 2000: India, Peru

(2) Research Projects

To activate design-related business in Asian countries and prevent conflicts arising from misunderstanding due to differences in economic, cultural, and historical background, APDN has prepared the International Design Business Guidelines (Parts 1, 2), which clarify guiding principles for both designers and clients. To prepare the Guidelines and various design promotion policies, it conducted the following research projects:

"Research project for preparing International Design Business Guidelines"

"Research on policies to promote international design business by vitalizing small and medium design firms"

"Research of energy-efficient product designs"
"ASEAN Design Feasibility Study"

4. Overseas Support Projects

(1) Support of Design Promotion in Developing Countries

To promote recognition of the importance of design in industrial circles in Asian countries, and to improve designer's skills and knowledge levels, APDN holds seminars introducing

4. デザイン振興支援事業

(1) 開発途上国デザイン振興支援事業

アジア各国・地域における産業界のデザイン認 識の向上、デザイン実務者の知識向上などを図 ることを目指して、日本のデザイン政策及びデ ザイン開発事例等をセミナー形式で紹介し、各 国が独自に実施しているデザイン振興策を支 援、援護している。加えて、各国の実情に即し た振興施策に対する助言・指導のために、長 期・短期の専門家(デザイン政策アドバイザー) を派遣する等の協力を行っている。

デザインセミナー等、振興支援を実施した国:

1995年~1997年: タイ、インドネシア、

マレーシア、フィリピン

1998年:タイ、マレーシア、フィリピン、中国

1999年:ベトナム、インドネシア、中国

2000年~2001年:ベトナム、中国

デザイン政策アドバイザー(長期・短期専門家) の派遣等、JICA事業に協力した国、事業:

Japanese design promotion policies and

design development projects. Through

these seminars, it helps Asian countries with

their design promotion policymaking. In

addition, it dispatches experts (advisors on

design policy) short- and long-term to offer

advice and instruction on specific design

promotion policies on the basis of local

1995~1997: Thailand, Indonesia, Malaysia,

The Philippines

1998: Thailand, Malaysia, The Philippines,

Supported countries of fieldwork

1999: Vietnam, Indonesia, China

2000 ~2001: Vietnam, China

長期、短期専門家の派遣

2001年:ベトナム

• 総合開発計画調査

1998年~1999年:インドネシアデザイン振興 計画調査

2000年~2001年: ジョルダン企業経営能力 強化計画調查

5. デザイン人材育成・情報交流事業

(1) 在日デザイン留学生交流事業

海外からのデザイン留学生を対象に、セミナー の実施、デザイン現場の視察などを通じて、日 本のデザイン界の現状への理解を深めてもらう とともに、留学生間の相互交流を増進し、併せ て、当協会とこれらの留学生間の今後のネット ワークづくりを目指した事業を実施している。 また、留学生間のネットワークを図ることを目 的に「留学生通信」を発行した。

在日デザイン留学生交流事業 (4地区で実施)

1994年: 関西地区

1995年: 関西地区、関東地区

1996年~1999年: 関西地区、関東地区、中部地区

九州地区

(2) デザイン情報誌等の発行

アジア各国・地域のデザイン振興機関等とのネ ットワークを活用し、各国のデザイン活動、イ ベント情報、デザインに関する課題や在り方に ついての情報を紹介しあうことを目的に「アジ アデザインニュース|や「世界デザインイベン トカレンダー」を発行している。さらに、アジ アデザインの情報バンクを目ざして、アジア各 国・地域のデザイン関連情報の調査・収集・整 備に努めている。

2000年~2001年: 関西地区、関東地区、中部地区、 1995年~2001年:インドネシア

demand.

China

5. Human Resource Development and Information Services

(1) Support for Overseas Students Studying in Japan

For overseas students studying in Japan, APDN organizes seminars and invites them to design studios, to deepen their understanding of Japan's industrial design circle activities. These opportunities also serve to build networks among overseas students, and between APDN and the students. It also published the newsletter "Ryugakusei Tsushin" for overseas students.

Support projects for overseas students (in four regions)

1994: Kansai region

1995: Kansai and Kanto regions

1996~1999: Kansai, Kanto, and Chubure gions

2000~2001:Kansai, Kanto, Chubu, and

Kyushu regions

Target countries of JICA Program (Dispatch of Design Adviser etc.)

· Dispatch of Adviser, Long-and short-term 1995~2001:Indonesia 2001:Vietnam

· Study on Master Plan for Design Promotion 1998~1999: Study on Master Plan for the Design Promotion in the Republic of Indonesia 2000 ~ 2001: Study on the Strengthening of Enterprises Management Capability in the Hashemite Kingdom of Jordan

(2) Information Services

To exchange information on design activities, events and design-related challenges in various countries, APDN issues Design Network Asia and the Design Events Calendar of the world. It is also committed to collecting and categorizing design-related information through effective use of its networks with design promotion organizations in the Asia Pacific region, the ultimate objective being to develop an Asian design information archive.

環太平洋デザイン交流事業

1990年 環太平洋デザイン交流ミッション派遣 8月28日~9月5日 (Aグループ/マレーシア、フィリピン、タイ) 8月20~26日 (Bグループ/インドネシア、シンガポール) 環太平洋デザイン交流会議'90 10月24~26日 メインテーマ:アジアの主張 基調講演「アジアの美と創造」 矢野 暢氏(京都大学教授・ 東南アジア研究センター所長) プレゼンテーション「各国デザインの

1991年 環太平洋デザイン交流ミッション派遣 5月27日~6月11日 (インドネシア、マレーシア、 フィリピン、シンガポール、タイ) 環太平洋デザイン交流会議91 10月9日~11日

独自性とその主張し

基調講演「アジア―未来への巨大潮流」 吉田直哉氏(武蔵野美術大学教授)

メインテーマ:風は未来へ一アジア・夢・こころ

プレゼンテーション 「アジア・デザインの夢・心」 パネルディスカッション「未来へ・ デザインの新たな源流としてのアジア|

1992年 環太平洋デザイン交流ミッション派遣 2月25日~3月7日 (フィリピン、タイ、マレーシア、 シンガポール、インドネシア)

環太平洋デザイン交流ミッション派遣 6月21日~7月4日 (フィリピン、タイ、マレーシア、

シンガポール、インドネシア) 環太平洋デザイン交流会議92

11月4日~6日

テーマ:環太平洋デザイン・

ネットワークの方向

分科会 I:「教育の交流」

コーディネーター:豊口 協氏

(東京造形大学教授)

分科会Ⅱ:「ビジネス界での人材育成 とデザイン開発」

コーディネーター: 吉川博教氏

(ワイエスデザイン(株)代表取締役) 分科会Ⅲ:「デザイン団体の交流」

コーディネーター:田中稔(当協会専務理事) 全体会議 コーディネーター: 宮崎 清氏

1993年 環太平洋デザイン交流ミッション派遣

7月5日~20日

(千葉大学教授)

(韓国、台湾、香港、中国(北京、上海)) 環太平洋デザイン交流会議'93

①フォーラム/10月13日

テーマ: 「世界のデザインの新しい風

一新世紀に挑むアジア」

コーディネーター:豊口 協氏

(東京造形大学教授)

招待国・地域:韓国、台湾、香港、

日本から5名

②専門家会議 (アジアデザイン・ラウ

ンドテーブル) /10月14日

コーディネーター: 菊地 禮氏

(当協会 前常務理事・事務局長)

招待国・地域:韓国、台湾、香港、日本から5名

1994年 環太平洋デザイン交流ミッション派遣

2月20日~3月5日

(韓国 (大田、ソウル)、台湾、香港、 中国 (広州、北京))

PAN-PACIFIC DESIGN EXCHANGE PROGRAM

1990 PAN-PACIFIC DESIG EXCHANGE MISSION

Aug. 28~Sept. 5

(A Group - MALAYSIA, THE PHILIPPINES, THAILAND) Aug. 20~Aug. 26 (B Group-INDONESIA, SINGAPORE) PAN-PACIFIC DESIGN FORUM '90 Oct. 24~Oct. 26 Main Theme: ASIA'S IDENTITY Keynote Speech: AESTHETICISM AND CREATIVITY OF ASIA by Mr. Toru Yano (Prof., Kyoto Univ.& Director of the Center for Southeast-Asian Studies) Presentation: Originality & Identity of Design in each country

1991 PAN-PACIFIC DESIGN EXCHANGE MISSION

May 27~June 11 (INDONESIA, MALAYSIA, THE PHILIPPINES, SINGAPORE, THAILAND) PAN-PACIFIC DESIGN FORUM '91 Oct. 9~Oct. 11 Main Theme: WINDS TO THE FUTURE -ASIA'S DREAMS & HEARTS

Keynote Speech: MEGATREND FOR THE FUTURE by Mr. Naoya Yosida (Prof., Musashino Art Univ.) Presentation: [Asia's Dreams & Hearts of Design] Panel Discussion: \[\text{Asia as a New} \] Source of Design toward the Future

1992 PAN-PACIFIC DESIGN EXCHANGE MISSION

Feb. 25~March 7 (THE PHILIPPINES, THAILAND, MALAYSIA, SINGAPORE, INDONESIA) **EXCHANGE MISSION** June 21~July 4 (THE PHILIPPINES, THAILAND, MALAYSIA, SINGAPORE, INDONESIA) PAN-PACIFIC DESIGN FORUM '92 Nov. 4~Nov. 6 Theme: DIRECTION OF PAN-

PACIFIC DESIGN NETWORK

Session I: Exchange of Education Coordinator: Mr. Kyo Toyoguchi (Prof., Tokyo Univ.of Art & Design) Session II: Talent Upbringing & Design Development in Business World Coordinator: Mr.Hironori Yoshikawa (Managing Director, YS Design Co., Ltd.) Session III: Exchange in Design Organizations Coordinator: Minoru Tanaka (Executive Director, JDF) Plenary Session

Coordinator: Mr.Kiyoshi Miyazaki (Prof., Chiba Univ.)

1993 PAN-PACIFIC DESIGN EXCHANGE MISSION

July 5~July 20 (KOREA, TAIWAN, HONGKONG, CHINA (BEIJING, SHANGHAI)) PAN-PACIFIC DESIGN FORUM '93 ①FORUM

Oct. 3

Theme: New Wind of World Design -Asia challenging New Century Coordinator: Mr. Kyo Toyoguchi (Prof., Tokyo Univ. of Art & Design) Invited Countries & Regions: 5 members from Korea, Taiwan, Hong Kong and Japan **②FORUM by SPECIALISTS (ASIA** DESIGN ROUND TABLE) Oct. 14

Coordinator: Mr. Rei Kikuchi (Former Managing Director, JDF) Invited Countries & Regions: 5 members from Korea, Taiwan, Hong Kong and Japan

1994 PAN-PACIFIC DESIGN EXCHANGE MISSION

Feb. 20~March 5 (KOREA (TAEJON, SEOUL) TAIWAN, HONGKONG, CHINA (GUANGZHOU, BEIJING))

アジア太平洋デザイン交流事業 実施状況

1.アジア太平洋デザイン交流ミッションの派遣事業 1994年

期 間 1994年7月30日~8月13日

中国(北京、上海)、香港、台湾(台北)、韓国(ソウル) 派遣先 派遣者 井口博美氏 ((株)イードディレクター) 越田英喜氏 ((株)コシダアート代表取締役) 嶽釜輝夫(当協会理事・アジア太平洋 デザイン交流センター所長) 山岸隆男 (当協会調査役)

セミナーの開催(北京、上海)

テーマ 「地方行政体のデザイン戦略」

(講師:越田英喜氏)

旧本のデザイン事情/昨日、今日、明日」

(講師:井口博美氏)

「日本におけるデザイン振興の仕組み」

(講師:嶽釜輝夫)



Asia Pacific Design Exchange Program

1. Asia Pacific Design Missions

1994 Dates: Jul. 30 through Aug. 13

Countries: China (Beijing, Shanghai), Hong Kong, Taiwan (Taipei), Korea (Seoul)

Members: Mr. Hiromi Inokuchi (Director, IID Inc.) Mr. Hideki Koshida (Koshida Art Co., Ltd.) Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation /Head, Asia Pacific Design Network, JDF)

> Takao Yamagishi (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

Seminar: Beijing, Shanghai

Theme: The design strategy of local administration

governments'

(Instructor: Mr. Hideki Koshida) 'A design situation of Japan/ Yesterday, Today, Tomorrow'

(Instructor: Mr. Hiromi Inoguchi) 'Structure of the design promotion in Japan'

(Instructor: Teruo Takegama)

1995 Dates:Feb. 8 through 17

Countries: China (Shanghai), Hong Kong, Taiwan (Taipei), Korea (Seoul)

Members: Masakazu Tatsumi (Secretary General, Executive Director, JDF)

1995年

1995年2月8日~17日

派遣先 中国 (上海)、香港、台湾 (台北)、 韓国 (ソウル)

巽 正和(当協会常務理事·事務局長) 派遣者 中浜素直(当協会調査役·総務課長)

セミナーの開催 (上海)

テーマ 「CIと新製品開発」 (講師:巽 正和)

1995年7月2日~15日 間

派遣先 中国(北京)香港、台湾(台北)、 韓国(ソウル)

派遣者 山内陸平氏 (京都工芸繊維大学教授) 井上斌策氏 ((株)トータル・デザイン・ システム代表取締役)

> 嶽釜輝夫(当協会理事・アジア太平洋 デザイン交流センター所長)

中島 巌(当協会調査役)

1996年

期間 1996年2月26日~3月9日



Sunao Nakahama(Senior Manager, General Affairs Department, JDF)

Seminar: Shanghai

'CI and New Product Development' Theme: (Instructor: Masakazu Tatsumi)

1995 Dates: Jul. 2 through 15

Countries: China (Beijing), Hong Kong, Taiwan (Taipei), Korea (Seoul)

Members: Mr. Rikuhei Yamauchi (Professor, Kyoto Institute of Technology)

Mr. Shinsaku Inoue (President, Total

Design System CO., Ltd.)

Teruo Takegama(Director, Japan Design Foundation / Head, Asia Pacific Design Network, JDF)

Iwao Nagajima (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1996 Dates: Feb. 26 through Mar. 9

Countries: China (Beijing), Hong Kong Members: Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation / Head, Asia Pacific Design Network, JDF) Iwao Nagajima (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1996 Dates: Aug. 4 through 14

Countries: India, Vietnam

Members: Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation / Head, Asia Pacific 派遣先 中国(北京)、香港

嶽釜輝夫(当協会理事・アジア太平洋 派遣者

デザイン交流センター所長) 中島 巌(当協会調査役)

期間 1996年8月4日~14日

インド、ベトナム 派遣先

嶽釜輝夫 (当協会理事・アジア太平洋 派遣者

> デザイン交流センター所長) 横山則夫 (当協会調査役)

1997年

1997年2月9日~21日 期間

派遣先 インド、ベトナム

近藤秀雄氏 (トヨタ自動車(株) 派遣者

第3企画部デザイン室長)

字野 明氏 (山本工学(株)企画部長)

横山則夫 (当協会調査役)

期間 1997年6月9日~19日

香港、シンガポール、台湾(北京)、韓国 派遣先

嶽釜輝夫 (当協会理事・アジア太平洋 派遣者



Design Network, JDF) Norio Yokoyama (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1997 Dates: Feb. 9 through 21

Countries: India, Vietnam

Members: Mr. Hideo Kondo (Dept. Planning Div. No.3, Development Center, Toyota motor Corporation Design)

Mr. Akira Uno (Merchandise Planning Department General Manager, Yamamoto Kogaku Co., Ltd.)

Norio Yokoyama (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1997 Dates: Jun. 9 through 19

Countries: Hong Kong, Singapore, Taiwan (Taipei), Korea

Members:Teruo Takegama (Director, Japan



池田豊隆 (当協会主任調査役)

1998年

期 間 1998年2月22日~3月9日

派遣先 インド、ベトナム

派遣者 井上経倫氏 (象印マホービン(株)

デザイン室長)

木村一隆氏((株)本田技術研究所朝霞

研究所アシスタントチーフ)

寺崎英雄(当協会主任調査役)

期 間 1998年11月1日~13日

派遣先 インド、ベトナム

派遣者 嶽釜輝夫 (当協会理事・アジア太平洋 デザイン交流センター所長)

寺崎英雄(当協会主任調査役)

1999年

期 間 1999年1月24日~31日

派遣先 ベトナム

派遣者 今竹 翠氏 ((株)今竹代表取締役)

三木 茂氏 (日産自動車(株)テクニカルセンターデザイン本部主管)



Design Foundation / Head, Asia Pacific Design Network, JDF) Toyotaka Ikeda (Senior Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1998 Dates: Feb. 22 through Mar. 9

Countries: India, Vietnam

Members: Tsunemichi Inoue (General Manager,

Design Department, ZOJIRUSHI

Corporation)

Mr. Kazutaka Kimura (Assistant Chief, Asaka R&D Center, Honda R&D Co.,Ltd.) Hideo Terasaki (Senior Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1998 Dates: Nov. 1 through 13

Countries: India, Vietnam

Members: Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation/Head, Asia Pacific



水戸部洋一(当協会国際事業部長・アジア 太平洋デザイン交流センター次長) 寺崎英雄(当協会主任調査役)

期 間 1999年6月6日~18日

派遣先 インド、マレーシア、中国(北京)、

台湾(台北)

派遣者 嶽釜輝夫(当協会理事・アジア太平洋

デザイン交流センター所長) 池田豊隆(当協会主任調査役)

期 間 1999年7月10日~31日

派遣先メキシコ、ペルー、チリ

派遣者 嶽釜輝夫 (当協会理事・アジア太平洋 デザイン交流センター所長)

長谷川元宏 (当協会主任調査役)

2000年

期 間 2000年6月4日~16日

派遣先 マレーシア、シンガポール、タイ、

インドネシア、フィリピン、香港、韓国

派遣者 嶽釜輝夫(当協会理事・アジア太平洋 デザイン交流センター所長)



Design Network, JDF) Hideo Terasaki (Senior Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1999 Dates: Jan. 24 through 31

Country: Vietnam

Members: Ms. Midori Imatake (President, Osaka

Prefectural Government's Osaka Industrial

Design Institute)
Mr. Shigeru Miki (General Manager,
Design Division, Nissan Motor Co., Ltd.)
Yoichi Mitobe (General Manager, JDF's
International Project Department,
concurrently General Councillor of the
Asia Pacific Design Network)
Hideo Terasaki (Senior Manager, Asia

Pacific Design Network, JDF)

1999 Dates: Jun. 6 through 18

Countries: India, Malaysia, China (Beijing),

Taiwan (Taipei)

Members: Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation / Head, Asia Pacific Design Network, JDF) Toyotaka Ikeda (Senior Manager, Asia

Pacific Design Network, JDF)

1999 Dates: Jul. 10 through 31

Countries: Mexico, Peru, Chile

Members: Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation / Head, Asia Pacific 池田豊隆 (当協会主任調查役)

期 間 2000年9月9日~30日

派遣先 チリ、メキシコ、ペルー

派遣者 高橋利子氏(オフィス ティールーム

主宰)

長谷川元宏 (当協会主任調査役)

2001年

期 間 2001年6月24日~7月7日

派遣先韓国、中国(上海)、台湾(台北)、

フィリピン、タイ

派遣者 嶽釜輝夫 (当協会理事・アジア太平洋

デザイン交流センター所長)

池田豊隆 (当協会主任調査役)



Design Network, JDF) Yoshihiro Takegama (Senior Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

2000 Dates: Jun. 4 through 16

Countries: Malaysia, Singapore, Thailand, Indonesia, The Philippines, Hong Kong, Korea

Members: Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation / Head, Asia Pacific Design Network, JDF)

Toyotaka Ikeda (Senior Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

2000 Dates: Sep. 9 through 30

Countries: Chile, Mexico, Peru

Members: Ms. Toshiko Takahashi (Office T Room) Yoshihiro Hasegawa (Senior Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

2001 Dates: Jun. 24 through Jul. 7

Countries: Korea, China (Shanghai), Taiwan (Taipei), The Philippines, Thailand

Members: Teruo Takegama (Director, Japan Design Foundation / Head, Asia Pacific Design Network, JDF) Toyotaka Ikeda (Senior Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

2.アジア太平洋デザイン交流会議の開催

1994年 アジア太平洋デザイン交流会議'94

期 日 1994年11月7日·8日

会 場 三井アーバンホテル、梅田スカイビル タワーウエスト

主 催 日本貿易振興会、当協会

テーマ プログラムA:「祝い事に見られる生

活文化

プログラムB: 「地域産業におけるデ

ザイン導入事例紹介」

コーディネーター: 山内陸平氏

(京都工芸繊維大学教授)

招聘国・地域:中国(上海)、台湾、香港、 韓国、日本から9名

1995年 アジア太平洋デザイン交流会議 '95

期 日 1995年10月9日·11日

会 場 アジア太平洋トレードセンターコンベ ンションルームほか

主 催 日本貿易振興会、当協会



2. Asia Pacific Design Conferences

1994 Asia Pacific Design Conference '94 Dates:Nov. 7 through 8

Venue:Mitsui Urban Hotel Osaka Bay Tower Umeda Sky Building, Tower West

Organizer: JETRO, JDF

Theme:Program A 'Living culture as seen through festivities'

Program B 'Roles of design for the promotion of local industries'

Coordinator:Mr.Rikuhei Yamauchi

(Professor, Kyoto Institute of Technology)

Invited country (region): 5 persons (China (Shanghai), Taiwan, Hong Kong, Korea, Japan)

1995 Asia Pacific Design Conference '95

Dates:Oct. 9 through 11

Venue: Asia and Pacific Trade Center (ATC) Organizer: JETRO, JDF

Theme:Program A 'Ecology and Design' Coordinator:Mr.You Tanaka (Dean, Industrial

Design Department, Kobe design University Director, Design research institute, Doctor of Engineering)

Theme:Program B 'Present State and Outlook

テーマ プログラムA:「エコロジーとデザイン」 コーディネーター:田中 央氏(神戸芸術工科大学

工業デザイン学科 学科長・教授)

テーマ プログラムB:「アジア地域における 国際デザインビジネスの現状と展望」 --アジア各国の国を越えた国際デザイ ンビジネスの現状を紹介する--

コーディネーター:越田英喜氏

((株)コシダアート代表取締役)

招聘国・地域:中国(北京・上海)、香港、 台湾、韓国、日本から7名

1996年 アジア太平洋デザイン交流会議 96北京

期 日 1996年11月22日·23日

会 場 北京国際会議センター

主 催 中国工業設計協会、日本貿易振興会、当協会

テーマ 「21世紀へのデザインと企業」

プログラムA: 「アジアの国と地域への工業デ ザインの振興 |

プログラムB:「21世紀へのデザインと企業」



of International Design Business in the Asia Pacific Region'

Coordinator: Mr. Hideki Koshida (President, Osaka Design Office Union, President, Koshida Art Co., Ltd.)

Invited country (region): 7 persons (China (Beijing, Shanghai), Hong Kong, Taiwan, Korea, Japan)

1996 The Asia Pacific Design Conference '96 in Beijing

Dates: Nov. 22 through 23

Venue: Beijing International Conference Center Organizer: China Design Association (CIDA), JETRO, JDF

Theme: 'Transcentury Design and Enterprises'

Program A 'Development of Industrial Design in Asia and Pacific Countries and Areas'

Program B 'Transcentury Design and Enterprises'

Invited country (region): 13 persons (Singapore, Hong Kong, Taiwan, Korea, Japan, China)

1997 Asia Pacific Design Conference '97

Dates: Oct. 6 through 7

Venue: Asia and Pacific Trade Center (ATC)

招聘国・地域:シンガポール、香港、台湾、 韓国、日本、中国から13名

1997年 アジア太平洋デザイン交流会議'97

期 日 1997年10月6日・7日

会 場 アジア太平洋トレードセンター会議室

主 催 日本貿易振興会、当協会

テーマ 「アジア・デザインの調和ある飛躍に向けて」

プログラムA:「デザインの国際性と地域性」 プログラムB:「香港・台湾の最新デザイン事情

コーディネーター:深川 千夏子氏

(「AXIS」編集部編集長)

招聘国・地域:香港、韓国、シンガポール、 台湾、日本から7名

1998年 アジア太平洋デザイン交流会議'98 インドネシア

期 日 1998年10月29日·30日

会 場 ジャカルタ・デザインセンター

主 催 インドネシア・デザインセンター(PDN)



Organizer: JETRO, JDF

Theme: 'The goal of a harmonious growth in the Asian Design'

Program A 'Global and Regional Aspects of Design'
Program B 'The latest Design Affairs in Hong
Kong & Taiwan'

Coordinator: Ms. Chikako Fukagawa (Editor in Chief, AXIS Publishing Inc.)

Invited country (region): 7 persons (Hong Kong, Korea, Singapore, Taiwan, Japan)

1998 Asia Pacific Design Conference' 98

Dates: Oct. 29 through 30

Venue: Jakarta Design Center, Jakarta, Indonesia Organizer:Indonesia Design Center (PDN), JETRO, JDF Theme: 'Design and Regional Society in the



日本貿易振興会、当協会

テーマ 「21世紀の地域社会とデザイン」

プログラムA:「地場産業におけるデザイン活 用事例 |

プログラムB: 「21世紀の地域社会とデザイン」 コーディネーター: イスカンダー・アリスヤバナ氏 (バンドン工科大学学長)

招聘国・地域:インドネシア、マレーシア、 タイ、台湾、日本から6名

1999年 アジア太平洋デザイン交流会議'99大阪

期 日 1999年10月12日·13日

会場 アジア太平洋トレードセンター ATCホール (Dホール)

主 催 日本貿易振興会、当協会

テーマ 21世紀にむけた「新たなデザイン活動の創出」

プログラムA: 「情報関連技術とデザインのかかわり」

プログラムB: 「環境問題の解決とデザインの かかわり |



21st Century'

Program A 'Design Application examples of Regional Industries'

Program B 'Design and Regional Society in the 21st Century'

Coordinator: Mr. Iskander Alisyahbana (Professor, Institute Technology of Bandung)

Invited country (region): 6 persons (Indonesia, Malaysia, Thailand, Taiwan, Japan)

1999 Asia Pacific Design Conference '99 Osaka

Dates: Oct. 12 through 13

Venue: Asia and Pacific Trade Center (ATC)

Organizer: JETRO, JDF

Theme: 'New dimensions of design in the 21st century'



会議モデレーター:吉田順一氏(神戸大学大学院教授) 招聘国・地域:中国、インド、マレーシア、 台湾、日本から6名

2000年 アジア太平洋デザイン交流会議2000 マレーシア

期 日 2000年10月10日·11日

会 場 アジア太平洋トレードセンター ATCホール (Dホール)

主 催 マレーシアデザインカウンシル(MDC)、 日本貿易振興会、当協会

テーマ 21世紀のアジア その共通感覚とデザイン プログラムA:「生活文化と技術/デザイン」

一現代の日常生活に於ける商品開発事例プログラムB:「生活文化とデザインビジネス」一21世紀に於けるデザインマインドと国際/

地域ビジネス―会議モデレーター:ムハマド・タミエツ・ハジ・

バジュリ氏(NARA工科大学教授) 招聘国・地域:タイ、フィリピン、マレーシア、



Program A 'Information technology and the role of design'

Program B 'What design can do to solve environmental issues'

Conference Moderator: Junichi Yoshida (Professor,

School of business Administration, Kobe University)

Invited country (region): 6 persons (China, India, Malaysia, Taiwan, Japan)

2000 Asia Pacific Design Conference 2000 Malaysia

Dates: Oct. 10 through 11

Venue: PUTRA World Trade Center (PWTC), Kuala Lumpur

Organizer: Malaysia Design Council(MDC), JETRO, JDF

Theme: 'Asian Design Consciousness in the 21st Century'

Program A 'Popular Culture, Technology and Design'

ProgramB 'Popular Culture and the Design Business' Conference Moderator: Dr. Zulkifli Awang

(Associate Professor, Faculty of Industrial Design, University Technology of Malaysia)

Invited country (region): 8 persons (Thailand,

インドネシア、香港、韓国、 シンガポール、日本から8名

2001年 アジア太平洋デザイン交流会議2001 大阪

期 日 2001年10月22日·23日

会 場 アジア太平洋トレードセンター ATCホール (Dホール)

主 催 日本貿易振興会、当協会

テーマ 「アジアデザインの存在意識|

プログラムA:「自然と地場産業の共生」

一新しい地場ブランド商品と環境共生型産業― プログラムB:「世界市場とデザインの資源」

一デザインフロンティアと環境循環型産業ー会議モデレーター:池上俊郎氏(京都市立芸術

大学教授)

招聘国・地域:中国(上海)、台湾、韓国、 フィリピン、タイ、日本から7名



The Philippines, Malaysia, Indonesia, Hong Kong, Korea, Singapore, Japan)

2001 Asia Pacific Design Conference 2001 Osaka

Dates: Oct. 22 through 23

Venue: Asia and Pacific Trade Center (ATC)

Organizer: JETRO, JDF

Theme: 'Rationale Behind Asian Design'

Program A 'Harmony between Nature and Local Industry'

- New Wave of Local-Branded Products and Green Industries -

Program B 'Global Markets and Design Resources'

- Design Frontiers and

Recycling- Oriented Economies -

Conference Moderator: Mr. Toshiroh Ikegami (Professor, Environmental Design, Kyoto City University of Arts, Architect,

Vice Chairman, NPO Ecodesign Network) Invited country (region):7 persons (China (Shanghai), Taiwan, Korea, The Philippines, Thailand, Japan)

3.デザイン振興支援事業

1993年 マレーシア・デザインフェア

①展示会

会場 パンパシフィックホテル (クアラルンプール) 別館 リック

 $A \cdot B$

内 容 第6回国際デザイン・コンペティション 入賞・優秀作品 (26点ほか)

②デザイン団体との懇談会

会場 同ホテル

テーマ 「日本のインダストリアルデザインの 経験と現状、抱える課題 |

講 師 菊地 禮(当協会常務理事·事務局長)

1994年 対象国 マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン

マレーシア

会場 クラウン・プリンセス・ホテル (クアラルンプール) 々 ィ

会場 トレード・トレーニングセンター(バンコク)

(1995年) インドネシア

会場 インドネシア・協同組合・中小企業省 講堂 (ジャカルタ)

フィリピン

内 容 ①セミナー (全対象国)

テーマ「日本における産業とデザイン」

(産業を育てるデザインの役割)

講 師:林 銃平氏(当協会調査役)

「日本のデザイン行政」

(その歴史と実績、現状)

「Gマークというシステム」

(制度の歴史、意義、及び業績)

講 師:青木史郎氏((財) 日本産業デザイン 振興会プロジェクト推進部長)

講師:水戸部洋一(当協会国際事業部長・ アジア太平洋デザイン交流センター次長)

講 師:高橋英男氏((財)日本産業デザイン 振興会事務局長)

「Gマークと中小企業」(中小企業のデザインへの取組み)

講師:滝川益彦氏((株)アルスコーポレーション 専務取締役)

講師:大泉一之助氏((株)大泉物産専務取締役) ②専門会議

テーマ「Gマークの運用法と具体的内容」 (プレゼンテーションとQ&A) 「インドネシアにおけるデザイン振興の 取組みとその方向について」(意見交換) 「フィリピンにおけるGマーク制度実施 に関するQ&A」

1995年 対象国 インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ

インドネシア

会場 インドネシア教育文化省展示場·会議室内容 ①セミナー

テーマ「伝統産業品の商品開発とその事例紹介」

講 師:和田伊三郎氏(有限会社江南代表取締役)

講師:友田謙二氏(トップ製菓(株)代表取締役) 「中小企業経営とデザイン戦略」

講 師:水戸部洋一(当協会国際事業部長・ アジア太平洋デザイン交流センター次長)

マレーシア

内 容 ①セミナー

テーマ「伝統産業品の商品開発とその事例紹介」



3. Design Promotion Cooperation Programs

1993 The Japan Design Foundation Exhibition '93 Kuala Lumpur

1 Exhibition

Venue: Pan Pacific Hotel, Kuala Lumpur, Bunga Room, Anggerik A/B

Contents: Exhibition of Prize-Winning Works and other Excellent Works from the 6th International Design Competition, Osaka '93

2Dialogue with Malaysian Designers

Venue: Pan Pacific Hotel, Kuala Lumpur, Bunga Room, Anggerik A/B

Theme: Industrial Design in Japan

Lecturer: Ray Kikuchi

(Managing Director and Executive Secretary of Japan Design Foundation)

1994 Country: Malaysia, Thailand, Indonesia, The Philippines

Malaysia

Venue: Crown Princess Hotel

Thailand

Venue: Philippines Trade Training Center

(1995) Indonesia

Venue: Ministry of Co-operatives and Small and Medium enterprises (MOC & SMEs)

The Philippines

Contents: ① Seminar (Every Country)

Theme: 'Industry and design in Japan-The role of design in developing industry'

Instructor:Mr. Juhei Hayashi (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

'Design administration in Japan - Its history, accomplishments, and present'

'The role of the G-Mark system - Its history, significance, and achievements'

Instructor:Mr.Shiro Aoki (Japan Industrial Design Promotion Organization)

Yoichi Mitobe(General Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

Mr. Hideo Takahashi(Japan Industrial Design Promotion Organization)

'G-Mark system and small and medium-sized enterprises - Design efforts by small and medium-sized enterprises'

Mr. Masuhiko Takigawa(Senior Executive Director, ARS Corporation) Mr. Kazunosuke Ohizumi (Ohizumi Bussan Co., Ltd.)

2 Specialized Conferences

'Application of the G-Mark system and its specific contents -Presentation and Q&A session' 'Policy and Activities on Design Promotion and its Direction in Indonesia'

'Q&A about the introduction of G-Mark system into the Philippines'

1995 Country: Indonesia, Malaysia,

The Philippines, Thailand, Indonesia

Venue: Department of Education and Culture,

① Seminar

Theme: 'A Brief Introduction to Japanese
Traditional Crafts and Their Development'

Instructor: Mr. Isaburo Wada (President, Enami Co., Ltd)

Theme:'Development of Products Showing Medium and Small Size Manufacturers Identity'

Instructor: Mr. Kenji Tomoda (President, Top Seika Co., Ltd)

Theme: 'Corporate management and Design
Strategy (How to use design as a
business asset, and get results there)'
Instructor: Yoichi Mitobe (General Manager,
Asia Pacific Design Network, JDF)

Malaysia

Venue: Malaysia Design Council

1 Seminar

Theme: 'Traditional design and new interior decorations'

decorations'
Instructor:Mr.Kazunari Ozeki(President, Kashiwaya)

Theme: Product development which draws from specialties of small-size enterprises, and examples cases'

I

7

I

Instructor:Mr. Masaaki Kouga(President, C & C Ltd.) Theme:'Corporate management and design,

講 師:尾関和成氏

(有限会社柏弥紙店代表取締役)

「中小企業の特質を生かした商品開発とその事 例紹介」

講 師:甲賀雅章氏

((株)シーアンドシー代表取締役)

「中小企業経営とデザイン戦略|

講 師:林 銃兵(当協会調査役)

(1996年) フィリピン

会 場 フィリピン貿易研修センターセミナー室 内 容 ①セミナー

テーマ「伝統産業品の商品開発とその事例紹介」 講 師:大滝国義氏(株)紙ING代表取締役) 「中小企業の特質を生かした商品開発とその事

例紹介」 講師:滝川益彦氏((株)アルスコーポレーション

専務取締役) 「中小企業経営とデザイン戦略」

講師:林 銃兵(当協会調査役)

尾関・甲賀講師の企業の代表的な製品等を参考 品として展示。

タイ

会場 日航ハマナコーンホテル/バンコックホリ デーイン・グリーンヒルホテル/チェンマイ

内 容 ①セミナー

テーマ「伝統産業品の商品開発とその事例紹介」

講 師:高野忠男氏((株)高野竹工代表取締役) 中小企業の特質を生かした商品開発とその事例紹介

講 師:水野一男氏

(有限会社木文化研究所代表取締役)

「中小企業経営とデザイン戦略」

講 師:林 銃兵(当協会調查役)

1996年 対象国 タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア

内 容 ①デザインセミナー

(日本のGマーク制度について等)

②ワークショップ(商品改善指導、パッケージング開発指導、市場調査・分析手法指導

9 1

講 師 馬場 了氏 ((株)クルー代表取締役) 上村正人氏 (カミムラ構成デザイン室代表)

インドネシア

講 師 奥村昭夫氏 ((株) パッケージングクリ エイト代表取締役) 今北紘一氏 (有限会社今北デザイン 研究所代表取締役)

(1997年) フィリピン

講師 糠沢ジョセフ氏 (インターナショナル

工業デザイン相談役)

沼野正文氏(シャープ(株)デザイン部副参事) マレーシア

講師 佐藤圭司氏(トヨタ自動車(株)デザイン 部カラー計画グループ課長) 藤井裕三氏(松下電器産業(株) テレビ事業部デザイン部意匠技師)

1997年 セミナーワークショップ等

対象国 インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

内容 ①デザイン、レクチャー、セミナー (日本における売れ筋商品の動向等)

②ワークショップ (デザイン・プロセスと商品 改善、パッケージング開発指導、市場 調査分析、材料加工技術紹介等)

インドネシア

講師 山村真一氏((株) コボデザイン代表取締役) 一ワークショップ 金野隼人氏((株) 大丸業務企画推進室 専門部長) —セミナー

タイ

講師 金野隼人氏 ((株) 大丸業務企画推進室 専門部長) ―セミナー 饒平名克郎氏 (Y工房代表) ―レクチャー

(1998年) フィリピン

and design management'
Instructor: Mr. Juhei Hayashi (Manager, Asia
Pacific Design Network, JDF)

(1996) The Philippines

Venue: Philippines Trade Training Center

① Seminar

Theme: Product development for traditional industrial products, and example cases'

Instructor:Mr. Kuniyoshi Otaki (President, Kami-ING Co., Ltd.)

Theme: Product development which draws from specialties of small-size enterprises'

Instructor:Mr. Masuhiko Takigawa (Senior Executive Director, ARS Corporation)

Theme: 'Corporate management and design, and design management'

Instructor:Mr. Juhei Hayashi (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

Thailand

Venue:Nikko Hamanakorn Hotel / Bangkok Holiday in Green Hill Hotel / Chenmai

① Seminar

Theme: Product development for traditional industrial products, and example cases'

Instructor:Mr.Tadao Takano(Takano Co., Ltd.)

Theme: 'Product development by effective use of material characteristics and introduction of such case'

Instructor:Mr. Kazuo Mizuno (President,

Wooden Culture Research Institute)

Theme: 'Corporate management and design, and design management'

Instructor:Mr. Juhei Hayashi (Manager, Asia Pacific Design Network, JDF)

1996 Country: Thailand, Indonesia, The Philippines, Malaysia

Contents:

- (1) Design Seminar (G-Mark System of Japan)
- ② Workshop (Design Process and Product Improvement, Package Design for Small Enterprise, Market Research Analysis)

Thailand

Instructor:Mr.Satoru Baba(President, Crew Inc.) Mr.Masato Kamimura (President, Kamimura Art and Design)

Indonesia

Instructor:Mr. Akio Okumura (President,
Packaging Create Co., Ltd.)
Mr. Koichi Imakita (President,
Imakita Design Research Co., Ltd.)

(1997) The Philippines

Instructor:Mr. Joseph J. Nukazawa
(Counselor, International Industrial
Design, Inc.)
Mr. Masafumi Numano (Manager,
Corporate Design Center, Sharp Corp.)
Malaysia

Instructor:Mr. Keiji Sato (Manager, Color Planning Group, Design Department, Toyota Motor Corp.) Mr. Yuzo Fujii (Designer, Design Department, Television Division, Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.)

1997 Seminar, Workshop etc. Country:Indonesia, Thailand, The Philippines, Malaysia

Contents: ① Design Lecture, Seminar (Trends in Popular Products in Japan)

② Workshop (Design Process and Product Improvement, Package Design for Small Enterprise, Market Research Analysis, Material Processing Techniques)

Indonesia

Instructor:Mr. Shinichi Yamamura (President, Cobo Design) - Workshop



講師 佐藤宰治氏(三洋電機株総合デザイン部マネージャー) ―レクチャー藤井裕三氏(松下電器産業(株)総合デザインセンター意匠技師) ―レクチャー

マレーシア

講師 伊丹由和氏 ((株) ヒューマンコード・ ジャパン代表取締役) ―レクチャー

1998年 対象国 マレーシア、中国、 フィリピン、タイ

内 容 ①デザイン、レクチャー、セミナー マレーシア

講師 花田 眞氏 ((株) 大丸本社MD企画部 専門課長) ―セミナー

中国

講師 田中義信氏((財)日本産業デザイン振興会事業部長)一セミナー 久保雅義氏(松下電器産業(株)総合デ ザインセンターリーダー)一セミナー

(1999年) フィリピン



Mr. Hayato Kinno (Technical Manager, Design Office, The Daimaru Inc.) - Seminar

Thailand

Instructor:Mr.Hayato Kinno(Technical Manager,
Design Office, The Daimaru Inc.)
- Seminar
Mr.Katsuro Yohena (President,
Y Kobo) - Lecture

(1998) The Philippines

Instructor:Mr. Saiji Sato (Manager, Design Administration Group, Corporate Design Coordination Department, Sanyo Electric Co., Ltd.)-Lecture Mr. Yuzo Fujii (Designer, Corporate Design Center, Planning Department, Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.) - Lecture

Malaysia

Instructor:Mr. Yoshikazu Itami (President, Human Code Japan Ltd.)- Lecture

1998 Country: Malaysia, China, The Philippines, Thailand

Contents: ① Design Lecture, Seminar Malaysia

Instructor:Mr.Makoto Hanada (Deputy Technical Manager, Merchandising Planning Office,The Daimaru, Inc.)-Seminar 講師 南部哲宏氏 ((株)博報堂生活総合研究 所研究員) ―レクチャー 舟橋辰朗氏 ((株)南部デザイン研究所 取締役社長) ―レクチャー

タイ

講師 榊原 晏氏(株)NECデザイン代表取締役) 伊藤晴彦氏(株)ATデザイン取締役社長)

1999年 対象国 ベトナム、中国、インドネシア 内 容 ①デザインセミナー

ベトナム

講師 馬場 了氏(株)クレー代表取締役社長) 水戸部洋一(当協会国際事業部長・ アジア太平洋デザイン交流センター次長)

中 国 (上海・北京)

講 師 田中義信氏((財))日本産業デザイン 振興会事業部長) 竹綱章浩氏(コクヨ(株)企画部長・ オフィス研究所長)

インドネシア



China

Instructor:Mr. Yoshinobu Tanaka (Promotion Division General Manager,
Japan Industrial Design Promotion Organization) - Seminar
Mr.Masayoshi Kubo (Planning Department Manager, Corporate Design Center, Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.) - Seminar

(1999) The Philippines

Instructor:Mr. Tetsuhiro Nambu (Researcher, Hakuhodo Institute of Life and Living) - Lecture Mr.Tatsuro Funahashi (President, Chubu Design Research Institute)Lecture

Thailand

Instructor:Mr. Yasushi Sakakibara (Chief Creative Officer, NEC Design, Ltd.) Mr. Haruhiko Ito (President, AT Design Co., Ltd.)

1999 Country: Vietnam, China, Indonesia Contents: ① Design Seminar

Vietnam

Instructor:Mr. Satoru Baba (President, CREW Corporation)
Yoichi Mitobe (General Manager,
Asia Pacific Design Network, JDF)

China (Shanghai · Beijing)

講師 荻野克彦氏(荻野克彦デザイン事務所代表)

2000年 対象国 ベトナム、中国

内 容 ①デザインセミナー

ベトナム (ハノイ・ホーチミン)

講 師 矢口忠博氏 ((株)本田技術研究所 朝霞東研究所 設計ブロック デザインマネージャー) 澤田 均氏 ((株)デザインオペレーション 21第1デザイン部長)

中 国 (上海・廣州)

講師 松本 有氏(フォルムデザイン有限会社 代表取締役) 円谷和之氏(日立工機株式会社 開発研究所 デザインセンター長)

2001年 対象国 中国、ベトナム

内 容 ①デザインセミナー

中国(上海・廣州)

講 師 的場久吉氏(松下電器産業株式会社 総合デザインセンター主席意匠技師)



Instructor:Mr.Yoshinobu Tanaka (General Manager of Promotion Division, Japan Industrial Design Promotion Organization (JIDPO)
Mr.Akihiro Taketsuna (General Manager of Institute of Office Systems and Design Management Dept., Kokuyo)

Indonesia

Instructor:Mr.Katsuhiko Ogino (Representative of Ogino Design Office)

2000 Country: Vietnam, China

Contents: 1 Design Seminar

Vietnam (Hanoi · Ho Chi Minh)

Instructor:Mr. Tadahiro Yagushi (Assistant Manager, Asaka Higashi R&D Center, Honda R&D Co., Ltd.) Mr.Hitoshi Sawada(Department Manager, Design Operation 21 Corporation)

China (Shanghai · Guangzhou)

Instructor:Mr.Tamotsu Matsumoto (President, Form Design Corporation) Mr.Kazuyuki Tsuburaya (General Manager, Design Center R&D Laboratory, Hitachi Koki Co., Ltd.)

2001 Country: China, Vietnam

Contents: 1 Design Seminar

China (Shanghai · Guangzhou)

Instructor:Mr. Hisayoshi Matoba (Corporate

鷹野義雄氏(株式会社リコー CSM本部アプライアンス推進室 アプライアンス評価グループリーダー)

ベトナム (ハノイ・ホーチミン)

講師 加藤寿人氏 (株式会社クボタ 機械研究業務部デザインチーム課長) 掘越敏晴氏 (株式会社クリセン 取締役)

JICA スキームを活用した協力事業

1. インドネシアでデザイン振興の協力

短期・長期のデザイン政策アドバイザーを派遣 すると共に、インドネシアデザイン開発調査に協 力を行うにあたり下記の方々の協力をいただいた。

•短期専門家:

中島 巌 (元、松下電器産業 (株)) 松山 治彰 ((財) 石川県デザインセンター)



Design Center, MATSUSHITA Electric Industrial Co., Ltd.) Mr.Yoshio Takano(Appliance Evaluation Group Leader, RICOH Co., Ltd.)

Vietnam (Hanoi · Ho Chi Minh)

Instructor:Mr.Hisato Katoh (Industrial Design Section, Farm & Industrial Machinery R&D Administration Dept. KUBOTA Corporation) Mr.Toshiharu Horikoshi (Managing Director, KURISEN Limited)

The Cooperation Programs utilizing the Schemes of Japan International Cooperation Agency (JICA)

1. The Cooperation of Design Promotion in Indonesia

Japan Design Foundation dispatched shortand long-term design policy advisors with the cooperation of the following people in the Design Development Research in Indonesia.

Short Term Design Advisor

Mr.Iwao Nakajima, Ex-Matsushita Electric Co., Ltd.

Mr. Haruaki Matsuyama, Design Center, Ishikawa Pref.

杉本 清(大阪府産業デザインセンター主幹) 古場田良郎(古場田デザインスタジオ代表) 中西 政美(山口県産業技術センター) 水戸部洋一(当協会国際事業部長)

· 長期専門家:

川合和彦 (静岡県デザインセンター主幹) 金野隼人 ((株) 大丸MD企画室専門部長) 安井 皓一 (元、日産自動車 (株))

• 開発調査:

越田 英喜 ((株) コシダアート代表取締役) 前田 和紀 ((株) 前田デザインアソシエ―ツ 代表取締役)

長谷 高史(長谷高史デザイン事務所代表) 馬場 忠寛(馬場デザイン事務所代表) 水戸部洋一(当協会国際事業部長) 長瀬 稔(当協会主任調査役)

2. ジョルダン企業経営能力強化計画調査への協力

産業デザインの振興を図る観点からデザイン振



Mr. Kiyoshi Sugimoto, Industrial Design Center, Osaka Pref.

Mr. Yoshiro Kobata, Managing Director, Kobata Design Studio

Mr. Masami Nakanishi, Industry & Technology Center, Yamaguchi Pref.

Youichi Mitobe, Senior Manager of Asia Pacific Design Network, JDF

Long Term Design Advisor

Mr.Hayato Kinno, Director of MD Planning, Daimaru Dept, Store

Mr. Kouichi Yasui, Ex-Nissan Co., Ltd.

· Development Research

Mr. Hideki Koshida, Managing Director, Koshida Art Co., Ltd.

Mr. Kazunori Maeda, Managing Director, Maeda Design Associate Co., Ltd.

Mr. Takashi Nagatani, Rep.of Nagatani Takashi Design Office

Mr. Tadahiro Baba, Rep. of Baba Design Office

Youichi Mitobe, Senior Manager of Asia Pacific Design Network, JDF

Minoru Nagase, Senior Manager of Asia Pacific Design Network, JDF

2. Jordan Enterprise Management Skillbuilding Cooperation

興の方策の提言、ワークショップ等を行った。

· 開発調查:

水戸部洋一(当協会国際事業部長) 長瀬 稔 (当協会主任調査役)

・ワークショップ:

村澤一晃 (ムラサワデザイン代表)

3. ベトナムデザイン振興への協力

ベトナムのデザイン振興に協力するため、デザイン政策アドバイザーを派遣した。

短期専門家:

大野 幸夫

(創造社学園飛騨国際工芸学園前学園長)



Japan Design Foundation cooperated in proposing design promotion policy and in carrying out workshops.

· Development Research

Youichi Mitobe, Senior Manager of Asia Pacific Design Network, JDF

Minoru Nagase, Senior Manager of Asia Pacific Design Network, JDF

Workshp

Mr.Kazuteru Murasawa,Managing Director, Murasawa Design Ltd.

3. The Cooperation of Design Promotion in Vietnam

Japan Design Foundation dispatched design policy advisor to cooperate in the design promotion of Vietnam.

· Short Term Design Advisor

Mr. Yukio Ohno, Ex-President, Hida International Arts School in Souzousha College.

4.デザイン人材育成・情報交流事業

1994年 在日デザイン留学生交流事業

期 日 1994年11月7日

会 場 アジア太平洋デザイン交流会議に併せ て実施

内 容 ①留学生間の意見交換会

②アジア太平洋デザイン交流会議94 への参加

アドバイザー:高井一郎氏(京都市立大学教授) 日野永一氏(兵庫教育大学教授) 山内陸平氏(京都工芸繊維大学教授)

1995年 在日デザイン留学生交流事業 プログラムA

·関西地区

期 日 1995年9月29日·30日

会 場 淀川会館ほか

内 容 9月29日①京都御所見学

②デザインの現場視察/松下電器産業(株)総合デザインセンターほか

9月30日③セミナー及び討議

テーマ 「イベント・プロモーション<パルケ・



4.Information Exchange Programs

1994 Exchange Activities for Foreign Design Students

Dates: Nov. 7, 1995

Venue: Same as Asia Pacific Design

Conference '94

Contents: ① The opinion exchange meeting between foreign design students
② Participation to Asia Pacific Design

② Participation to Asia Pacific Design Conference '94

Adviser:Mr. Ichiro Takai (Professor, Kyoto City University of Arts) Mr. Eichi Hino (Professor, Hyogo University of Teacher Education) Mr. Rikuhei Yamauchi (Professor, Kyoto Institute of Technology)

1995 Exchange Activities for Foreign Design Students

Program A

· Kansai Region (Osaka)

Dates: Sep. 29 through 30, 1996 Venue: Yodogawa Kaikan, Osaka etc.

Contents: Sep. 29

① Visit to the Gosho, official state and imperial residence in Kyoto

② Visit to the corporate design center of Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. and confablate with

エスパーニア>の企画について」

講 師:櫻井啓三氏 笠井良平氏 ((株)電通大阪 支社 プロモーション局)

• 関東地区

期 日 1996年2月2日・3日

会場 ソニー(株)プレゼンテーション・ルーム、AXIS

内 容 2月2日

①デザインの現場視察/ソニー(株)

コーポレートデザインセンター

②セミナー及び討議

テーマ「もの、こころ、デザイン」

講 師:豊口 協氏(長岡造形大学学長)

プログラムB

期 日 1995年10月9日~11日

内 容 10月9日

①ミーティング

②アジア太平洋デザイン交流会議'95

プログラムA「デザイン会議」参加

③アジア太平洋デザイン交流会議'95 プログラムB「専門家会議」参加

10月11日



the in-house young designers. Get-together party between exchange students 2nd day

Sep. 30

3 Seminar and Discussion

Theme: 'Event Promotion (About a plan of ⟨PARQUE ESPANA⟩)'

Instructor: Mr. Keizo Sakurai (Dentsu Inc.) Mr. Ryohei Kasai (Dentsu Inc.)

· Kanto Region (Tokyo)

Dates:Feb. 2 through 3, 1996

Venue:Sony Corp., Presentation Room, AXIS Contents: Feb. 2

① Visit to the Corporate Design Center of Sony Corp.

② Seminar and Discussion

Theme: 'Things, The Spirit and Design' Instructor: Mr. Kyo Toyoguchi (President, Nagaoka Institute of Design)

Program B

Dates: Oct. 9 through 11, 1995

Contents: Oct. 9

① Meeting

2 Participation to Asia Pacific Design Conference

'95 Program A 'Design Conference'

3 Participation to Asia Pacific Design Conference '95 Program A 'Conference for

Professional Designers'

(4) Visit to International Design Exhibition,
Osaka '95

④国際デザイン展95視察

⑤アジア太平洋デザイン交流会議'95

交流パーティ「デザイナーレ」参加

1996年 在日デザイン留学生交流事業 ・関東地区

期 日 1996年10月11日

内 容 ①Gマーク選定40周年記念展視察

②デザインの現場視察/NEC(株)

コーポレートデザイン部ほか

• 関西地区

期 日 1996年10月18日·19日

内 容 デザインの現場視察/ダイハツ工業株 デザイン部、積水ハウス(株)総合住宅 研究所ほか

• 中部地区

期 日 1996年12月6日・7日

内 容 デザインの現場視察/国際デザインセンター、トヨタ博物館、和紙工芸館ほか

1997年 在日デザイン留学生交流事業

• 関西地区

期 日 1997年10月10日·11日



⑤ Participation to Asia Pacific Design Conference '95 Get-together party (Cocktail)

1996 Exchange Activities for Foreign Design Students

Kanto Region

Dates: Oct. 11, 1996

Contents: ① Visit to 'Super Collection', 40

Years of the G-Mark

② Study tour of NEC Corporation, Corporate Design Department

· Kansai Region

Dates: Oct. 18 through 19, 1996

Contents: Study tour of Design Department at Daihatsu Motor Co., Ltd. etc.

· Chubu Region

Dates: Dec. 6 through 7, 1996

Contents: Study tour of International Design Center, Toyota Motor Corporation Automobile Museum, Obaramura Japanese Paper Craft Work Hall etc.

1997 Exchange Activities for Foreign Design Students

Kansai Region

Dates: Oct. 10 through 11, 1997

Contents: Visit to Bicycle Museum in Sakai City, Sakai's cutlery making district etc.

Design Seminar / Theme: 'Scholastic Experience in Japan and Design Activities in Your Home Country'

内 容 デザイン現場の視察等/自転車博物館(サイクルセンター)、堺打刃物産地研修ほかデザインセミナーテーマ「日本留学体験と自国でのデザイン活動」

講師:ライ・ポイ・セン氏(マレーシア)

・関東地区

期 日 1997年11月14日

内 容 デザイン現場の視察等/(株)デザインオペレー ション21にて電化製品(冷蔵庫)のデザイン事例研修ほか

中部地区

期 日 1997年12月6日

内 容 デザイン現場の視察等/白川郷合掌造 り集落(世界文化遺産)視察等

1998年 在日デザイン留学生交流事業

• 関西地区

期 日 1998年10月2日

内容 デザイン現場の視察等/サントリー (株)デザイン部、サントリーミュージアム視察

・関東地区

期 日 1998年10月25日·26日

内 容 デザイン現場の視察等/(財)鉄道総



Instructor: Mr. Lai Poy Seng (Malaysia)

Kanto Region

Dates: Nov. 14, 1997

Contents: Visit to Design Operation 21 (Study with examples of actual designs, primarily refrigerator designs etc.)

Chubu Region

Dates: Dec. 6, 1997

Contents: Visit to Shirakawago Gasshozukuri Village (a world heritage)

1998 Exchange Activities for Foreign Design Students

· Kansai Region

Dates: Oct. 2, 1998

Contents: Visit to Design Department of Suntory Limited, Suntory Museum

· Kanto Region

Dates: Oct. 25 through 26, 1998

Contents: Visit to Railway Technical Research Institute, Misawa Homes Co., Ltd. Seminar/Theme: Experiences of Studying in Japan, current activities, advice to young designers, etc.' Instructor: Mr.Tsung-Jen Chen (Taiwan)

· Chubu Region

Dates: Nov. 28, 1998

Contents: Visit to Shiseido Art House, Toyota Municipal Museum of Art

1999 Exchange Activities for Foreign

合技術研究所、ミサワホーム(株)視察

セミナーテーマ「日本での留学経験、現在の活動、後輩へのアドバイス|

講師:陳聰仁氏(台湾)

中部地区

期 日 1998年11月28日

内 容 デザインの現場視察等/資生堂アート ハウス、豊田市美術館

1999年 在日デザイン留学生交流事業

• 関東地区

期 日 1999年8月27日

内 容 グッドデザイン賞内覧会視察及び審査 方法についての説明、深川江戸資料館視察

• 中部地区

期 日 1999年9月23日

内 容 トヨタ自動車デザイン部門訪問

• 関西地区

期 日 1999年10月8日·9日

内容 デザイン現場の視察等/シャープ(株) 総合開発センター、国際デザイン展99 デザインセミナーテーマ「日本での留学経験|



Design Students

· Kanto Region

Dates: Aug. 27, 1999

Contents: Visit to 'Preview for persons concerned of Good Design Award 1999 (G-Mark)', Fukagawa Edo Museum

Chubu Region

Dates: Sep. 23, 1999

Contents: Visit to Design Department of TOYOTA MOTOR Corporation

Kansai Region

Dates: Oct. 8 through 9, 1999

Contents: Visit to Corporate Design Center of SHARP Corporation

Seminar theme: 'experience of studying in Japan, current activities, advice to young designers, etc.'

Instructor: Mr. Yizheng Sheng (China) 2000 Exchange Activities for Foreign Design Students

· Chubu Region

Dates: Sep. 30, 2000

Contents: Visit to Softpia Japan in Ogaki City, Mino Wachi-no-sato Kaikan (Museum of Japanese handmade paper), old residence of the Imai Family, a smithy shop of Japanese sward in Seki

Kyushu Region

Dates: Oct. 6 through 7, 2000

講師:殷正声氏(中国)

2000年 在日デザイン留学生交流事業

• 中部地区

期 日 2000年9月30日

内 容 大垣ソフトビアジャパン、美濃和紙の 里会館、旧今井家住宅、関の刀鍛冶高羽工房、 ワールドデザインシティー視察

• 九州地区

期 日 2000年10月6日·7日

内 容 柿右衛門工房、陶磁器の絵付け体験、 有田の町並み視察

デザインセミナーテーマ「まちづくりのデザイン」

講師: 岡道也氏(福岡都市科学研究所主幹研究員) 佐藤 優氏(九州芸術工科大学教授) 落合太郎氏(九州産業大学教授)

工藤 卓氏(近畿大学九州工学部教授)

ナイトフォーラムゲスト

平松 暁氏 (グラフィックデザイナー)、 今宮優子氏 (インテリアデザイナー)

井本重美氏(建築家)、池亀拓夫氏(九州産業 大学大学院教授)



Contents: Visit to Kakiemon Pottery Studio, China-painting class, Town watching in Arita City Seminar theme: 'The City of Design Planning' Instructor: Mr. Michiya Oka (Senior Research,

Urban Research Center, Fukuoka) Mr. Masaru Sato (Professor, Kyushu Institute of Design)

Mr. Taro Ochiai (Professor, Kyushu Sangyo University)

Mr. Taku Kudo(Professor, Kinki University)

Guests of Evening open forum

Mr. Akira Hiramatsu (Graphic Designer), Ms. Yuko Imamiya(Interior Designer), Mr. Shigemi Imoto (Architect), Mr. Takuo Ikegame(Professor, Kyushu Sangyo University, Graduate School)

· Kansai Region

Dates: Oct. 10, 2000

Contents: Visit to Ezaki Glico Co., Ltd., Kobe Fashion Museum

Seminar theme: 'Packaging Design Development Policy of Glico'

Instructor: Mr. Kazuhiro Nakata, Mr. Teruo Suzuki (Manager, Graphic Design Teem, Advertising Department, Ezaki Glico Co., Ltd.)

• 関西地区

期 日 2000年10月10日

内 容 グリコピア、神戸ファッション美術館視察 セミナーテーマ「グリコのパッケージデザイン開発」 講 師:中田一弘氏、鈴木輝生氏(江崎グリコ

デザインチーム マネージャー)

関東地区

期 日 2000年11月7日

内 容 サンリオピューロランド、トヨタ自動車 株式会社・東京デザイン研究所

セミナーテーマ「サンリオピューロランドの計画推進について|

講 師:佐藤 誠氏

((株)サンリオピューロランド 取締役 エンターテイメント企画開発部 部長)セミナー トヨタ自動車におけるデザイン組織/業務、基本理念及び東京デザイン部の概要について」講 師:水谷敏明氏(東京デザイン部 部長)「Will Viのデザイン開発プロセスとCADによる 造形作業について」

講師:後藤次郎氏(同企画研究グループ) 実演紹介―クレイモデル作成

講師:外部堅次氏(同 統括グループ) 2001年 在日デザイン留学生交流事業

• 関西地区

期 日 2001年10月24日

内 容 第10回国際デザインフェスティバル及 びユニバーサルスタジオジャパン視察 セミナーテーマ「デザインから見たユー・エス・ ジェイの事業について」

師:城江利彦氏(株式会社ユー・エス・ジェイ 建設担当取締役ほか)

・関東地区

期 日 2001年11月8日·9日

内 容 ホンダツインリンクもてぎ (栃木県芳 賀郡茂木) にてホンダデザイナーとの交流会開 催及びホンダコレクションホール、ファンファ ンラボほか視察

交流テーマ「ホンダデザインワークショップin もてぎについて」

講 師:矢口忠博氏 (株式会社本田技術研究所 朝霞東研究所チーフデザイナー)

宇井興志男氏(同和光研究所上席研究員)ほか

• 九州地区

期 日 2001年11月9日・10日

内容 九州松下電器(株)、福岡タワー、九州 民芸村にて九州松下電器デザイナーほかを囲む ナイトフォーラム開催、福岡タワーのライトア ップ現場研修、九州民芸村及び芦屋釜の里視察フォーラムテーマ「九州松下電器のデザインの実際」

講師:石田和男氏(九州松下電器(株)

総合デザインセンター リーダー)

原田恵輔氏 (同主任技師)

松下美紀氏 ((株)松下美紀照明設計事務 代表取締役) ほか

中部地区

期 日 2001年11月17日

内容 (株)ノリタケカンパニーリミテッドにて ノリタケ100周年記念事業施設「ノリタケの森」見 学、ノリタケデザインセミナー及びフォーラム開催 セミナーテーマ「ノリタケデザインについて」

講師:柴田貞明氏((株)ノリタケアーティスト

クラブ 常務取締役)

山本 通氏

(同取締役、デザインスタジオ長)ほかフォーラムテーマ「食とデザインについて」

講師:荻野文彦氏((株)ノリタケアーティストクラブ事務局)

栄木正敏氏(愛知県立芸術大学デザイン・ 工芸科 教授)

和佐田美久氏(名古屋国際ホテル総料理長) 高 嘉淑氏 (女流陶芸家)

· Kanto Region

Dates: Nov. 7, 2000

Contents: Visit to Sanrio Puroland, Tokyo
Design Research and Laboratory of
Toyota Motor Corp.

Seminar theme: 'Planning and Inplementation of Sanrio Puroland'

Instructor: Mr. Makoto Sato (Executive Director, Sanrio Puroland)

Seminar: 'About the design organization / business, the basic principle in TOYOTA Motor Corporation, and the outline of Tokyo Design Division.'

Instructor: Mr. Toshiaki Mizutani (General Manager, Tokyo Design Div., Toyota Motor Corporation) 'About the process of design division

and the molding work by CAD of Will Vi.' Instructor: Mr. Jiro Goto (Tokyo Design Div., Planning & Research Section, Toyota

Motor Corporation)
Demonstration - Clay Model creation

Instructor: Mr. Kenji Sotobe (Assistant Manager, Tokyo Design Div., Model Making Section, Toyota Motor Corporation)

2001 Exchange Activities for Foreign Design Students

Kansai Region

Dates: Oct. 24, 2001

Contents: Visit to International Design

Exhibition, OSAKA 2001, Universal Studios Japan

Seminar theme: 'About the Activities of USJ seen from the design'

Instructor: Mr. Toshihiko Joe (Director, USJ Co., Ltd.)

· Kanto Region

Dates: Nov. 8 through 9, 2001

Contents:Design Talks by / with HONDA designer in HONDA Design Workshop in Motegi, visit to Collection Hall and Fan Fan Lab in HONDA Twin Link Motegi

Theme of Study program: 'HONDA Design Workshop in Motegi'

Instructor: Mr. Tadahiro Yaguchi (Chief Engineer, Honda R&D Co., Ltd. Asakahigashi R&D Center)

> Mr. Yoshio Ui (Senior Chief Engineer, Honda R&D Co., Ltd. Wako R&D Center)

Mr. Mitsuyoshi Kohama (Senior Chief Engineer, Honda R&D Co., Ltd. Asaka R&D Center)

· Kyushu Region

Dates: Nov. 9 through 10, 2001

Contents: Visit to Kyushu Matsushita Electric Co., Ltd., Fukuoka Tower, Kyushu Craft Village, and so on Design Seminar by Matsushita designer and also lighting designer

Forum theme: 'The actual aspects of Kyushu

Matsushita Electric Co., Ltd.'

Instructor: Mr. Kazuo Ishida (Manager, Corporate Design Center, Kyushu Matsushita Electric Co., Ltd.)

> Mr. Keisuke Harada(Senior Designer, Corporate Design Center, Kyushu Matsushita Electric Co., Ltd.)

> Ms. Miki Matsushita (Lighting Designer)

Chubu Region

Dates: Nov. 17, 2001

Contents: Visit to Noritake Co., Ltd. Seminar theme: 'Noritake Design'

Instructor: Mr. Sadaaki Shibata (Managing

Director, Noritake Artist Club, Inc.) Mr. Toru Yamamoto (Head & Chie Designer, Noritake design studio)

Forum theme: 'Eat and Design'

Instructor: Mr. Fumihiko Ogino (Noritake Artist Club, Inc.)

Artist Club, Inc.

Mr. Masatoshi Sakaegi (Professor, Aichi Prefectural University of Fine Arts & Music)

Mr. Yoshihisa Wasada (The head cook general, International Hotel Nagoya)

Ms. Hee Sook. Ko (Ceramic Artisan)



監事 Inspector	評議員会 Conference	理事会 Board of Directors
顧 問 Advisor		審査委員会 Competition-Award Committee
		企画委員会 Planning Committee
会 Chair	長 man	国際交流委員会 International Transaction Committee
副 会 Vice Ch		
理 引 Presi	EFCTLEDEDINESSEE STORE STORE AND AND A	事務局 Secretariat
専務 Senior Execu		涉外室 Liaison Office
常務 Executive	理事 Director	総務部 General Affairs Dept. 地方和。 General Allan Section
一位公司(2世界代22)公司(30年)(30年)(30年)	事 ector	Accounts Section
		調查部 Information & Research Dept.
		広報部 Public Relations Dept.
		フェスティバル事業部 Pestival Dept.
国際デザインフェ Internatio Festival		国際事業部 International Project Dept.
	方会員 mbers	アジア太平洋デザイン交流センター Asia Pacific Design Network

		III to be	平成14年2月1日現在
		役員名簿	
	氏名/	所属/	役職/
会長	田代 和	大阪商工会議所	会頭
副会長	久禮 彦治	財団法人日本産業デザイン振興会	理事長
副会長兼理事長	柴田 益男	財団法人地域伝統芸能活用センター	副会長
理事	秋山 喜久	社団法人関西経済連合会	会長
	今井 敬	社団法人経済団体連合会	会長
	植松 敏	日本商工会議所	専務理事
	榮久庵 憲司	国際インダストリアルデザイン団体協議会	名誉顧問
	海老沢 勝二	日本放送協会	会長
	大倉 富美雄	社団法人日本インダストリアルデザイナー協会	理事長
	大野 隆夫	大阪商工会議所	専務理事
	奥井 功	関西経営者協会	会長
	川上 哲郎	日本万国博覧会記念協会	会長
	川路 陽正	社団法人日本パッケージデザイン協会	理事長
	岸本 正壽	日本写真機工業会	会長
	木村 一男	株式会社国際デザインセンター	前専務取締役
	木村 戰太郎	社団法人日本インテリアデザイナー協会	理事長、
	坂下 清	財団法人大阪デザインセンター	理事長
	佐野 正一	社団法人総合デザイナー協会	副理事長
	鈴木 重信	大阪府	副知事
	清家清	東京工業大学	名誉教授
	丹下 健三	東京大学	名誉教授
	津田 和明	社団法人関西経済同友会	代表幹事
	土﨑 敏夫	大阪市	助役
	能村 龍太郎	社団法人関西経済同友会	幹事
	橋本 京子	社団法人日本クラフトデザイン協会	理事長
	畠山 襄	日本貿易振興会	理事長
	福田 繁雄	社団法人日本グラフィックデザイナー協会	会長
	藤本明夫	社団法人関西経済連合会	専務理事
	三木 稔	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会	会長
	宮原 賢次	社団法人日本貿易会	会長
	山口信夫	日本商工会議所	会頭
	山下 和彦	社団法人関西経済連合会	理事
	領木新一郎	社団法人大阪工業会	会長
	和田 龍幸	社団法人経済団体連合会	事務総長
直	大石新太郎	財団法人国際デザイン交流協会	専務理事
常務理事		財団法人大阪デザインセンター	専務理事
吊伤理手			
*m-=	異 正和	財団法人国際デザイン交流協会	理事
理事	嶽釜 輝夫	財団法人国際デザイン交流協会	
監事	長船 強	日本公認会計士協会 近畿会	相談役
	勝田 泰久	社団法人大阪銀行協会	会長

平成14年2月1日現在

		評議員名簿	
	氏名/	所属/	役職/
長	谷川順一	社団法人大阪工芸協会	会長
	有本 雄美	大阪ガス株式会社	代表取締役副社長
	池上俊郎	京都市立芸術大学	教授
	泉真也		環境デザイナー
	今竹 翠	大阪府産業デザインセンター	大阪府顧問
	岡 信吾	社団法人日本パッケージデザイン協会	副理事長
	岡崎 寛之	株式会社三洋デザインセンター	代表取締役社長
	金多 潔	社団法人日本建築協会	会長
	川村 俊二	大阪商工会議所	常務理事兼事務局長
	木村 徹	トヨタ自動車株式会社	第一デザイン部 部長
	熊谷皓之	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会	理事
	古賀 唯夫	九州産業大学	教授
	越田英喜	株式会社コシダアート	代表取締役
	高見 慧	社団法人日本ディスプレイデザイン協会	会長
	竹端 章	松下電器産業株式会社	総合デザインセンター所見
	田積 司朗	社団法人日本グラフィックデザイナー協会	運営委員
	多田 愛実	神戸芸術工科大学	教授
	中馬猛順	日本万国博覧会記念協会	理事
	塚本 博志	財団法人日本産業デザイン振興会	常務理事
	豊口協	長岡造形大学	学長
	内藤 政敏		プロダクトデザイナー
	夏原 晃子		インテリアデザイナー
	西尾 直	大阪芸術大学	教授
	西野 正毅	シャープ株式会社	情報通信システム研究所技監
	野村 武彦	社団法人日本商環境設計家協会	理事長
	羽原 清明	社団法人日本インダストリアルデザイナー協会	前理事
	平井三代子	財団法人大阪市女性協会	理事
	廣瀬 哲雄	日本放送協会	大阪放送局長
	水吉 徹夫	日本貿易振興会	前大阪本部長
	光島 和子	社団法人日本クラフトデザイン協会	理事
	宮沢 功	社団法人日本サインデザイン協会	会長
	山内 陸平	京都工芸繊維大学	 教授
	山口昌紀	近畿日本鉄道株式会社	代表取締役副社長
	藤本司	大阪市	経済局長
	藤原安次	大阪府	商工労働部長
	湯浅 叡子	財団法人千里文化財団	専務理事
	吉川博教	株式会社ワイエスデザイン	代表取締役
	吉田順一		1 4 DO DONAL

	国際デザイン	/・フェスティバル推進委員	会名簿
	氏名/	所属/	役職/
委員長	能村 龍太郎	太陽工業株式会社	代表取締役会長
副委員長	大西 隆	大阪商工会議所	副会頭
	大林 芳郎	株式会社 大林組	取締役会長
委員	井植 敏	三洋電機株式会社	取締役会長
	井上礼之	ダイキン工業株式会社	取締役社長
	上村 圭一	大和ハウス工業株式会社	相談役
	奥田 務	株式会社 大丸	取締役社長
	海保 孝	株式会社 大和銀行	会長
	川勝 堅二	株式会社 三和銀行	名誉顧問
	川上哲郎	住友電気工業株式会社	相談役
	河西 計介	株式会社 阪神百貨店	代表取締役会長
	鴻池 一季	株式会社 鴻池組	取締役社長
	木暮 剛平	株式会社 電通	相談役
	近藤 道生	株式会社 博報堂	代表取締役
	佐伯 旭	シャープ株式会社	最高顧問
	椙岡 俊一	株式会社 阪急百貨店	取締役社長
	鈴木 孝男	社団法人日本自動車工業会	副会長
	錢高 一善	株式会社 錢高組	取締役社長
	瀧澤 三郎	東洋紡績株式会社	相談役
	竹中 統一	株式会社 竹中工務店	取締役社長
	巽 外夫	株式会社 三井住友銀行	特別顧問
	西尾 昭二郎	株式会社 大広	相談役
	西室 泰三	社団法人日本電機工業会	会長
	橋本 徹	株式会社 富士銀行	会長
	日高 啓	株式会社 高島屋	特別顧問
	南 直哉	電気事業連合会	会長
	三野 重和	株式会社クボタ	相談役
	森井 清二	関西電力株式会社	顧問
	山本 惠朗	全国銀行協会	会長
	領木 新一郎	大阪ガス株式会社	取締役会長

委員

総合企画実行委員会

委員長 新井真一 副委員長 沢村徹

青葉 益輝 垣村 三平

吉岡 道隆 有岡 良益 堺屋 太一

千田甫 高藪 昭 谷川 順一 十河 新作 多田 愛実

中根清 中村 圭介 八尾武郎

テーマ実行委員会

委員長 清家清 副委員長 柴田献一

委員

池田 英夫 上田篤 鴨志田厚子 日下公人

小松 左京

中野 正之(~1983.7) 福田繁雄 樋口治 堀井 良殷(1983.8~)

吉田光邦

審查実行委員会

委員長 榮久庵 憲司 副委員長 坂下清

委員

'9

大森 重志 木村 重信

川上元美 白石 勝彦 田中一光

高木晃 西尾直

広報実行委員会

委員長

橘豊(~1982.10)

村尾 通夫 (1982.10~)

副委員長 坂根進

委員

朝吹誠 熊谷和郎

大高猛 高橋 英男 松本美保子

豊口協 渡辺優

1984.6~1986.3

企画実行委員会

委員長 坂根 進

副委員長 沢村徹

委員

會田 雄亮

大森 重志 熊谷和郎 堺屋 太一

垣村 三平 斎藤 宏 千田甫 多田 愛実

上田篤

高藪 昭 中根清 樋口治

中村丰介 八尾武郎

テーマ実行委員会

委員長 清家清 副委員長 柴田献一

委員

池田英夫

上田館

鴨志田 厚子 小松 左京

日下公人 堀井 良殷 福田繁雄 桶口 治

吉田光邦

審查実行委員会

委員長 泉真也 副委員長 坂下清

青葉 益輝 委員

菊竹 清訓 小松 左京 田中一光 西尾直

大高 猛 木村 重信 高木晃 豊口協

渡辺優

上田篤

熊谷和郎

堺屋 太一

高藪 昭 中根清

樋口治

1986.4~1988.3

企画実行委員会

委員長 坂根 進 副委員長 沢村 徹

委員 會田 雄亮 大森 重志

斎藤 宏 千田甫 多田 愛宝 中村 圭介

八星武郎

審查実行委員会

委員長 泉真也 副委員長 坂下清

委員 青葉 益輝

菊竹 清訓 小松 左京 曹口協

大高猛 木村 重信 田中一光 西尾直

渡辺優

*テーマ小委員会

委員

泉真也 坂根 進 榮久庵 憲司 清家清

上田篤

北山廣司

斎藤 宏

高藪昭

中根清

樋口治

吉田 光邦

1988.4~1990.3

企画実行委員会

委員長 坂根 進 副委員長 沢村 徹

委員

會田 雄亮 大森重志 木村一雄 千田甫 多田愛実 中村 圭介

山本鶴雄

審查実行委員会

委員長 泉盲也 副委員長 坂下清

委員 大高猛

菊竹 清訓

木村 重信 清水 忠男

小松左京 永井一正 西尾直 渡辺優

*テーマ小委員会

委員

泉真也 榮久庵 憲司 坂根 進 清家清

吉田光邦

$1990.4 \sim 1992.3$

企画実行委員会

委員長 沢村 徹 副委員長 高藪昭

大森 重志 委員 木村一雄

斎藤宏(~1991.3) 多田 愛実 千田甫 田中俊夫 中根清 中村 圭介 福田武

北山廣司

森川 亮 (1991.4~) 山本鶴雄

審查実行委員会

委員長 泉真也 副委員長 坂下清

委員

大高 猛 菊竹 清訓

小松 左京

西尾直

岡本 滋夫 木村 重信 田中央 渡辺優

*テーマ小委員会

委員 泉真也

榮久庵 憲 坂根 進 清家清

吉田 光邦

1992.4~1994.3

企画実行委員会

委員長 沢村 徹

副委員長 多田 愛実(委員長代行1993.9

高藪 昭

委員

池永 正之 大森 重志 唐木正弘 郡司 修三 中根清 河野登 長澤忠徳 羽原清明

山田崇雄

審查実行委員会

委員長 泉真也 副委員長 坂下清

委員 大高猛

岡本 滋夫 木村 重信 菊竹 清訓 西尾直 田中央 渡辺優

*テーマ委員会

委員 泉真也 榮久庵 憲

木村 重信 坂根 厳夫 多田 道太郎

1994.4~1996.3

企画実行委員会

委員長 多田 愛実

副委員長 高藪昭 (~1994.12)

渕村 和次 (1995.1~)

委員

池永 正之 大森 重志 唐木正弘 (~1995.1) 庄司 道子

河野 登 中根清

長澤忠徳 二好 臁

羽原清明

竹端章 (1995.2~) 山田崇雄

審查実行委員会

委員長 泉道也 副委員長 坂下清

委員

伊東 豊雄 大高 猛 喜多俊之 岡本 滋夫

木村 重信 吉川博教

西尾直 渡辺優

*テーマ委員会

委員

泉真也 木村 重信

榮久庵 憲司

坂根 厳夫

多田 道太郎

国際交流実行委員会

委員長 豊口協

副委員長 石井一生 (~1995.4)

中野浩 (1995.4~)

委員

池上俊郎 今竹 翠 奥村 昭夫

斎藤 敏樹

古賀 唯夫 鶴田剛司

内藤 政敏

福田武

山内 陸平 吉田順一

1996.4~1998.3

企画実行委員会

委員長 多田 愛実 副委員長 渕村和次

委員

池永正之

河野 啓 竹端 章 大森 重志 越田英喜

中根清 長澤忠徳 羽原清明 三好 曠 山田崇雄

審查実行委員会

委員長 泉真也 副委員長 坂下清

委員

伊東豊雄

大高猛 金子 修也 喜多俊之 木村 重信 西尾直

吉川博教 渡辺優

*テーマ委員会

委員 泉道也 榮久庵 憲司

木村 重信 坂根 厳夫

国際交流実行委員会

委員長 豊口協

副委員長 中野浩 (~1997.10)

伊達 芳矩 (1997.10~)

委員

池上 俊郎 今竹 翠 奥村 昭夫 古賀 唯夫 斎藤 敏樹 鶴田剛司 内藤 政敏

山内 陸平

福田武 吉田順一

1998.4~2000.3

企画実行委員会

委員長 多田 愛実 副委員長 渕村和次

委員

市川 祥一 大森 重志 河野登 桐山登士樹 竹端章 谷口 俊司 羽原 清明 平井 三代子 森下 舒弘 山田崇雄

審査実行委員会

委員長 泉真也 副委員長 内藤政敏

委員

大高猛 金子 修也 喜多俊之 鶴田剛司 西尾 直 西野 正毅 吉川博教

益田 文和

*テーマ委員会

委員

泉盲也 今野 由梨 坂根 厳夫 田中一光 鷲田 清一 中村 桂子

国際交流実行委員会

委員長 豊口協

伊達 芳矩(~1999.4) 副委員長

斎藤 貞幸 (1999.4~)

委員

伊丹 由和 今竹 翠 古賀唯夫 木村 喜太郎 越田 英喜 榊原晏

平井 宥子 舟橋 辰朗 山内 陸平 吉田順一

2000.4~現在

企画委員会

委員長

委員

多田 愛実 副委員長 渕村和次

市川 祥一 久保 雅義

大門 敏彦 東 光男

桐山登士樹 河野 登 羽原 清明

平井 三代子 森下 舒弘 山田崇雄

審查委員会

委員

委員長 泉真也 副委員長 内藤 政敏

> 金子 修也 西尾直

西野 正毅 益田 文和 福田民郎 三木健 吉川博教

中村 降一

*テーマ委員会

委員 泉真也

坂下 清 平井 三代子 益田 文和 菅田 清一

国際交流委員会

委員長 曹口協

副委員長 斎藤 貞幸 (~2000.11)

吉田順一

水吉 徹夫 (2000.11~)

伊丹 由和 委員

今竹 翠 岡崎 寛之 木村 徹 古賀 唯夫 越田英喜 竹端 章 山内 陸平

和田精二

1991年 •

3月

5月

第5回国際デザイン・アオード審査

環太平洋デザイン交流ミッション [フィリピン、タイ、マレーシア、

History of Japan Design Foundation 年表 1980年 • The International Design Competition Study Subcommittee Sep. 通商産業省輸出検査及びデザイン奨励審議会デザイン奨励部会に国 9月 set up at the Design Promotion Workshop for Export 際デザイン・コンペティション検討小委員会を設置 Inspection and Design Promotion Council, Ministry of 1981年 • International Trade and Industry コンペ大阪 誘致に関する要望書提出 2月 1981 7月 デザイン奨励部会が大阪開催了承 Petition filed to hold the Design Competition in Osaka Feb. 大阪ビエンナーレ準備室開設 9月 Petition approved by the Workshop July 協会設立発起人会 10月 Osaka Biennale Preparation Section set up Sep. 通商産業大臣の協会設立許可 11月 Foundation promoters' meeting Oct. 1982年 • Foundation officially sanctioned by the Minister of International Nov. 1月 Trade and Industry 国際デザイン・フェスティバルの基本テーマ及び基本理念決定 2月 1982 国際デザイン・フェスティバルのシンボルマーク決定 3月 Design Lecture Meeting Jan. Basic theme and fundamental idea decided for the International 国際デザイン・セミナー '82 10月 Feb. 1983年 • Design Festival, Osaka 国際デザイン・シンポジウム '83 大阪 Logo decided for the Festival 2月 Mar. 第1回国際デザイン・アオード審査 5月 Oct International Design Symposium 第1回国際デザイン・コンペティション本審査 8月 1983 国際デザイン・ラウンド・テーブル・トーキング東京 International Design Symposium '83, Osaka Feb. Screening for the 1st International Design Award, Osaka 第1回国際デザイン展 May 10月 Final judging for the 1st International Design Competition, Osaka 第1回国際デザイン・コンペティション記念講演会 Aug. International Design Round-Table Discussion, Tokyo 国際デザイン・シンボジウム '83東京 1st International Design Exhibition, Osaka Oct. デザイン・フォーラム '83大阪 11月 International Design Symposium '83, Tokyo 1984年 • Design Forum '83, Osaka Nov 機関誌「Design Scene」創刊 3月 1984 国際デザイン・キャンプ '84松本 8月 "Design Scene" Start Mar. 1985年 • International Design Camp '84, Matsumoto Aug. 国際デザイン・シンポジウム '85神戸 3月 1985 第2回国際デザイン・アオード審査 6月 International Design Symposium '85, Kobe Mar. 第2回国際デザインコンペティション本審査 7月 Screening for the 2nd International Design Award Jun. 国際デザイン・セミナー '85東京 Final judging for the 2nd International Design July 国際デザイン・フォーラム '85大阪 10月 Competition, Osaka International Design Seminar '85, Tokyo 第2回国際デザイン展「デザイン・サーカス '85」 皇太子・同妃両殿下のデザイン展ご視察 Design forum '85 Osaka 2nd Design Exhibition "Design Circus '85" Visit by the Crown Prince and Princess to the Design Exhibition Oct. コンペティション大賞受賞者、アオード受賞者記念講演会 1986年 • Commemorative lectures by the Grand Prize winner of the 国際デザイン・コンペティション入賞作品展-ドイツ・シュツットガルト 5月 バンクーバー国際交通博とアメリカ・デザイン交流研修ツアー Competition and recipients of the Award 7月 デザイン・キャンプ '86松本 1986 8月 国際デザイン・コンペティション入賞作品展-松本 国際デザイン・シンポジウム '86北九州 International Design Competition Prize-winning Works May Exhibition-Stuttgart, Germany 11月 Expo '86 and American Design Exchange Tour 国際デザイン・コンペティション入賞作品展-北九州 July Design Camp '86, Matsumoto 1987年 • Aug. Competition Prize-winning Works Exhibition—Matsumoto 国際デザイン・コンベンション '87 (大阪、名古屋) 2月 International Design Symposium '86, Kitakyushu 第3回国際デザイン・アオード審査 Nov. 4月 Competition Prize-winning Works Exhibition-Kitakyushu 協会事務所を船場センタービルから現在地に移転 5月 1987 第3回国際デザイン・コンペティション本審査 International Design Convention '87, Osaka and Nagova 7月 Feb. 国際デザイン・コンベンション'87 (東京、富山) Screening for the 3rd Award Apr. 8月 国際デザイン・コンペティション入賞作品展ー富山 Office moved from Semba Center Building to the current office May 第3回国際デザイン展 10月 Final judging for the 3rd International Design Competition, Osaka July アオード受賞者記念講演会 International Design Convention '87, Tokyo and Toyama Competition Prize-winning Works Exhibition—Toyama 1988年 • Aug. 国際デザイン・コンペティション入賞作品展-松江 3rd International Design Exhibition, Osaka 3月 Oct. 第3回国際デザイン・キャンプ '88松本 Commemorative lectures by recipients of the Award 8月 国際デザイン・コンベンション '88 (大阪、熊本) Competition Prize-winning Works Exhibition—Kumamoto Nov. 11月 1988 12月 国際デザイン・コンペティション入賞作品展 - 熊本 Competition Prize-winning Works Exhibition—Matsue Mar. 1989年 • International Design Camp '88, Matsumoto Aug. 国際デザイン・コンペティション入賞作品展-仙台 3月 International Design Convention '88, Osaka and Kumamoto Nov. 第4回国際デザイン・アオード審査 4月 Competition Prize-winning Works Exhibition—Kumamoto Dec. 第4回国際デザイン・コンペティション本審査 7月 1989 第4回国際デザイン・コンベンション (岐阜、青森) Competition Prize-winning Works Exhibition—Sendai Mar. 国際デザイン・コンペティション入賞作品展 (岐阜、青森) Screening for the 4th Award Apr. 第4回国際デザイン展 11月 Final judging for the 4th Competition July コンペ大賞受賞者、アオード受賞者記念講演会 International Design Convention '89, Gifu and Aomori 1990年 • 4th International Design Exhibition, Osaka Nov. 第4回国際デザイン・キャンプ '90松本 Commemorative lectures by the winner of the Competition 7月 環太平洋デザイン交流ミッション [インドネシア、フィリピン、 8月 Grand Prize and recipients of the Award シンガポール、タイ、マレーシア] 環太平洋デザイン交流会議 '90 1990 (~9月) International Design Camp '90, Matsumoto 10月 July Designers interaction group visited Pan-Pacific countries, 国際デザイン・コンベンション '90(山形、山梨) Aug. 11月 Indonesia, Malaysia, The Philippines, Singapore, Thailand 国際デザイン・コンペティション入賞作品展 (山形、山梨)

Pan-Pacific Design Forum '90

International Design Convention '90, Yamagata and Yamanashi

Competition Prize-winning Works Exhibition—Yamagata and Yamanashi

Oct.

Nov.

1991 1992 1993 1994 1995				
国際デギイン・コンペラとコンス質を表していまった。	- 17	シンガポール、インドネシア] (~6月)		
国際デザイン エンペテイション人質作品展(係集、九州) Saling デザイン Saling miner miner Saling min	7月			Screening for the 5th International Design Award
7			May	Designers interaction group visited Pan-Pacific countries,
International Design Convention 91, Hypoga and Kyushan (2018) 1892年 18	10日		July	Final judging for the 5th International Design Competition, Ocale
1992年 日本学年・アイン変数・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・	10/1			International Design Convention '91, Hyogo and Kyushu
語意宜に関等性を含まり、日本の		環太平洋デザイン交流会議 '91		Competition Prize-winning Works Exhibition—Hyogo and Kyushu
1992年	12月		Oct.	5th International Design Exhibition, Osaka
20-20	1992年 •			Commemorative lectures by recipients of the Award
「協会の使わらから、刊作 1992 1993 1995	2月		Dec	
1993年 1993年 1994年 1995年 19957年 199577年 19957年 199577 199577 199577 199577 199577 199577			Dec.	of the 10th anniversary of the Foundation
### 1994年			1992	,
国際デザイン・コンペラインョンス (作品) 展表 東京 11月 11	6月		Feb.	Designers interaction group visited Pan-Pacific countries,
### 第4日間原デザイン・キャンプの2枚本 Jun 1993年 1993年 1994年 1995年				
1985年 1987年 19	8月			
国際デザインコンペンション 92 (新島、広島) 1993年			Juii.	
国際デザイン にコンペティクョン人供作品屋 (新潟、広島)				
19		国際デザイン・コンペティション入賞作品展(新潟、広島)		
シンガボール・デザイン・アオード (2月) シンガボール・デザイン・アオード (2月) アポイル・デザイン・アオード (2月) アポイル・デザイン・アオード (2月) アポイル・デザイン・アオード (2月) アポード (2月			_	
2月 シンガポール・デザインフェア	1月		Nov.	
# 第6回職デザインフルペテション (韓国、台湾、香港、中国)	οЯ			
1993				
現本学帯デザイン交流・ション 検証 合演、巻徳、中国 表演を表演 日本学 大きな	3/7		1993	
## 1994年 Feb. Mar. Feb.	7月		Jan.	Designers interaction group visited Pan-Pacific countries,
Screening for the 6th International Design Award 1994	.,,•			
1994年 19		国際デザイン・コンベンション '93(大阪、名古屋)		
1994年 19	10月		Mar.	
1994年 2月				
1994年 マレーシア・デザインフェア(クアラルンブール市)	12日			
1994年 2月 環状平洋ヤイン交流ミッション [12月		July	
国際デザインコンペ・アオード作品展一東京	1994年(
# 大学科デザイン交流 79.3 1981 台湾、香港、中国 (~3月) 1987 1997 1995年 1996年 1月 1996年 1月 1996年 1月 1997年 1998				
国際デザインコンペ・アオード作品展 毎間 (~8月) 1997	2/3		Oct	
7 ウア大平洋子ザイン交流ション 中国	7月	国際デザインコンペ・アオード作品展-静岡	oct.	
### Schillang ### (フィリピン、インドネシア)				
1月	8月	JDFデザイン・フォーラム '94大阪	Dec.	
Tip アジア太平洋デザイン変速会議 94	о П		1004	Malaysia Design Fair (Kuala Lumpur)
### Temperature of the contraction of the contrac				International Design Competition and Award Prize winning
1995年 1995年 2月 国際デザインコンペ・アオード作品展 - 番川 アジア大学洋デザイン交流ミッション [中国、香港、台湾、韓国] アザイン撮興支援事業 (専門家派遣: 短期) [インドネシア] 日間アザイン アオード作品展 - 東京 アジア大学洋デザイン交流を譲ゅう (マロア・アインドネシア) 日間アナザイン アオード作品展 - 東京 アジア大学洋デザイン交流を譲ゅう (マロア・アインドネシア) 日間アナザイン アオード作品展 - 東京 アジア大学洋デザイン交流を譲ゅう (マロア・アインドネシア) 日間アナザイン 原発・発達 (マログラムA) デザイン撮票支援事業 (専門家派遣: 短期) [インドネシア] 日間アザイン アオード作品展 - 東京 アジア大学洋デザイン交流を譲ゅう (マログラムB) アザイン撮票支援事業 (マログラムB) アザイン撮票支援事業 (マログラムB) アガインボースペーアオード作品展 - 東京 アジア大学洋デザイン交流を譲ゅう (マログラムB) アガインボースページ間と アガイン アオード作品展 - 東京 アジア大学洋デザイン交流を影 96北京 - エーデザイン 個学生交流事業 (フログラムB) アジア大学洋デザイン交流を影 96北京 - エーデザイン 個学生交流事業 (フログラムB) アジア大学洋デザイン交流を影 96北京 - エーデザイン 個学生交流事業 (フログラムB) 日間 日日	11月		reb.	Works Exhibition, Tokyo
1995年 2月	12月			
Table Ta	12/3			
Aug. Specific Design Exchange Missions, China, Taiwan, Trivity Tyr 大学ドデザインで流えッション [中国、香港、台湾、韓国] アザイン指興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] 在日デザイン観典支援事業(プログラムA) 第7回国際アザイン により、電子・デザインを通えき譲渡 アンア大学ドデザインを通えき譲渡 アンア大学ドデザインを通えき譲渡 アンア大学・デザインを通えき譲渡 アンデルス (アカー) 「インドネシア」 (マリグラムA) 第7回国際アザイン (ログラムA) 第7回国際アザイン (ログラムA) 第7回国際アザイン (ログラムA) 第7回国際アザインを通えき譲渡 アンデルス (アカー) (マリグラムA) 第7回国際アザインを通えき譲渡 アンデルス (アカー) (マリグラムB) アザイン 振興支援事業(アログラムB) アザイン 振興支援事業(マログラムB) アジア大学ドデザインを通えまっきョン [インドネシア、フィリビン、タイ] (マー) 「ログラム (ログランス (ログラム) 「アジア大学・デザインを通えまっきョン [インドネシア、フィリビン、マレーシア] (マー) 「ログランス (ログランス (ログランス) (ログランス (ログランス (ログランス) (ログランス (ロ	1995年			
第7回国際デザイン・アオード審査 第7回国際デザイン・コンペティション最終審査 アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国、香港、台湾、韓国] デザイン撮興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] 在日デザイン留学生交流事業(プログラムA) 第7回国際デザイン・アオード作品展ー東京 アジア太平洋デザイン交流会議 95 在日デザイン留学生交流事業(プログラムB) デザイン振興支援事業(セミナー等) [インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ] (〜1月) 11月 2月 7 ジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (〜3月) アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (〜3月) アジア太平洋デザイン交流ミッション [インドネシア、フィリピン、マレーシア、フィリピン、マレーシア] (〜1月) アデイン振興支援事業(はミナーなど) [タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア] (〜1月) デザイン振興支援事業(はミナーなど) [タイ、インドネシア、フィリピン、コンベ作品展ー川口 在日デザイン留学生交流事業(〜12月) 967 377太平洋デザイン交流会議 96北京 197 67 377太平洋デザイン交流会議 96北京 197 727太平洋デザイン交流会議 96北京 197 727太平洋アザイン交流会議 96北京 197 727太平洋アザイン交流会議 96北京 197 727太平洋デザイン交流会議 96北京 197 727 727 727 727 727 727 727 727 727 7	2月		Tuly	
Aug. JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Forum '94, Osaka Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia JDF Design Conference '94 Exchange Activities for foreign Design Students Design Cooperating Promotion Program, Thaland, Malaysia, Indonesia, Indonesia Prize-winning Works Exhibition, Indonesia Prize-winning Works Exhibition, Indonesia Prize-winning Works Exhibition, Indonesia Indonesia JDF Design Cooperating Promotion Program, Thaland, Malaysia, Indonesia Prize-winning Works Exhibition, Indonesia Prize-winning Works Exhibition, Indonesia Indonesia Indonesia Indonesia Prize-winning Works Exhibition, Indonesia Ind			July	
新心田園所でオン・コンパ・イション取除審査 東京 中国、香港、台湾、韓国 アザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] Act 日子ザイン留学生交流事業 (プログラムA) アジア大平洋デザイン交流会議 95 在日子ザイン振興支援事業(プログラムB) アザイン振興支援事業(プログラムB) アザイン振興支援事業(プログラムB) アザイン振興支援事業(プログラムB) アザイン振興支援事業(プログラムB) 日野 国際デザインコンペ・アオード作品展 東京 アジア太平洋デザイン交流会談 95 アジア太平洋デザイン交流会談 96 インドネシア、フィリビン、タイ] (~1月) 国際デザインエンペ・アオード作品展 東京 アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (~3月) アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (~3月) アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (~3月) アザイン振興支援事業(セミナーなど) [タイ、インドネシア、フィリビン、マレーシア] (~1月) 国際デザイン・コンペ作品展 山口 在日デザイン留学生交流事業 (~12月) 96アジア太平洋デザイン交流会談 96北京 日間 インドネシア 国際デザイン・コンペ作品展 山口 在日デザイン留学生交流事業 (~12月) 96アジア太平洋デザイン交流会談 96北京 日間 アジア太平洋デザイン交流会談 96北京 日間 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 日間 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 日間 アジア太平洋デザイン交流会談 96北京 日間 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 日間 日間 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 日間 日間 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 日間 日間 日間 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 日間 日間 日間 日間 アジアスティン 日間 アジアスティン 日間 日間 アジアスティン 日間 日間 アジアスティン アジアスティン 日間 アジアスティン アジアスティン 日間 アジアスティン ア			Aug.	
### Principal Principal ### Principal Principal ### Principal Principal ### Principal Principal Principal Principal ### Principal Principal Principal Principal Principal ### Principal Prin	7月		C	Study of General Development Plan, The Philippines, Indonesia
## Carried Support S		デザイン振興支援重業(専門家派書・短期)「インドネシア」		
Principle Pr	9月		Nov.	
アオード受賞者記念講演会 アジア太平洋デザイン交流会議 95 在日デザイン留学生交流事業(プログラムB) デザイン振興支援事業(セミナー等) [インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ] (~1月)			Dec	
Feb. International Design Competition Prize-winning Works Exhibition, Kagawa Designers interaction group visited Asia Pacific countries, China, Hong Kong, Taiwan, Korea Judging for the 7th International Design Competition Prize-winning Works Exhibition, Kagawa Designers interaction group visited Asia Pacific countries, China, Hong Kong, Taiwan, Korea Judging for the 7th International Design Competition Asia Pacific Design Exchange Missions, China, Hong Kong, Taiwan, Korea Design Cooperating Promotion Program, Indonesia Exchange Activities for foreign Design Students, Program A Ort. The International Design Competition Asia Pacific Design Exchange Activities for foreign Design Students, Program B Design Cooperating Promotion Program, Indonesia, Malaysia, The Philippines, Thailand The Try		アオード受賞者記念講演会		•
1996年 1月				International Design Competition Prize-winning Works Exhibition,
1996年 1月 国際デザインコンペ・アオード作品展-東京 2月 アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (~3月) アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (~3月) アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業 (キミナーなど) [タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア] (~1月) アザイン振興支援事業 (専門家派遣:長期) [インドネシア] 国際デザイン・コンペ作品展-山口 在日デザイン留学生通信「EX・ACT」創刊 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業 (専門家派遣:短期) [インドネシア] コ月 2月 でジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業 (専門家派遣:短期) [インドネシア] オリカース・アン・コンペ作品展 (専門家派遣:短期) [インドネシア] カリカース・アン・コンペ作品展 (専門家派遣:短期) [インドネシア] カリカース・アン・コンペルでは、アン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン・コン	-			
1996年 1月	11月			
国際デザインコンペ・アオード作品展-東京 アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (~3月)	1006年		Mor	6,
アジア太平洋デザイン交流ミッション [中国] (〜3月) アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業 (セミナーなど) [タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア] (〜1月) デザイン振興支援事業 (専門家派遣: 長期) [インドネシア] 国際デザイン・コンペ作品展ー山口 在日デザイン留学生交流事業 (〜12月) 11月 197年 1月 2月 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業 (専門家派遣: 短期) [インドネシア] コアジア太平洋デザイン交流会議 '96北京 在日デザイン留学生通信「EX・ACT」創刊 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業 (専門家派遣: 短期) [インドネシア] オーカー・ インターネットホームページ開設 アジア太平洋デザイン交流・実施者、第四のでは近いの知知の表現。 アジア太平洋デザイン交流・アの関語 アジア太平洋デザイン交流・アの関語 アジア太平洋デザイン交流・アの表現を表現を発生がある。 アジア太平洋デザイン交流・アの表別である。 アジア太平洋では、アの表別である。 アジア大・アの表別である。 アジア太平洋でイン交流・アの表別である。 アジアは、アの表別である。 アジアは、アの表別では、アンドネースでは、アの表別である。 アジアは、アンドネースでは、アジアは、アンドネースでは、アンスでは、アンドネースでは、アンスでは、アンドネースでは、アンスでは				
R アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(セミナーなど) [タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア] (~1月) デザイン振興支援事業(専門家派遣:長期) [インドネシア] 国際デザイン・コンペ作品展ー山口 在日デザイン留学生交流事業(~12月) 96アジア太平洋デザイン交流会議 '96北京			July	
デザイン振興支援事業(セミナーなど) [タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア] (~1月) デザイン振興支援事業(専門家派遣:長期) [インドネシア] 国際デザイン・コンペ作品展ー山口 在日デザイン留学生交流事業(~12月) 10月 11月 1997年 1月 2月 アジア太平洋デザイン交流会議 '96北京 1月 2月 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] 1997年 1月 2月 アジア太平洋デザイン交流・マション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] 1996 Jan. 1997年 1907				
7th International Design Exhibition, Osaka Commemorative lectures by recipients of the Award Asia Pacific Design Conference '95 Exchange Activities for foreign Design Students, Program B Design Cooperating Promotion Program, Indonesia, Malaysia, The Philippines, Thailand 1997年 1月 2月 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] インターネットホームページ開設 Works Exhibition, Tokyo Asia Pacific Design Competition and Award Prize-winning Works Exhibition, Tokyo Asia Pacific Design Competition and Award Prize-winning Works Exhibition, Tokyo Asia Pacific Design Competition and Award Prize-winning Works Exhibition, Tokyo Asia Pacific Design Competition and Award Prize-winning Works Exhibition, Tokyo Asia Pacific Design Exchange Mission, China			_	
国際デザイン・コンペ作品展-山口 在日デザイン留学生交流事業(~12月) '96アジア太平洋デザイン交流会議 '96北京 1月 2月 アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] 3月 インターネットホームページ開設 (アロリア・アントルームページ開設 となった。 1996 という (本)		フィリピン、マレーシア] (~1月)		
Asia Pacific Design Conference '95 Exchange Activities for foreign Design Students, Program B Design Cooperating Promotion Program, Indonesia, Malaysia, The Philippines, Thailand			Oct.	
10月 11月 1997年 1月 2月 アジア太平洋デザイン交流会議 '96北京 Nov. Exchange Activities for foreign Design Students, Program B Design Cooperating Promotion Program, Indonesia, Malaysia, The Philippines, Thailand 「ロール・アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] インターネットホームページ開設 Works Exhibition, Tokyo Asia Pacific Design Exchange Mission, China Tebruary Company of the Program B Design Cooperating Promotion				
1997年 ◆ 1月 在日デザイン留学生通信「EX・ACT」創刊 2月 アジア太平洋デザイン交流ミッション[インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期)[インドネシア] 3月 インターネットホームページ開設 インターネットホームページ開設 アジアはアンドス・レンボール・ファットホームページ開設 アンターネットホームページ開設 アンターネットホームページ開設 アンターネットホームページ開設 アンターネットホームページ開設 アンターネットホームページ開設 アンターネットホームページ開設				
1月 在日デザイン留学生通信「EX・ACT」創刊 2月 アジア太平洋デザイン交流ミッション[インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期)[インドネシア] 3月 インターネットホームページ開設 Feb. Asia Pacific Design Exchange Mission, China			Nov.	
2月アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア]Jan.International Design Competition and Award Prize-winning Works Exhibition, Tokyo3月インターネットホームページ開設Feb.Asia Pacific Design Exchange Mission, China			1006	Malaysia, The Philippines, Thailand
デザイン振興支援事業(専門家派遣:短期) [インドネシア] 3月 インターネットホームページ開設 **TORTION TO NOT THE TORS AND THE THE TORS AND THE THE TORS AND THE				International Design Competition and Award Prize-winning
3月 インターネットホームページ開設 Feb. Asia Pacific Design Exchange Mission, China		デザイン振興支援事業 (専門家派遣:短期) [インドネシア]	J 4111.	
寿8回国際アプイン・ノオート番金 Aug. Asia Pacific Design Exchange Mission, India, Vietnam	3月	A SECTION OF THE PROPERTY OF T		
		270四四际ノリコン・ノムート番組	Aug.	Asia Pacific Design Exchange Mission, India, Vietnam

アジア太平洋デザイン交流会議2001 [大阪]

デザイン振興支援事業〔中国、ベトナム〕(~12月)

在日デザイン留学生交流事業 (~11月)

Design Cooperating Promotion Program, Thailand, アジア太平洋デザイン交流ミッション [香港、シンガポール、台湾、韓国] 第8回国際デザイン・コンペティション最終審査 Indonesia, The Philippines, Malaysia 7月 デザイン振興支援事業 (専門家派遣:短期) [インドネシア] Design Cooperating Promotion Program, Indonesia 8月 Sep. International Design Competition Prize-winning Works 9月 在日デザイン留学生交流事業 (~12月) Exhibition, Yamaguchi
Exchange Activities for foreign Design Students 第8回国際デザイン展 10月 Oct. アオード受賞者記念講演会 Nov. Asia Pacific Design Conference '96, Beijing アジア太平洋デザイン交流会議 '97 1997 デザイン振興支援事業(セミナー等) [インドネシア、タイ、フィリピン、 11月 Jan. マレーシア] (~2月) Feb. Asia Pacific Design Exchange Missions, India, Vietnam 1998年 • Design Cooperating Promotion Program, Indonesia アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 2月 Mar. Internet Home Pages set up インドネシアデザイン開発計画調査<JICA事業> (~1999年3月) 5月 Final judging for the 8th International Design Award JDF デザイン・フォーラム大阪 '98 Asia-Pacific Design Exchange Mission, Hong Kong, Jun. JDF デザイン・フォーラム東京 '98 Singapore, Taiwan, Korea アジア太平洋デザイン交流会議 '98インドネシア 10月 Final judging for the 8th International Design Competition July 在日デザイン留学生交流事業 (~11月) Exchange Activities for foreign Design Students, Kanto Sep. 8th International Design Exhibition, Osaka インドネシアデザイン開発計画調査<JICA事業> (~1999年3月) Oct. アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、ベトナム] 11月 Commemorative lectures by recipients of the Award デザイン振興支援事業 (セミナー等) [マレーシア、中国、フィリピン、 Asia Pacific Design Conference '97, Osaka Design Cooperating Promotion Program, Indonesia, Thailand, タイ] (~2月) The Philippines, Malaysia 1999年 • 1998 • アジア太平洋デザイン交流ミッション「インド、ベトナム」 2月 Feb. Asia Pacific Design Exchange Missions, India, Vietnam 第9回国際デザイン・アオード審査 3月 Study of Indonesia National Design Development Plan (JICA) May. 第1次アジア太平洋デザイン交流ミッション [インド、マレーシア、 JDF Design Forum '98, Osaka Jun. 中国、台湾] JDF Design Forum '98, Tokyo 在日デザイン留学生交流事業 Asia Pacific Design Conference '98, Indonesia Oct. 7月 第9回国際デザイン・コンペティション最終審査 Exchange Activities for foreign Design Students 第2次アジア太平洋デザイン交流ミッション [メキシコ、チリ、ペルー] Study of Indonesia National Design Development Plan (JICA) インドネシアデザイン開発計画調査<JICA事業> Nov. Asia Pacific Design Exchange Mission, India and Vietnam 在日デザイン留学生交流事業 (~10月) 8月 Design Cooperating Promotion Program, Malaysia, China, The Philippines, Thailand 1999 • 9月 デザイン振興支援事業 (セミナー等) [ベトナム、中国、インドネシア] Asia Pacific Design Exchange Mission, India, Vietnam 第9回国際デザイン展 Feb. 10月 Mar. Final judging for the 9th International Design Award アオード受賞者記念講演会 Asia Pacific Design Exchange Mission, India, Malaysia, China, Taiwan Jun. アジア太平洋デザイン交流会議 '99 Exchange activities for Foreign Design Students JDFデザイン・フォーラムー大阪 Final judging for the 9th International Design Competition July 2000年 • Asia Pacific Design Exchange Mission, Mexico, Chile, Peru ジョルダン企業経営能力強化計画調査 (~2001年1月) 2月 Study of Indonesia National Design Development Plan (JICA) JDFデザイン・フォーラムー東京 3月 Exchange Activities for foreign Design Students Aug. 第1次アジア太平洋デザイン交流ミッション〔マレーシア、 6月 Cooperating Promotion Program, Vietnam, China, Indonesia Sep. シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、香港、韓国〕 Oct. 9th International Design Exhibition, Osaka JDFフォーラム (大阪会場) 開催 Commemorative lectures by recipients of the Award インドネシアデザイン政策アドバイザー (専門家派遣:長期) 8月 Asia Pacific Design Conference '99 <川CA事業> (~2002年8月) JDF Design Forum, Osaka 第2次アジア太平洋デザイン交流ミッション [メキシコ、ベルー、チリ] デザイン振興支援事業 [ベトナム] 2000 • 9月 Study on the Strengthening of Enterprises Management Feb. Capability in the Hashemite Kingdom of Jordan (JICA) 在日デザイン留学生交流事業 (~11月) アジア太平洋デザイン交流会議2000 [マレーシア]デザイン振興支援事業 [中国] JDF Design Forum, Tokyo Mar. 10月 1st Asia Pacific Design Exchange Mission, Malaysia, Jun. 11月 Singapore, Thailand, Indonesia, The Philippines, Hong Kong, Korea 12月 インドのデザイン活動実態調査 Study on the Strengthening of Enterprises Management 2001年 • Capability in the Hashemite Kingdom of Jordan (JICA) 第10回国際デザイン・アオード審査 3月 JDF Design Forum, Osaka July. アジア太平洋デザイン交流ミッション〔韓国、中国、台 6月 Aug. Dispatch Design Policy Advisers, Indonesia 湾、フィリピン、タイ〕 (~7月) Sep. 2nd Asia Pacific Design Exchange Mission, Mexico, Peru, Chile, アセアンデザイン開発調査ミッション [フィリピン、タイ] (~7月) Cooperating Promotion Program, Vietnam (JICA) インドネシアデザイン振興拠点整備推進アドバイザー 7月 Exchange Activities for foreign Design Students (~ Nov.) (専門家派遣:短期) < JICA事業> Oct. Asia Pacific Design Conference2000 & Design Exhibition, Malaysia ベトナムデザイン政策アドバイザー (専門家派遣:短期) Nov. Cooperating Promotion Program, China <JICA事業> Study on the Strengthening of Enterprises Management Dec. 第10回国際デザイン・コンペティション最終審査 Capability in India 2001 ジョルダン企業経営能力強化計画調査フォローアップ調査 8月 インドネシアデザイン振興拠点整備推進アドバイザー (専門家派遣:短期) <JICA事業> Mar. Final judging for the 10th International Design Award Asia Pacific Design Exchange Mission, Korea, China, Jun. Taiwan, The Philippine, Thailand 第10回国際デザイン展 ASEAN Design Feasibility Study Mission, The Philippine, Thailand アオード受賞者記念講演会 Final judging for the 10th International Design Competition July. JDF/日経デザイン・フォーラム

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dispatch Design Promotion Adviser, Indonesia (JICA)

Study on the Strengthening of Enterprises Management Capability

Dispatch Design Policy Advisers, Vietnam (JICA)

in the Hashemite Kingdom of Jordan (Follow -up investigation) Dispatch Design Promotion Advisers, Indonesia (JICA)

Commemorative lectures by recipients of the Award

Cooperating Promotion Program, China, Vietnam

10th International Design Exhibition, Osaka

JDF/Nikkei Design Joint Forum, Osaka Asia Pacific Design Conference, 2001 Osaka Exchange Activities for foreign Design Students

特定公益増進法人 当協会は、1993年3月に、これまでの協会事業の実績が高い 評価を受け、デザインに関する国際交流事業が公益の増進に著 しく寄与するものであるとして、通商産業大臣から特定公益 増進法人の認定を受けました。

Specified Public Service Promotion Corporation

Thanks to the high evaluation of the various activities organized by the JDF, the JDF was recognized as a specified public service promotion corporation by the Ministry of International Trade and Industry on March 1993 based on the judgement that international exchange activities in design make a remarkable contribution to advancing the public interest.



国際デザイン交流協会 20年のあゆみ

国際デザイン文派(助会 20年ショウン 発行日:2002年3月20日 発行:財団法人 国際デザイン交流協会 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3-1-800 大阪駅前第一ビル8階 電話:06-6346-2611 [代] ファックス:06-6346-2615

E-mail: jdf@ silver. ocn. ne. jp

URL:http://www.jidpo.or.jp/jdf/index.html アートディレクション:越田英喜 印刷:寿精版印刷株式会社

History of Japan Design Foundation Issued: March 20, 2002

Published by Japan Design Foundation

3-1-800, Umeda 1-chome, Kita-ku, Osaka, 530-0001 Japan

Phone: +81-6-6346-2611 Facsimile: +81-6-6346-2615

E-mail: jdf@ silver. ocn. ne. jp

URL: http://www.jidpo.or.jp/jdf/html/en_index.html Art Direction: Hideki Koshida

Printed by Kotobuki Seihan Printing Co., Ltd.

